

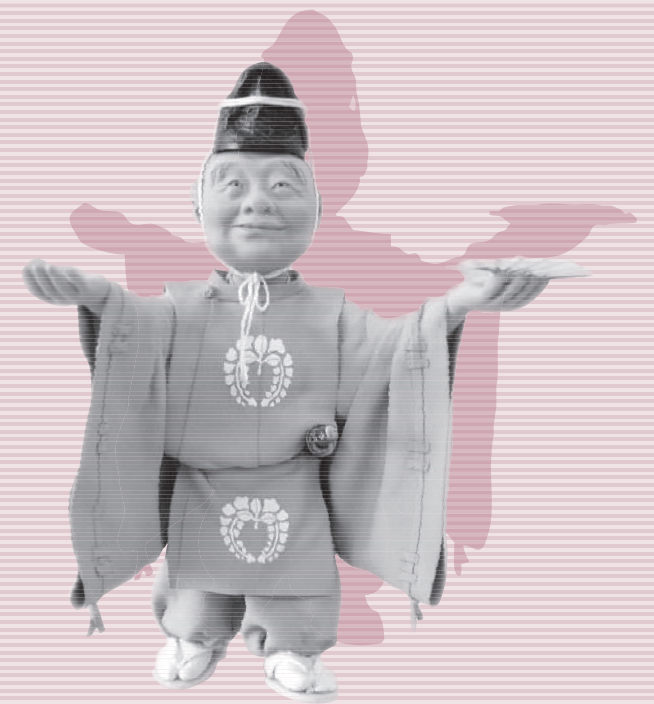
Annual report of the Yamanashi Prefectural Museum

令和元年度 山梨県立博物館年報

令和元年度

山梨県立博物館年報

Annual report of the Yamanashi Prefectural Museum



はじめに

令和元年度は、これまでの活動の確かな成果を感じるとともに、新たな取り組みも行って博物館活動の一層の充実を目指した年でした。

企画展は、昨年度末から開催した「県都甲府の500年」を皮切りに、夏期は「すごすぎる！ねこ展」、秋期は「法然上人絵伝」を開催しました。テーマを深く掘り下げて地域の魅力の再発見に結びつけたり、時には日本全体の文化から山梨ゆかりの資料を読み解いたりしながら、県内外の皆様へ山梨の歴史文化の豊かさや楽しみ方を発信してまいりました。シンボル展は2度開催し、前年に修理が完了した大善寺の不動明王像を紹介する「県指定文化財 大善寺 不動明王像」を初夏に、横浜開港から間もなく横浜に店を構えた甲州商人の先駆けである篠原忠右衛門を紹介する「甲州屋忠右衛門の冒険」を冬期に開催しました。

なかでも、夏期企画展「ねこ展」では身近な生物を切り口とし、歴史資料だけでなく製・化石も展示したことで、様々な年齢層の方やご興味をお持ちの方にご来館いただくことができました。また、一般の皆様のご応募によるネコ写真コンテストを行うとともに、猫写真家の沖昌之氏、フェルト人形作家の荻原弘子氏の展示協力や映像の多用、さらにはネコ科動物の外見と動きを再現した動刻の展示によって、家族向けの展覧会らしい賑わいと親しみやすさの演出にも取り組みました。さらに、シンボル展「甲州屋忠右衛門」では、ゆかりの地ツアーにおいてご子孫や地元東油川地区や井戸地区の協力も得て、地域に根差した博物館らしい活動を行うことができました。

調査研究活動では、日本学術振興会科学研究費による課題に引き続き取り組みとともに、県費による総合・共同研究を継続して推進しています。充実した調査研究活動によって地域の持つ潜在的な魅力を掘り起こし、様々な課題を解き明かしていくことは、博物館の担う重要な使命と考えています。

このように様々な努力を続けた1年は、残念ながら、社会と博物館活動に対する不安と動揺を感じつつ締めくくることがとなりました。令和2年2月28日以降、常設展の観覧をはじめとする博物館業務は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにやむなく休止いたしました。来館者の安全を確保しつつ、地域の博物館としての活動と発信、皆様とのコミュニケーションを維持し続けることは、今後の当館にとっての大きな課題のひとつです。社会に対する博物館の責任と役割を自問しつつ、館員一同、一層努めてまいりたいと思います。今後とも、皆様の変らぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

山梨県立博物館

館長 守屋 正彦

目次

はじめに

第I編 山梨県立博物館の目指すところ

| | |
|--------------------|---|
| 第1章 県立博物館の評価制度 | 1 |
| (1) 県立博物館の使命 | 1 |
| (2) 県立博物館の評価制度の策定等 | 1 |
| 第2章 通信簿ツアーの実施 | 5 |
| (1) 通信簿ツアーの内容 | 5 |
| (2) 通信簿ツアーの結果 | 7 |

第II編 事業・諸活動

| | |
|----------------------|----|
| 第1章 運営・ミュージアムサービス | 23 |
| (1) 運営・ミュージアムサービスの方針 | 23 |
| (2) 令和元年度利用者状況一覧 | 23 |
| 第2章 調査・研究 | 27 |
| (1) 外部資金による調査・研究 | 27 |
| (2) 県費による調査・研究 | 29 |
| (3) 個別調査・研究 | 30 |
| (4) 調査・研究成果の公表 | 32 |
| (5) 文化財救援活動 | 34 |
| 第3章 資料の収集・保管・活用 | 35 |
| (1) 資料収集の方針 | 35 |
| (2) 資料の収集 | 36 |
| (3) 資料の整理・目録（データ）化 | 37 |
| (4) 資料の修復・管理 | 37 |
| (5) 資料の活用 | 39 |
| 第4章 展示 | 40 |
| (1) 常設展示 | 40 |
| (2) 企画展・シンボル展 | 50 |
| (3) 展覧会関係刊行物 | 66 |

| | |
|------------------------------------|----|
| 第5章 企画交流事業 | 67 |
| (1) 生涯学習サービス事業 | 67 |
| (2) 博学連携 | 71 |
| (3) 博物館同士のネットワーク | 79 |
| (4) 広報 | 79 |
| 第6章 施設の整備・管理 | 80 |
| (1) 安全快適な施設づくり | 80 |
| (2) 施設開放 | 80 |
| 第7章 情報の発信と公開 | 81 |
| (1) 資料閲覧室の利用状況 | 81 |
| (2) 博物館総合情報システム | 82 |
| (3) 博物館ホームページ | 83 |
| 第8章 県民参画 | 84 |
| (1) NPOとの連携 | 84 |
| (2) 博物館協力会（ボランティア）との連携 | 85 |
| 第9章 組織・人員 | 86 |
| (1) 職員の資質向上 | 86 |
| (2) 第三者委員会 | 86 |
| 第10章 外部支援と連携 | 88 |
| (1) 外部支援 | 88 |
| (2) 外部との連携 | 88 |
| (3) 山梨近代人物館・世界遺産センターの 開館準備・展示協力 | 88 |

第III編 各種資料

| | |
|------------|----|
| 1 組織・職員等名簿 | 89 |
| 2 令和元年度予算額 | 90 |
| 3 年間日誌 | 91 |

凡例

- ・各事業の経緯・方針・関連法規等については『平成17年度 山梨県立博物館年報』を参照されたい。
- ・各種委員等の名簿における勤務先・役職等については、全て令和元年度におけるものである。
- ・原則として、各種名簿の順序は順不同である。
- ・敬称は略している。
- ・「県立博物館」と表記されているものは、全て山梨県立博物館のことを指す。

（表紙）常設展示「城下町の賑わい」のジオラマの人形

第 I 編 山梨県立博物館の目指すところ

第 1 章 県立博物館の評価制度

(1) 県立博物館の使命

使命 1

■山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わり」の歴史」を学ぶ場を目指します。

山梨県の歴史の特色は豊かで多様な自然に育まれた人々の個性あふれる暮らしの歴史である、とまとめられます。だからこそ「山梨の自然と人との関わり」の歴史」を学ぶことは、現在よりもより未来へ開く扉の鍵を探ることにつながるのです。

山梨県立博物館ではその一例として、本県の特色ある生業や富士山への向き合い方、武田氏の動向等々について総合的に資料の収集・調査・研究を行います。そして、その最新の成果を「山梨県の精神の拠り所」として絶えず利用者の皆様に問いかけ、共に考え続けます。

使命 2

■山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。

山梨県は、周囲の高い山々によって閉じられた地域という印象を持たれています。ですが、四方を高い山々に囲まれた地域だからこそ、山梨の先人達は昔から活発な「交流」を求めてきました。

こうした歴史にふさわしく、山梨県立博物館は、県内各地の様々な文化施設、史跡・自然をはじめ、県内外の多くの皆様と活発に交流を行います。「交流」のセンターとして、当館を起点に県内各地へと多くの人々の誘導を図り、本県の活性化に絶えず努めます。

使命 3

■山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。

山梨県立博物館は、最新の調査・研究成果を展示やイベント内容等に反映させ、絶えず新しい情報の発信に努めます。

また、社会情勢の変化や、利用者の知的関心、学習意欲の高まりに対応して、歴史・文化の視点に立った新たな価値観や未来像を、展示等をとおして考えてもらう場となることを目指します。

特に、山梨県の県立博物館として、農林業・伝統産業・観光や水資源・過疎化等、現在の山梨が抱える様々な課題を乗り越えていくために、県民の皆様とともに未来の山梨のあり方を考え、連携を進めます。

これらをとおして、山梨県立博物館は、その事業・活動等が広く県民の皆様とともに成長して、全国の目標となるような博物館を目指します。

(2) 県立博物館の評価制度の策定等

県立博物館の活動が独善に陥ることなく、社会に開かれた活動を行っていくためには、県立博物館の活動を適切に評価し、その結果を運営改善に結びつけていく体制づくりが必要である。

そこで、県立博物館が開館した平成17年度から平成19年度にかけて、県民の代表から構成される第三者委員会「みんなで作る博物館協議会」（以下「みんなつく」、第II編第9章参照）において、県立博物館の評価制度の検討を行い、運営委員会にも諮った上で、平成19年10月10日（水）に開館5周年目までの評価制度（以下「第1期評価制度」という）を策定、さらに平成24年12月25日（火）に開館6周年目から10周年目までの新たな評価制度（以下「第2期評価制度」という）を策定した。

第2期評価制度では、県立博物館の事業・活動等が現状で停滞することなく、将来に向け、利用者ニーズや調査・研究の進展に応じて成長していくことをめざし、第1期評価制度で掲げた使命1・使命2という県立博物館の使命に使命3を新たに加えた。

また、それぞれの使命に対応して別表「平成23年度から平成27年度までの評価項目」に掲げた評価項目を設けるとともに、別表「平成23年度から平成27年度までの各活動分野における数値評価の目標値」に掲げた数値目標を定めた。また、第2期評価制度にもとづき、平成23年度から平成27年度までの運営実績の検証結果を掲載した『山梨県立博物館総合評価報告書—開館10周年目までにおける評価結果—』が刊行された。

平成30年度から令和元年度にかけて、開館15周年目までの評価制度（以下「第3期評価制度」という）について「みんなつく」において検討を行った。その結果、現状においては、県立博物館の活動の方向性は

第2期評価制度を踏襲することで問題は無いと、既存の使命・評価項目・数値評価の目標値は変更しないことが確認された。しかしながら、第2期評価において明らかになった課題については改善を最優先に行う必要があり、そのための重点項目を設置すべきとの提案がなされた。また、その重点項目は、①既存の評価項目のなかから、②第2期評価における課題に挙げられた内容と、③かつ博物館の「使命」と社会的役割とを考慮しながら、設定すべきであるとの提言を受けた。

これを受け、第3期評価制度では、現状の評価制度に大幅な変更は加えず、「展示と調査研究」「情報発信」「博学連携」の3項目を重点項目とすることとした。これらについてのより詳細な自己評価と分析を行うとともに、総合評価における提案と助言を受け、次の5年（開館20年度目まで）に向けた具体的な改善策を検討し提案する。

今後、上記の第3期評価制度に基づき、平成28年度から令和2年度までの運営実績の検証を行い、令和3年度に総合評価と具体的な改善案の検討と提案を行う。

■平成28年から令和2年までの評価項目

※評価方法Aは数値評価、評価方法Bは自己診断、評価方法Cは通簿ツアーをそれぞれ指す。

| 使命1 | 使命2 | 使命3 |
|---------------|---------------|---------------|
| 使命1に対応した活動目標 | 使命2に対応した活動目標 | 使命3に対応した活動目標 |
| 活動目標に対応した評価項目 | 活動目標に対応した評価項目 | 活動目標に対応した評価項目 |

| 山梨県立博物館の使命 | 使命1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」を目指します。 | 使命2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。 | 使命3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。 |
|--------------------------------------|---|---|---|
| (1) 運営（ミュージアムマネジメント）及びミュージアムサービスについて | <ul style="list-style-type: none"> 山梨県立博物館が整備されて良かったと思われ、思われる博物館づくりを目指して、当館が提供するあらゆるサービスの利用者数の増加に努めます。具体的には開館6周年目から開館10周年目までに1,050,000人の総利用者数を目指します。 山梨県立博物館がどのような使命を持って整備されたのかを分かりやすく明示し、職員・利用者ともに共通の理解を得られるように努めます。 博物館の使命がどの程度達成できたかを館内外に明らかにするために、利用者の視点に立った活動目標を設定し、その実現に向けて最善の努力をします。 博物館が提供するあらゆるサービスについて多くの利用者に御満足いただけるよう、絶えず改善し続ける博物館づくりに館に携わる全ての人々が一丸となって努めます。そのために、常に博物館全体の活動について自己点検を行い、また利用者の側からの評価の声を受け入れ、その結果を公開します。 NPOとの協働などをとおして、広く県民が参画できる事業活動を推進し、県立博物館及び山梨県への親しみや関心が深められるように努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 総利用者数（評価方法A） 館員及び利用者を対象として、博物館使命がどの程度認知されているかの調査（評価方法C） 利用者の視点に立った目標を設定しているか？（評価方法B） 目標の達成状況については、自己及び他者評価を行い、その結果を公開しているか？（評価方法B・C） 県民参画事業の参加者数（評価方法A） | <ul style="list-style-type: none"> 学術研究機関としての博物館の魅力を高めるために、外部資金の導入などによって積極的に調査・研究を行い、その成果を論文や研究発表などをとおして、広く社会に還元します。また、その実現に向けて県内外の人々と共同調査・研究を積極的に推進します。 |
| (2) 調査・研究について | <ul style="list-style-type: none"> 「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」をテーマとした調査・研究を精力的に実施し続けます。 | <ul style="list-style-type: none"> 調査・研究の最新成果を展示や諸講座等の機会をとおして積極的に公開し、利用者の知的好奇心を満足できるように努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 博物館職員による論文執筆や講演・報告などの研究実績が定期的に蓄積されているか？（評価方法A） 科学研究費ほか外部資金の導入などをとおして、共同調査・研究が行われているか？（評価方法B） 県民参画による調査・研究が行われているか？（評価方法B） |
| (3) 資料の収集、保存及び活用について | <ul style="list-style-type: none"> 資料保存機関としての博物館という魅力を高めるために、「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」を明らかにする上で必要な資料の収集・保存に努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 収集及び保管・調査資料の利用体制の充実化をはかります。これら資料の目録化（データベース化）を進め、館内外の人々にとって共に積極的な活用が可能となるように努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 収集した資料の活用を図り、展示やホームページなどをとおして、新たな資料情報を積極的に公開します。 |
| (4) 展示について | <ul style="list-style-type: none"> 資料の収集点数（評価方法A） 個々の資料について適切に資料保存・修復措置を行っているか？（評価方法B） | <ul style="list-style-type: none"> 全収集点数の内、目録化（データベース化）がなされた資料点数の割合（評価方法A） 資料の総利用件数（一次資料やマイクロフィルムなど二次資料も含んだ閲覧件数、館外資料貸出件数など）（評価方法A） | <ul style="list-style-type: none"> 新たに展示やホームページに公開した資料点数（評価方法A） |
| (5) 企画交流活動について | <ul style="list-style-type: none"> 展示をとおして魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」像を積極的に多くの人々に向けて発信し続けます。具体的目標としては、開館6周年目から開館10周年目までに502,000人の利用者数を目指します。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校教育の現場との連携を深め、子ども達が楽しみながら山梨の歴史や文化を学ぶことのできる展示を作り続けます。具体的には開館6周年目から開館10周年目までに41,000人の学校利用者数を目指します。 | <ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズや調査・研究の進展に対応して、企画展の開催や、年間をとおした常設展示の展示替えを行います。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 常設展示の利用者数（評価方法A） 企画展利用者数（評価方法A） | <ul style="list-style-type: none"> 博物館への学校利用件数及び参加者数（評価方法A） 展示をわかりやすく解説するワークシートなどを作成しているか？（評価方法CまたはB） | <ul style="list-style-type: none"> 常設展示の印象に関わるアンケート調査（評価方法CまたはB） 企画内容や展示手法の満足度に関するアンケート調査（評価方法CまたはB） 常設展示における年間の展示資料点数（どれだけ展示替えを行っているのか？）（評価方法A） 常設展示の来館者数増加に向けた取り組み（評価方法B） |
| | <ul style="list-style-type: none"> 県内外に対し、「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」像の浸透に資する効果的な企画交流活動の立案・実行に努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校教育の現場と密接に交流し、博学連携の強化に努めます。 県内各地の文化施設・史跡・自然と密接に連携し、多くの利用者を県内各地へと誘導する企画交流活動の立案・実行に努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに応じて、企画交流活動の内容の見直しや新規の立案に努めます。 大学や図書館、研究団体など、新たな施設・団体との連携の強化に努めます。 |

| 山梨県立博物館の使命 | 使命1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。 | 使命2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。 | 使命3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。 |
|------------------|---|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> 年間における企画交流活動数及びその参加者数（評価方法A） | <ul style="list-style-type: none"> 博学連携に関わる取り組み（評価方法B） 出前授業等の件数及び参加者数（評価方法A） 貸出用キットの利用件数（評価方法A） | <ul style="list-style-type: none"> 企画交流活動に関わる取り組み（評価方法B） 各種連携事業を実施するにあたりどのような工夫を行っているか？（例えば、大学・図書館との連携やミュージアム甲斐ネットワークなど）（評価方法B） 地域インデックスの活用策を企画・実行したか？（評価方法B） |
| (6) 施設の整備・管理について | <ul style="list-style-type: none"> 山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、人にとっても安全かつ快適な施設・整備の管理に努めます。 魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」を知ることが出来る貴重な資料を永く後世に伝えていくために、資料にとって安全かつ快適な施設・設備の管理に努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 利用者への施設開放（例えば生涯学習室の貸し出しなど）を積極的に行うことで、県民に親しまれる博物館づくりを推進し、開館6周年目から開館10周年目までに69,750人の利用者数を目指します。 | <ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに応じ、未来に向けた新たな博物館のあり方について検討します。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 地震・火災等の緊急事態に対して、職員の研修をはじめとした対応を行っているのか？（評価方法B） 緊急の傷病者への対応に関して、職員の研修をはじめとした対応を行っているのか？（評価方法B） バリアフリー対策を行っているか？（評価方法B） 資料保存について措置を講じているか？（評価方法B） | <ul style="list-style-type: none"> 利用者に対する施設開放件数及び利用者数（例えば、生涯学習室の貸し出しなど）（評価方法A） | <ul style="list-style-type: none"> 国宝・重要文化財を展示する公開承認施設に指定されているか？（評価方法B） 展示施設の新規整備やその活用が図られているか？（例えば、体験型展示の充実など）（評価方法B） |
| (7) 情報の発信と公開について | <ul style="list-style-type: none"> 利用者が「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶ」ことについて支援することに努め、レファランスをとおし開館6周年目から開館10周年目までに3,000人が知的好奇心を満足できるように努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 山梨県立博物館の活動全般について、県内外の人々に対して積極的にPR活動をするように努め、例えばHPをとおした場合は開館6周年目から開館10周年目までに400,000件のアクセス数を目指します。 | <ul style="list-style-type: none"> インターネットを使用した博物館通信の送信や館外におけるPRなど、新たな広報活動の取り組みに努めます。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> レファランス対応件数（評価方法A） | <ul style="list-style-type: none"> HPアクセス数（評価方法A） HPの更新や利用者ニーズに応じた内容の検討を行っているのか？（評価方法B） | <ul style="list-style-type: none"> どのような情報をどのような媒体で情報発信しているのか一覧表化がなされているか？（評価方法B） |
| (8) 市民参画について | <ul style="list-style-type: none"> NPOやボランティアなどとの協力を得た事業活動を実施し、共同事業では開館6周年目から開館10周年目までに4,500人と交流できるように努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 利用者の視点から博物館の評価を行い、その成果を博物館の成長や運営改善に向けて反映するよう努めます。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> NPOや協働会（ボランティア）との協働事業開催件数及び参加者数（評価方法A） 協働会（ボランティア）の登録者数（評価方法A） 協働会（ボランティア）ではどのような活動を実施したのか一覧表化がなされているか？（評価方法B） | <ul style="list-style-type: none"> 利用者による博物館評価を実施し、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法BまたはC） | |
| (9) 組織・人員について | <ul style="list-style-type: none"> 職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> 職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。 第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B） | <ul style="list-style-type: none"> 第三者機関（運営委員会、みんなでつくる博物館協議会、資料情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B） | <ul style="list-style-type: none"> 職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B） 第三者機関（運営委員会、みんなでつくる博物館協議会、資料情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B） |
| (10) 外部支援と連携について | <ul style="list-style-type: none"> 継続的に質の高い博物館活動に資するよう、外部支援体制の導入に努めるとともに、地域連携を図ります。 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 館の運営のために外部支援体制の導入に努めたか？（評価方法B） 山梨県内外における歴史・民俗系博物館等との連携を図っているか？（評価方法B） 文化財レスキューなど、県立博物館が地域社会を支援する体制の整備に努めたか？（評価方法B） | | |

重点項目およびその評価内容と方法

■重点課題1 展示と調査研究

| | |
|------|---|
| 評価内容 | <ul style="list-style-type: none"> 自主展覧会やシンボル展は、開催の前後5年間に、学会発表、学会誌、紀要などにおいて、内容と関連する調査研究成果（資料紹介等を含む）の研究成果の公表が行われたか。◎ 会場における文字解説では、平易な文章表現を用いるよう心掛けられていたか。◎ 展覧会は、博物館の基本テーマに沿い、かつ時代に沿った視点を持った内容の提供に努めたか。○ |
| 評価方法 | 評価方法B（自己評価） |

■重点課題2 情報発信

| | |
|------|--|
| 評価内容 | <ul style="list-style-type: none"> 展示替えや企画展、館内イベントの情報は告知されているか。◎ 新聞、雑誌、講座、講演会において、一般向けに研究成果の発信が行われたか。◎ 各展覧会における情報発信の方法や発信先は適切であったか。また、来館者がSNS等で発信したくなる環境づくりにも努めたか。○ |
| 評価方法 | 評価方法B（自己評価） |

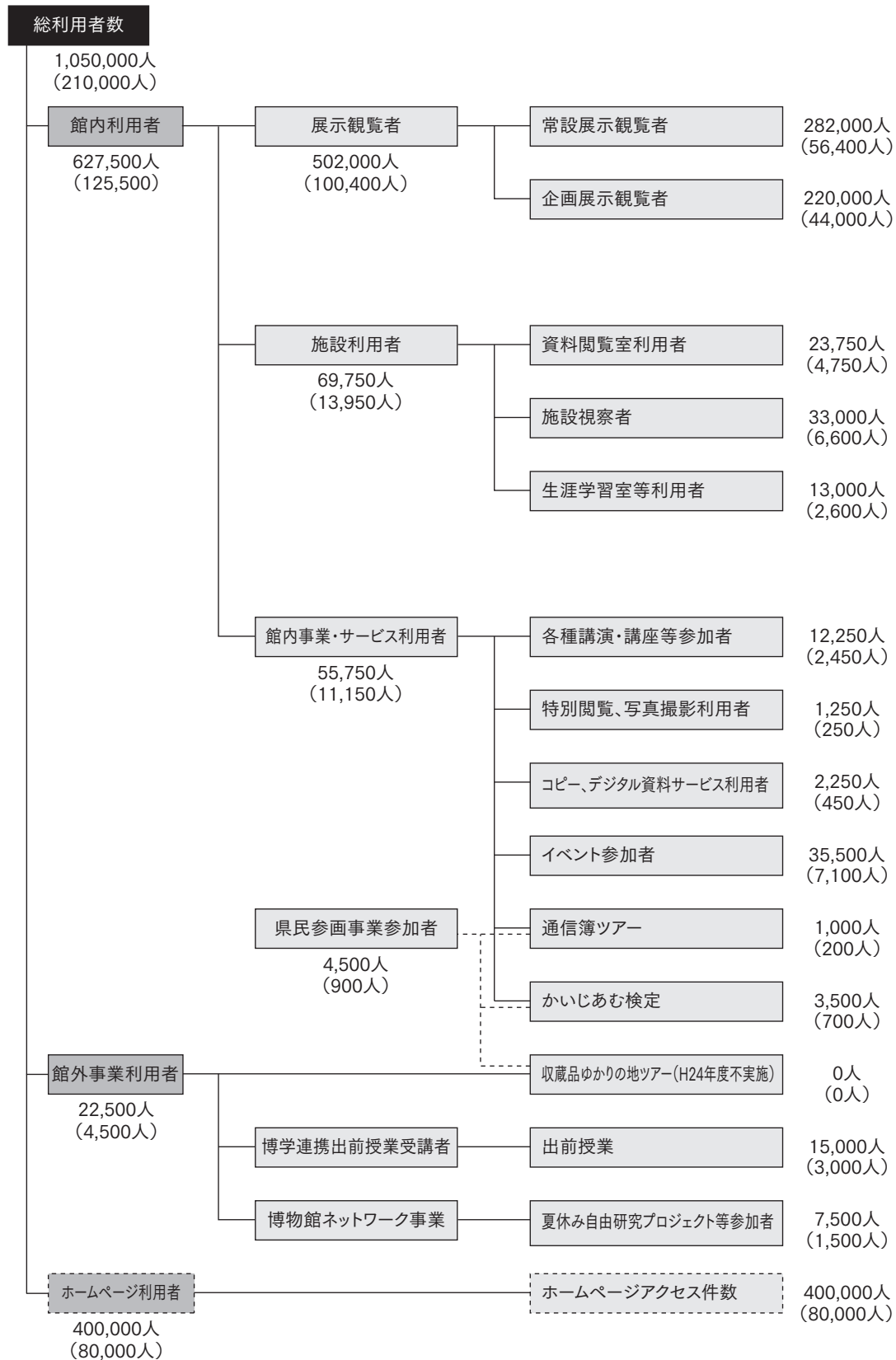
■重点課題3 博学連携

| | |
|------|--|
| 評価内容 | <ul style="list-style-type: none"> 出前授業や学校見学では、学校教育の授業の枠組みに囚われすぎず、地域にまつわる話題に触れ、山梨の歴史・文化の魅力を伝え、興味をひき出そうと努めているか。◎ 出前授業、学校見学等を利用した児童生徒や教員の感想○ |
| 評価方法 | 評価方法B（自己評価） |

◎…最優先課題 ○…努力目標

■山梨県立博物館 平成23年度から平成27年度までの各活動分野における数値評価の目標値（参考）

○「総利用者数」とは、当館の施設、提供するサービスを利用した者および当館の事業活動に参加した全ての利用者の統計である。



※1 数字…平成23年度（開館6周年年度）から平成27年度（開館10周年年度）までの目標値

※2 太字の数字…平成23年度から平成27年度までの5年間における単年度の目標値

第 2 章 通信簿ツアーの実施

(1) 通信簿ツアーの内容

■令和元年度における通信簿ツアーの特徴

令和元年 8 月 10 日（土）、11 月 20 日（水・県民の日）に、県民参画事業（第 II 編第 8 章参照）の一環として「通信簿ツアー」を実施した。これは利用者とともに県立博物館を評価する（県立博物館の「通信簿」を付ける）という利用者参加型の評価方法である（本事業の概要は平成 18 年度県立博物館年報第 I 編第 2 章参照）。

令和元年度の通信簿は、例年に引き続き次のような内容とした。参加者人数についても次に記す。

- ・昨年度に引き続き、夏期の実施に加えて、異なる時期により多くの参加者から意見をうかがうため、「県民の日」である令和元年 11 月 20 日（水・県民の日）にも実施した。
- ・質問内容が多すぎるといふ参加者からの声を踏まえ、平成 24 年度からは、はい・いいえ方式の設問を導入して記載の簡素化を図っている。
- ・休止中の館内レストランや運用開始した SNS に関する設問を追加している。
- ・あわせて、はい・いいえ方式による回答の理由などを把握するために記述式の設問も残し、多様な利用者からの声をすい上げる仕組みとした。
- ・2 日間合計の参加者（参加同意者）数は 296 名であった。

■通信簿ツアー評価項目

- A 山梨県立博物館（かいじあむ）に到着するまでの、道のりは順調でしたか？
1. 博物館までの道のり、迷わずに来られましたか？
 2. 最寄り駅の JR 石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですか？
- B いよいよ館内に入ります。
1. チケット売り場はすぐにわかりましたか？
 2. 受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたか？
 3. かいじあむ通信「交い」や常設展・企画展のパンフレットは使いやすいですか？
 4. 入場料が必要などところと、そうでないところの区別はすぐにわかりましたか？
 5. 途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐにわかりましたか？
 6. 館内マップやサイン（案内表示）はわかりやすいですか？
 7. エントランス（入り口）にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか？気づいたものに○をつけていただけますか？（複数回答可）
ご意見もあればお聞かせください。
・次回企画展とイベントの案内 ・館内の禁止事項の案内 ・エントランス中庭（石舞台）の説明案内
・開催中の常設展のテーマ ・気がつかなかった ・ピンク色のネコ（ねこ展誘導サイン）※夏のみ
 8. 広いエントランス・ホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用方法がよかった」というご意見や、「こう利用したら？」という提案があったらお書きください。
- C 館内は快適ですか？
1. 資料保存のために館内の温湿度を一定にしていますが、館内の温度は快適ですか？
 2. 小さなお子さんが楽しめそうなどところやサービスはありましたか？ ○をつけていただけますか？（複数回答可）
ご意見もあればお聞かせください。
・企画展ワークシート ・かいじあむチャレンジ！クルーズ ・積み木広場 ・キッズライブラリー ・映像コーナー
・ない ・その他
 3. 障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？
 4. 外国人の方に対応したサービスは充分だと思えますか？
 5. 館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？
- D さて、展示室です。（常設展示／鑑賞・学習型展示について）
1. まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真（「山梨の舞台」）。自分のまちが見つかりましたか？
 2. 常設展示室内では、2 か月ごとに資料の展示替えを行っています。一昨年度の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、パネルに気づきましたか？
 3. 常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があったほうが見やすいという方のために、展示室内の地図がパネルやパンフレットに表示されています。展示室内をめぐる際、迷われてお困りになることはありませんか？
 4. 展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさはちょうどよかったですか？
 5. 室内にはジオラマの下引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。
- D 展示は楽しめましたか？（常設展示／体験型展示について）
6. 衛星写真「山梨の舞台」の奥にあるにぎやかな展示場は、実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で

楽しめる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12か所の「現場」がありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。

7. 体験型展示にある「かいじあむ寺子屋」では、体験イベント「遊ぼう!学ぼう!寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用された方、楽しい体験ができましたか？また、「かいじあむ寺子屋」でこんなことができたなら…というご意見がありましたら、お寄せください。
 8. 体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？
 9. 展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思えますか？
- D 展示は楽しめましたか？何かを学ぶことができましたか？（企画展示について）
- 企画展「すごすぎる!ねこ展」を開催中です。（8月10日）／企画展「法然聖人絵伝」展を開催中です。（11月20日）
10. 今回の企画展は面白かったですか？よろしければ、どんなところが面白かったのか、感想も聞かせてください。
 11. 展示のなかで、「難しい」「わかりにくい」と感じたところはありましたか？
 12. 今後、どのような内容の企画展の開催を希望しますか？
- E 調べ物には「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。（もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ）
1. 資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。
 2. 古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？
 3. 本年度は6回、館内での「古文書相談日」が開かれています。知っていましたか？
 4. もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。
 5. 「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることのできる検索端末（パソコン）を知っていましたか？よろしければ、使い勝手の感想も聞かせてください。
 6. 博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？
 7. 常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？
- F ショップやレストラン、お庭散策も楽しめましたか？
1. ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫をしています。いかがでしたか？
 2. レジの対応はいかがでしょうか？
 3. 買ったもの、買いたいものはありましたか。品揃えはいかがでしょうか？
 4. オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコースター、マグネット、ボールペンなどがあります。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？
 5. 軽食・喫茶コーナーは営業していませんが、不定期で敷地内において、パン屋さん、カフェ、ピザ屋さん等の移動販売が行われています。利用したことがありますか？試してみた方はご感想を。
 6. 新たな飲食施設の再開は未定ですが、どのような飲食施設があったら利用されますか。また、どのような飲食施設が良いと思いますか？
 7. オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存知ですか？ また、試してみた方はご感想を。
 8. 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか？
- G 博物館で行われているイベントや普及プログラムに興味がありますか？
1. 館長トーク・古文書講座・子ども工房などのイベントプログラムに参加されたことがある方にお聞きします。内容はいかがでしたか？ご意見もあればお聞かせください。
 2. こんなプログラムがあれば参加したい、というものがありますか？
 3. 博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？（県博とNPOで制作した、まちミュージアムガイドブックをショップで販売中です）
- H 博物館で働く人たちと交流できましたか？
1. 館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？
 2. 展示交流員（女性はグレーのチェックの制服を着ています）の説明はわかりやすかったですか？面白い話を聞けましたか？
 3. 館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のスタジャンを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。あなたもなってみたいですか？
- I 博物館に行く前に、情報は入手できましたか？
1. 県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られるなど、役に立ちましたか？また、ホームページではどのような情報を知りたいと思いますか？
 2. 博物館に来る際に、どのような広報をご覧になりましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可）
・ホームページ ・かいじあむ通信「交い」 ・ちらし ・新聞 ・テレビ ・ツイッター ・その他 ・ラジオ
・なし
 3. 博物館では公式ツイッター（kaiseum_ypm）で様々な博物館情報を発信しています。「女子部」も活躍中です。ご存じの方は、その感想もお聞かせください。
 4. 山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されていますが（<http://www.museum-kai.net/>）、利用したことはありますか？また、知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？
- J 最後に、これもぜひお聞きしたいところです。
1. 館の愛称は、「かいじあむ」。名前の感想は？
 2. 入館料（常設展、企画展）は適当ですか？（平成26年3月12日より、高校生以下は無料となりました）
 3. 1年間、何回でも博物館を利用することのできる定期観覧券や、美術館・文学館・考古博物館との4館共通パスポート（ミュージアム甲斐in券）があることを知っていましたか？
 4. 定期観覧券や4館共通パスポート（ミュージアム甲斐in券）を利用したいと思いませんか？
 5. 以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いませんか？どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見もあればお聞かせください。
 6. 博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いませんか？
 7. もう一度、この館に来たいですか？
 8. 通信簿ツアーは、博物館がもっと利用しやすくなるよう、皆さんのご意見をうかがうために毎年実施しています。質問項目が多くご迷惑をおかけしますが、通信簿ツアーが他の博物館・美術館にも、もっと広まればよいと思いま

すか？

9. その他、ご意見がございましたらご記入ください。

その他、ご意見がございましたらご記入ください。

(2) 通信簿ツアーの結果

■通信簿ツアー評価結果

| | 回答者情報 | 回答数 | 評価者No. |
|-----------------------|--|-----|----------------|
| 年代 | | | |
| 小学生 | | 14 | |
| 中学生 | | 4 | |
| 10代 | | 17 | |
| 20代 | | 21 | |
| 30代 | | 43 | |
| 40代 | | 66 | |
| 50代 | | 44 | |
| 60代 | | 43 | |
| 70代 | | 23 | |
| 80代 | | 5 | |
| 90代 | | 0 | |
| 無回答 | | 7 | |
| 性別 | | | |
| 男性 | | 11 | |
| 女性 | | 160 | |
| 無回答 | | 16 | |
| 来館回数 | | | |
| 初めて(1回) | | 86 | |
| 2～5回 | | 106 | |
| 6～10回 | | 21 | |
| 11回～ | | 23 | |
| 住所 | | | |
| 県内 | | 62 | |
| 県内(甲府) | | 43 | |
| 県内(峡東…笛吹・山梨・甲州) | | 47 | |
| 県内(中北…甲斐・南アルプス・韮崎・北杜) | | 40 | |
| 県内(峡南) | | 0 | |
| 東部(大月・上野原・都留) | | 8 | |
| 富士北麓(富士吉田・富士河口湖) | | 8 | |
| 県外 | | 9 | |
| 県外(関東) | | 44 | |
| 県外(東北・北海道) | | 0 | |
| 県外(中部) | | 8 | |
| 県外(近畿) | | 0 | |
| 県外(中国・四国・九州) | | 0 | |
| 県外(海外) | | 0 | |
| 無回答 | | 18 | |
| 交通手段 | | | |
| 電車 | | 10 | |
| バス | | 7 | |
| 自家用車 | | 254 | |
| タクシー | | 3 | |
| 徒歩 | | 0 | |
| 原動付自転車 | | 1 | |
| その他(宿の送迎車、友人の車) | | 1 | |
| 来館目的 | | | |
| 企画展 | | 179 | |
| 常設展 | | 54 | |
| イベント | | 56 | |
| 観光 | | 27 | |
| 学習、調査 | | 12 | |
| その他 | | 3 | |
| 同伴者 | | | |
| 1人 | | 27 | |
| 家族 | | 200 | |
| 友人 | | 40 | |
| 団体 | | 5 | |
| その他 | | 8 | |
| A | 山梨県立博物館(かいじあむ)に到着するまでの、道のりは順調でしたか？ | | |
| A01 | 博物館までの道のり、迷わずに来られましたか？ | | |
| | はい | 272 | |
| | いいえ | 10 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 入る所、センターの標識の影に博物館の標識があるのでみにくかった。 | | 10 |
| | 三時間かかりました | | 12 |
| | 20号から近く看板もわかりやすい | | 13 |
| | 渋滞で時間がかかりましたが | | 66 |
| | ナビで安全に来られた | | 70・136・222・266 |
| | タクシー | | 85・86 |
| | ナビが正面玄関ではないところを案内したので、ぐるっとしました。ナビも初めてのところだったので、仕方がないですね(笑) | | 108 |
| | 車の出入り口がわからず、少し迷いました。 | | 119 |
| | 標識等が見つからず、しばらく周辺を迷うことになった | | 152・225 |
| | 地図を見れば来られました。 | | 160 |
| | バスが少し遅れてくる | | 165 |
| | スマートインターからも道案内がほしい | | 249 |
| | けっこう前のほうにかんばんが用意されていたのでたすかりました。 | | 269 |

| | | | |
|-----|--|-----|----------------|
| A02 | 最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですか？ | | |
| | はい | 6 | |
| | いいえ | 0 | |
| | 利用していない | 114 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 乗り場がわかりにくい | | 168 |
| | バスは数が少なく不便です | | 207 |
| | 10分おきくらいで来ると思っていた。 | | 266 |
| B | いよいよ館内に入ります。 | | |
| B01 | チケット売り場はすぐにわかりましたか？ | | |
| | はい | 228 | |
| | いいえ | 9 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 案内の人がいたのでよかった | | 10 |
| | 年間バスあり | | 23・213 |
| | 正面が良い | | 45 |
| | ただし、インフォメーションセンターと勘違いしそうなので、入口前に立て看板を置いたほうが良いと思う。 | | 160 |
| | 入って右側にあり、わかりやすい | | 162 |
| | 外から入ってくる床に、例えばネコの足跡をはり、チケット売り場まで誘導したりしてはどうか。 | | 164 |
| | 一瞬迷いそうになる、左に行きたくない | | 165 |
| | 入口近くで、わからなくはないが、「売り場は右手」などの案内があるとよい | | 168 |
| | 初めてのときは少し迷いましたが、すぐわかりました。 | | 169 |
| | しかし、ほかの客さんはわかりにくそうだった。 | | 171 |
| | 自分でやっていない | | 200 |
| B02 | 受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたか？ | | |
| | よい | 202 | |
| | ふつう | 76 | |
| | わるい | 0 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | エントランスの導入がよい | | 10 |
| | いつも丁寧です | | 31・177 |
| | すごく丁寧な対応をしていただいた | | 51・160・166 |
| | 手に持ったままのペットボトル持参不可であれば、どこかにわかりやすく指示するか、チケットを買うときに一言添えてほしい。水分補給が必要な人もいると思う。小さいバックに入れてもちあらくことができると分かっていたら、さいしょからそうする。口頭で注意されるとイヤな気持ちになる。 | | 52 |
| | とても親切でした。 | | 96 |
| | スタッフが多すぎる、威圧感があった | | 131 |
| | 館内のことを分かりやすく説明していた | | 162 |
| | ロッカーの案内をもっと大々的にしても良いのでは正面の案内板のピトグラムもう少し大きくても良いのでは | | 164 |
| | やさしそう | | 165 |
| | 女性の方はとても良いと思いました。 | | 167 |
| | 毎回、入館後、少し案内をしていただけたのがありがたいです。 | | 169 |
| | もう少し笑顔でも良いと思う。少々固い印象を受けた。(もちろん笑顔がステキな方もいらっしゃった) | | 171 |
| | 入口でむかえた方がいいな、と思う。 | | 274 |
| B03 | かいじあむ通信「交い」や常設展・企画展のパンフレットは使いやすいですか？ | | |
| | はい | 184 | |
| | いいえ | 16 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 見ていません | | 14・24・58・88・95 |
| | ?使用していない | | 56 |
| | どれだかわかりません | | 71・188・246 |
| | 量は詰まってるけど、内容は面白いと思う。 | | 160 |
| | 有意義な情報がたくさん書いてあり、良かった。イベント案内もカレンダーでのっているのもとてもわかりやすかった。 | | 164 |
| | 見どころや展示がわかりやすかった | | 166 |
| | 設置箇所を増やしたほうがよい | | 168 |
| | デザインいいね | | 274 |
| B04 | 入場料が必要なところと、そうでないところの区別はすぐにわかりましたか？ | | |
| | はい | 179 | |
| | いいえ | 34 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 見ていない | | 57 |
| | ゆかに表示で誘導 | | 71 |
| | もう少し看板等で大きく知らせてほしい | | 112 |
| | 特に考えていない | | 136 |
| | 受付があつて人もいたので、すぐに分かった。 | | 160 |
| | スタッフが立っているため | | 162 |
| | どこにかいてあるのかわかりませんでした。 | | 164・184・207 |
| | 企画展は中に入らないと分かりにくいかもしれません | | 165 |
| | 体験学習室を利用したイベントに参加するときの案内板をもう少しわかりやすくしてほしい。入口のすぐそばに矢印で位置を示したり、大きめのパネルを設置するなど、入ってきた人がすぐにわかるようにしてほしい。 | | 167 |
| | 料金表を読み込まないとわかりにくい。図解などでわかりやすく！ | | 168 |
| | オシャレなつくりになっていて良いと思います | | 169 |
| | 声をかけてくださったのでよかった。 | | 171・282 |
| B05 | 途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐにわかりましたか？ | | |
| | はい | 105 | |
| | いいえ | 143 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 気にしなかったけど、受付で言ってもらえたらよいと思う。 | | 11・160 |
| | 通常そう | | 27 |
| | 知らなかったです | | 47・58 |
| | 説明があった | | 53・103 |
| | 特にその予定はないので | | 136 |
| | 案内があったかもしれませんが、見落としてしまいました。 | | 143 |
| | 常設展を出る際には気づけたが、それまでの段階では気づかなかった | | 159 |
| | 案内表示をもっと出したほうがよいと思う | | 163 |
| | 初めて知った | | 165 |
| | どこに書いてあるかわからない。 | | 167 |

| | | | |
|-----|--|-----|-----------|
| | どこに記載されているか、ぱっと見ただけではわからない。子ども連れの方などにとってはとくに必要な情報だと感じる | | 168 |
| | 少し分かりにくいかと思います。 | | 169 |
| B06 | 館内マップやサイン（案内表示）はわかりやすいですか？ | | |
| | はい | 218 | |
| | いいえ | 29 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | △ | | 129 |
| | 迷ってもいいんです。それも楽しいので。 | | 136 |
| | △館内マップは大きくて見やすいが、サインは人が多いと見づらい | | 160 |
| | 入館してすぐは気づきませんでした。 | | 169 |
| B07 | エントランス(入り口)にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか？気づいたものに○をつけていただけますか？(複数回答可) ご意見もあればお聞かせください。 | | |
| | 次回企画展とイベントの案内 | 89 | |
| | 館内の禁止事項の案内 | 31 | |
| | エントランス中庭(石舞台)の説明案内 | 42 | |
| | 開催中の常設展のテーマ | 44 | |
| | 気がつかなかった | 23 | |
| | ピンク色のネコ(ねこ展誘導サイン) ※夏のみ | 71 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | ピンクネコはよいアイデア | | 10 |
| | 写真をとれるのが嬉しかったです | | 108 |
| | 気づいたが、内容をよく見なかった | | 124 |
| | 館内の禁止事項は入口の段階では気づきにくかった | | 159 |
| | よく見たら、気づいたものだったから、素通りしてしまうかもしれない。でも、ピンク色のネコはユーモアあってよかったし、可愛かった。 | | 160 |
| | 死角になっている場合があった | | 163 |
| | ネコがかわいくて子どもに好評 | | 165 |
| | 「次回企画展とイベントの案内」は、通り過ぎてしまいそうな位置にある。来館者の目に自然に入る位置に掲示すべき | | 168 |
| | 見つからなかったものもあった。 | | 205 |
| | 企画展がどこか直ぐにわからなかった。 | | 279 |
| | 写真撮影OKかどうかわかりにくい | | 288 |
| B08 | 広いエントランス・ホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用方法がよかった」というご意見や、「こう利用したら？」という提案があったらお書きください。 | | |
| | 館内マルシェがあるといいけど、むりかな | | 10 |
| | 入口エントランスにもネコ雑貨を販売したら盛り上がりが良いのでは？(さみしい) | | 11 |
| | 鎧を着る | | 26 |
| | 県内物産品販売展示 | | 31 |
| | イスが多いのは良い。ちょっと一休みができる | | 34 |
| | 説明が必要な人への案内をわかりやすくしてほしい | | 38 |
| | ミニコンサート、国際交流会 | | 52 |
| | 初めてで特に要望なし、とてもきれいでした | | 56 |
| | とくになし。今のままでいい気がします | | 57・58・199 |
| | 幼児用のスペースを幼児向けかんたん絵本、博物館に即したものの | | 72 |
| | お茶やお菓子を食べるところがあればいいです | | 88 |
| | ホールコンサート等 | | 116・167 |
| | アンケート記入などに使えるテーブルがもっとあるといいと思います。 | | 122 |
| | 夏休みのように人の多い時期は厳しいけど、交流エリアとして解放したり、また県立博物館の歴史などを書いたキャプションを置くのは？ | | 160 |
| | 大好きな山梨のことを子どもたちが描いた絵を飾る | | 162 |
| | 体験コーナー、茶道 | | 163 |
| | ねこ展の導入としての作品展示 | | 168 |
| | 古代から終戦くらいまでの服装のファッションショー | | 169 |
| | お料理教室 | | 178 |
| | 分からないものを分かるものそばにしたら | | 205 |
| | カフェがほしい、子どもと大人と利用目的を分けてほしい。これだけの施設なのにカフェに「力」を入れないなんてもったいなさすぎる。僕がここにあまり来ないのはそれが大きい。 | | 213 |
| | イベントをしてもよいと思う | | 231 |
| | 演奏会、子供向け工作 | | 242 |
| | 県内には大きな施設が複数ありますが、未就学児が楽しめる様なイベントや体験できるところがあれば、更にたくさんの方が足を踏むと思います。 | | 248 |
| | お茶会がよかった。土日だけでも飲食マルシェをしてほしい。 | | 274 |
| C | 館内は快適ですか？ | | |
| C01 | 資料保存のために館内の温湿度を一定にしていますが、館内の温度は快適ですか？ | | |
| | はい | 268 | |
| | いいえ | 7 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 少し暑い | | 11 |
| | さむい | | 87・88・274 |
| | 夏場は暑いので快適！でも冬場は寒いかもしいないので、上着を持っていない方にはブランケットの貸し出しがあるといいと思う！ | | 160 |
| | 暗い | | 226 |
| C02 | 小さなお子さんが楽しめそうなところやサービスはありましたか？○をつけていただけますか？(複数回答可) 子ども向けのサービスについて、ご提案もあればお聞かせください。 | | |
| | 企画展ワークシート | 63 | |
| | かいじあむチャレンジ！クルーズ | 24 | |
| | 積み木広場 | 40 | |
| | キッズライブラリー | 45 | |
| | 映像コーナー | 39 | |
| | ない | 1 | |
| | その他(シールなどのプレゼント、イベント、子ども工房) | 2 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 夏休み期間のみ、常設展にもワークシートを作り、両展全問正解者には何か特典がついてくるなどもよいと思う。 | | 160 |
| | ウッドバーニングのイベントは家族でも楽しめる | | 162 |
| | くつをぬいでリラックスしながらたくさんの本に囲まれる機会がそうないので、とてもよい。映像コーナーは大人の人もたのしそう、おじいちゃんも見ていた。 | | 164 |
| | 博物館の庭にいる虫や植物をつかまえる企画 | | 167 |
| | ここにある場所が初めてどこにあるかわからなかった。 | | 171 |
| | 小学生なら楽しめると思います | | 248 |
| | けん玉 | | 256 |
| | 幼児には積み木ぐらいでしか、遊べない。 | | 274 |
| C03 | 障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？ | | |
| | はい | 112 | |

| | | | |
|-----|---|-----|---|
| | いいえ | 14 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | とくにきづかなかったけど | | 10 |
| | 車椅子しわからなかった、他にもありますか？ | | 11 |
| | わからない | | 14・72・ 191・246・ 262・279 |
| | 障害者ではないけれど、高齢の方が暗くて見づらいそうです | | 15 |
| | 知らなかった | | 119・58 |
| | 道幅が広い、駐車場 | | 70 |
| | 少し狭いところがある。展示方法で。 | | 88・166・ 169 |
| | ？ | | 133・153 |
| | 不明 | | 138・281 |
| | 床がフラットであるため、車椅子などで利用しやすいと思います。ただ、視覚障害者の方のために、音声ガイドがあるといいな、と思いました。もう、あったらすみません。 | | 143 |
| | 車椅子でも通りやすい環境やトイレも車椅子用のがあり、最低限の設備は整っていると思う。常設展、企画展ともに今回は音声で楽しめるようになっていたが、目の不自由な人には展示内容は伝わりにくいかと思うので、音声ガイドの必要性を感じた。あったらすみません。 | | 159 |
| | そこまで気が回らず、障害者に関わるサービスに関しては見ていませんでした。しかし、階段などが無いので、車椅子の方でも自由に動き回れると思いました。 | | 160 |
| | 入口に車椅子、スロープなど充実している | | 162 |
| | 音声ガイドわかりやすい。プリント持っていけるの良い | | 164 |
| | 通路が広めにしてある、床が少しでこぼこしている。 | | 165 |
| | 表の車椅子がすべて使用になったときの予備の車椅子があるのか気になりました | | 167 |
| | 広い道路、車椅子、段差 | | 168 |
| | 一般的なフォローはなされていると思った。 | | 171 |
| | トイレのドア、自動開閉の操作が上手く使えず、(反応が遅いので何度もさわってしまいすぐに閉められず) 困った。 | | 296 |
| C04 | 外国人の方に対応したサービスは充分だと思いますか？ | | |
| | はい | 60 | |
| | いいえ | 35 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 外国語音声案内 | | 9 |
| | とくにきづかなかった | | 10 |
| | 不明 | | 11・281 |
| | わからない | | 14・51・72・ 136・207・ 246・279 |
| | 何のサービスがあるの？ | | 23・282 |
| | 写真ひとつひとつに解説をつける必要はないかもしれません(すぎるネコ) | | 31 |
| | よくみていませんでした | | 47 |
| | ？ | | 52・88・ 104・133・ 153・221・ 254 |
| | 知らなかった | | 57・58 |
| | 企画展にも英語表示があれば良いと思う | | 70 |
| | 英語でも案内できるといいですね！(もうやっているんでしょうが) | | 108 |
| | 言語対応はもう少し必要と思います | | 138・162 |
| | 少し英語のキャプションがあったが、もう少し英語のキャプションが増えるとよい。また、海外版のパンフを作成するのも有効だと考える。 | | 159・169 |
| | 英語のパネルを置か、音声ガイドがあるといいかもしれません。 | | 160 |
| | パネルに英語版も、古文書の現代語訳がほしい | | 163 |
| | 外国語表記が少ない印象、あっても見えにくい場所にあった。(企画展入口わきのトイレ入口) | | 164 |
| | 英語のキャプションはもう少し増やしても良いと感じる。が、外国人客の多さにもよると思う | | 166 |
| | タッチパネルに言語切り替え機能があると良いと思う。企画展のほうには英語表記がなかった。 | | 167 |
| | 展示内外にとわず、英語での説明が少ないように感じた。日本の歴史について、触れている展示も多いため、特にニーズがあるのではないかと感じた。 | | 168 |
| | 企画展入口の「The restroom is here」の表示が見えにくいので大きくしたり、目立つ位置でもいいと思う。 | | 171 |
| | ごめんなさいありません。 | | 199 |
| | だれが何語を話せるのかわからない | | 219 |
| | 気にならなかった | | 296 |
| C05 | 館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？ | | |
| | はい | 168 | |
| | いいえ | 30 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | レストランがほしいですね | | 10 |
| | もっとすわる場所がほしい | | 11・17・ 152・162・ 169・219・ 270・282 |
| | 早めの来館なのでスペースはありましたが、人が多くなるとムズカシイかも | | 19・230 |
| | レストランが休業していたのは残念。週末だけでもお茶ができるスペースがあるといいかな。 | | 34 |
| | 軽食や飲み物コーナーなどがあれば、と思います。山梨の郷土料理など。 | | 38 |
| | 展示室内にもう少しあるとよい | | 43 |
| | 座ってやすめてよかったです | | 37 |
| | 喫茶やレストランがやっているといいと思います。難しければ自販機を増やすとよいかもしれません。 | | 57・58 |
| | 館内にカフェなど、軽食、休憩(読書)できる場所があればゆったり観覧できると思う | | 101 |
| | ？ | | 104 |
| | それは十分ですが、軽食等がやっていないのは残念。 | | 136 |
| | わからない | | 156 |
| | エントランスロビーですが、展示室内にもイスがあったので休憩に関しては特に困らなかった。 | | 160 |
| | わかりにくい場所にあるため案内表示を詳しくした方がよい | | 163 |
| | 展示をジャマせず、また展示を見ながら休憩できるところが多く良かった。 | | 166 |
| | イスも多くありよかったです。客層を考えると丁度良い(お年寄りや親子連れ) | | 103・168 |
| | すわりやすかったです | | 178 |
| | 本当にごめんなさいすみません | | 199 |
| | いすが、ロビーにすくないので不便です | | 207 |
| | そこそこ分別のある年齢の子どもがうるさい。スペースをわけてほしい | | 213 |
| | もっとほしい。外でお弁当を食べるところがたくさんほしい。 | | 277 |
| D | さて、展示室です。(常設展示/鑑賞・学習型展示について) | | |
| D01 | まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真(「山梨の舞台」)。自分のまがが見つかりましたか？ | | |
| | はい | 110 | |

| | | | |
|-----|--|-----|----------------------------|
| | いいえ | 56 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | おもわず自宅を探してしまった | | 51 |
| | 分かりにくかった。せめて山の名前だけでもあれば… | | 66・87 |
| | 場所の名前があるとわかりやすい | | 88・166・ 167・168・ 177 |
| | ？ | | 89 |
| | むつかしい…かな？ | | 129 |
| | 県外なので | | 148 |
| | 市の名前が書いてあれば、分かりやすい | | 159・252・ 282 |
| | 目が悪くて見つかりませんでした。 | | 160 |
| | 最初のインパクトがでかくてつかみはバッチリ。 | | 162 |
| | 甲府盆地の地形がよくわかった | | 163 |
| | いつも博物館に来るときは、平日であったり午後であったり、交流員さんがいないときが多いのですが、いても楽しいですし、いなくても自分たちだけで盛り上げられるので楽しい。 | | 164 |
| | 山に囲まれていることがあらためてわかった。 | | 165 |
| | 家族となら見つけられたかも | | 169 |
| | 見づらいの上からプロジェクターなどで行政区域など映し出すとわかりやすい。また、タッチパネル等で映像切り替えができるのも良い。 | | 171 |
| | はくりよくがあつてよかったです。 | | 182 |
| | 地形の認識が甘い | | 291 |
| | 立体で山梨のことがよくわかった | | 197 |
| | とても見やすくとてもすごかったです | | 199 |
| | 個別の地域の拡大の展示 | | 249 |
| | 見にくい。立体としてのが意味不明 | | 251 |
| D02 | 常設展示室内では、2か月ごとに資料の展示替えを行っています。昨年度の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、パネルに気づきましたか？ | | |
| | はい | 73 | |
| | いいえ | 73 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 知らなかった | | 57・58 |
| | 昔の絵画についての説明が不足していたように思います。もう少し必要では？ | | 95 |
| | 説明が専門的すぎる | | 104 |
| | もう少し目に入りやすいインパクトのある掲示方法にすると気づきやすい | | 159 |
| | 受付の方が案内してくれたら、気づくかもしれません。 | | 160 |
| | 鮮やかなパネルで楽しそうと感じた。 | | 162 |
| | 暗くて見えづらい | | 163 |
| | 目に入りやすい配色や大きいパネルで見つけやすかった。 | | 164 |
| | パネルはかわいらしくしなくてよいと思う。展示ケースの中にあつた動物のレッドデータが絶滅危惧種をあらわしているのですか？ | | 165 |
| | 何に注目してみれば良いのかわかるため、さらに楽しめました。 | | 166 |
| | 少しわかりづらい位置にあつたので、入口の正面に置いたほうがわかりやすい（入口の横だと目には見えない） | | 167 |
| | 気づかなかつた。 | | 169 |
| | カラフルで子どもたちがよく見ていたと思います。 | | 171 |
| | 情報が多く見にくい | | 252 |
| D03 | 常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があつたほうが見やすいという方のために、展示室内の地図がパネルやパンフレットに表示されています。展示室内をめぐる際、迷われてお困りになることはありませんか？ | | |
| | はい | 30 | |
| | いいえ | 81 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 順路の表示がまちがえやすいです | | 53 |
| | どうまわればいいのかわからなかつた | | 87・145 |
| | 順路に従うべきか迷つた | | 122 |
| | 自由導線と順路の併用はよいと思う。 | | 159 |
| | 逆に自由に見れてよかつたです。 | | 160・169・ 277 |
| | 順路を示す矢印でなく、番号で表記されているのは、見落としがなくなるので、とても良いと感じた。 | | 164 |
| | 自由に回ることが出来るので、狭い場所だとすれ違うのが少し難しいと思つた。 | | 165 |
| | 展示室内が複雑だから順路があつて分かりやすい | | 166 |
| | 規則的なつくりの展示である反面、それがランダム的に配置されているため迷路のようになり迷つたように感じた | | 168 |
| | 展示室入口の垂れ幕？が見えにくいので（オレンジ）色を変えたほうがよいのではないかと（近くに行ってやっとわかる） | | 171 |
| | 迷う、見づらい | | 191 |
| | 順路自由とあつたほうがいかも。 | | 206 |
| | 迷うことなく拝見させていただきました | | 109 |
| | 順路があつたのでわかりやすかつた。 | | 224・229・ 246 |
| | 行き先がわかりにくい | | 237 |
| | 迷うのもまた楽しい。 | | 243 |
| | 「常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません」←ここをもう少し分かりやすく表記すれば良い | | 247 |
| | 複数回来ているので、展示内容は把握しているが、初めてだと漠然とした展示の印象を受けるかもしれない。 | | 282 |
| D04 | 常設展のテーマ展は「ようこそ！かいじあむ動物ワールド」（夏）、「かいじあむ定食、召し上がれ」（秋）ですが、おもしろかつたですか？ | | |
| | はい | 112 | |
| | いいえ | 16 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | どちらでもない | | 66 |
| | 見ていない | | 133・243 |
| | 探す楽しみがあつた！ | | 160 |
| D05 | 展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさは、ちょうどよかつたですか？ | | |
| | はい | 124 | |
| | いいえ | 23 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 常設展がやや暗い。字が間近に寄らないと何も見えない。 | | 136 |
| | 小さい | | 168・191 |
| | 暗くて見えにくい | | 226・251 |
| | 小さい、暗い | | 252 |

| | | |
|-----|--|-------------|
| D06 | 室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。 | |
| | はい | 128 |
| | いいえ | 15 |
| | 【ご意見】 | |
| | 説明をしてくださる方がほしい | 38 |
| | 現代的なICTの活用と、モノ作りのよさを生かしていると思った。あくまで、博物館なのだから色々な流行を取り入れすぎなくても良いと思う。すばらしい展示だった。 | 52 |
| | 常設展を見る時間がなかった | 56 |
| | 気がつかなかった | 66 |
| | ジオラマがよかった | 87 |
| | ジオラマは最高だが、とにかく照明が暗い、人形の表情がよく見えなかった。 | 99 |
| | 引き出し式は、2段くらいまで。2段目までが見やすい位置のように感じた | 103 |
| | 引き出しがわかりにくいです | 111・211・242 |
| | 館内の方がとても親切に教えてくださいました。一方的ではなく、ゆったり拝見させていただきました。 | 129 |
| | とてもいいと思う | 136 |
| | 引き出しは楽しい展示方式 | 148 |
| | 引き出し式の展示は言われなければ、気づかなかったので、もう少し大きめに案内があるとよい | 159 |
| | タッチパネルで「ごはん、はじめました」というキャッチコピーが出てくることがあり、とても面白かった。また学びの引き出しも何がでてるのか、ワクワクした。ただ引き出し展示がわかりにくいところがあった。「この年、甲州は乱国に…」のところ。 | 160 |
| | タッチパネルが子どもでもできる高さにあり、楽しめるのが良かった。 | 162 |
| | 「ごはん、はじめました」はおもしろい。センサーで説明が見られる装置は分かりやすいかも。ジオラマ展示+音声はイメージしやすかった。古文書は上に出していても良いのでは？当物を語る一次史料なので | 163 |
| | 「道がつなぐ出会い」のタッチパネルで、韓国語、英語、中国語の切り替えをタッチしても言語がでてこなかった。近世？有名鑑（明治時代）上の方が陰になっていたのが残念だった。 | 164 |
| | 「学びの引き出し」と書いていない引き出しのようなもので何回かあけそうになった。 | 165 |
| | 引き出しがあるというのは少し分かりにくいですが、とても面白いと感じる。展示室を有効に使っているな、と感じた。 | 166 |
| | 実物の展示やタッチパネルなど、その媒体ならではの楽しいしつけが多かった（ごはん、センサー式の地図） | 168 |
| | 自分で引き出すおもしろさがある。 | 169 |
| | 「学びの引き出し」のシールが小さく気づきにくい。目のマークや手のマークのシールがあると誰でもわかりやすいのではないか。（小さい子どもから大人、海外の人にもカバーできる） | 170 |
| | 文字が小さい | 251 |
| | 普通、いつもかわりない | 281 |
| D | 展示は楽しめましたか？（常設展示/体験型展示について） | |
| D06 | 衛星写真「山梨の舞台」の奥にあるにぎやかな展示場は、実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12か所の「現場」がありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。 | |
| | はい | 122 |
| | いいえ | 15 |
| | 【ご意見】 | |
| | 遊びの現場では様々なおもちゃで親子で楽しめてよい。 | 9 |
| | 夏休みなので子どもが多かった | 66 |
| | 係りの方の助言で楽しめました。感謝。 | 129 |
| | 現代では中々楽しめないものがいっぱいあり、楽しかった。特にかご担ぎと昔の衣装を着るのは面白い。 | 160 |
| | 子どもはゲームが好きだと思うので、甲府の町をゲームで楽しめるのが良い。 | 162 |
| | 実物にふれられるのがよい。街道を走るマシンがよかった。 | 163 |
| | 多くの体験できるものがあり、大人数で来たとしても、待ち時間がなく遊べるのでとても良いと感じた。「～の現場」と書いてあり、着目すべきところを教えてくれるのもよい。 | 164 |
| | 親子で学べていいと思う。 | 165・166 |
| | さまざまなゲームを楽しむことができるため、大人も子どもも長い時間滞在することができる（あきない） | 167 |
| | あそびの種類が多く、楽しい。ブロックごとわかれているため、子ども達が順番に遊べる。 | 168 |
| | 江戸時代のトイレを味覚えるのがおもしろい | 169 |
| | ふつう | 281 |
| D07 | 昨年度から、体験型展示に新しく「かいじあむ寺子屋」がオープンして、体験イベント「遊ぼう！学ぼう！寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用された方、楽しい体験ができましたか？また、「かいじあむ寺子屋」でこんなことができたら…というご意見がありましたら、お寄せください。 | |
| | はい | 66 |
| | いいえ | 5 |
| | 利用していない | 50 |
| | 【ご意見】 | |
| | ぱっと見て、ある程度の内容がわかるとよいと思う。 | 87 |
| | 中に入ってもOKで童心ではしゃぎました。 | 129 |
| | 今までにやっているかもしれないが、小さいイスなど、ミニ家具作りがあったら面白いとおもう | 160 |
| | 枱の大きさ、寺子屋、学校が再現されていてよかった。 | 163 |
| | 説明も丁寧でわかりやすく感じた。 | 164 |
| | 手軽に体験できる場は必要だとは思う。ただ、どうしても少人数だけになるので、手軽なものと同価値の高いものがあるといいとおもう | 224 |
| | 昔の服がサイズが大きすぎでした。 | 260 |
| D08 | 体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？ | |
| | はい | 82 |
| | いいえ | 54 |
| D09 | 展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？ | |
| | はい | 84 |
| | いいえ | 19 |
| | 【ご意見】 | |
| | タッチパネルが子どもの興味をひいてよかった | 9 |
| | クイズを入手したいが | 10 |
| | 眼の悪い人、視力の弱い人には、字が多すぎる気がした。 | 52 |
| | 音声案内があればよい（あったらすみません） | 159 |
| | ●鑑賞エリアにあるセンサー式の地図は面白かった。触れなくても動かせるのは感動ですが、少し操りにくいかも。でも近くに展示交流員がいて、解説があってよかった。●昭和期のところにある蓄音機は自然に止まるのを待つだけでなく、自分で止めるボタンなどがあっていいと思った。 | 160 |
| | 内容も充実しており、イスもあって気軽に見れる | 162 |
| | パネル展示に子どもが見やすいように台があつてよかった。 | 165 |
| | とても細かくて充実していると感じる。解説のフリーペーパーはもっとわかりやすいところにあつたらいいな、と思った。 | 166 |
| | 学びの引き出しは子どもが楽しめる教材だと感じた。（あけるときのワクワク感） | 167 |
| | 情報量は良いが、文章がかたくなるしく感じた。手で山梨の地図を動かせる機械、とても面白かったが操作時の説明が少なくわかりにくい。読み仮名が欲しい。順路や注意書の情報が多い。（量というより数→1つにまとめたほうがわかりやすい） | 168 |
| | 大人は沢山の情報量とパネル等で理解できると思う、子ども用のキャプションも少しあると良いとおもう。沢山の工夫がされているが、高さや位置によって見えにくいものもある。 | 171 |

| | | | |
|-----|--|-----|---------|
| | ふつう | | 281 |
| D | 展示は楽しめましたか？何かを学ぶことができましたか？（企画展示について） | | |
| | 「すごすぎる！ねこ展～人とネコの出会いと共存の歴史～」(夏)、「法然上人絵伝」展（秋）を開催中です。 | | |
| D10 | 今回の企画展は面白かったですか？よろしければ、どんなところが面白かったのか、感想も聞かせてください。 | | |
| | はい | 191 | |
| | いいえ | 2 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | ネコ豆知識が豊富にあった。写真が躍動的でよい | | 1 |
| | 最近流行のマテルネコも展示に入れるとよかったかと思います。又、さわれない事が多いですが、ネコの毛並み、毛触りも感じたかったです。 | | 6 |
| | ピンクネコよいです。展示に工夫がみられ楽しめました。 | | 10 |
| | ネコはかわいい！入口の写真展も親しみがあってよい。 | | 11 |
| | ことわざと一緒に写真があったこと | | 20 |
| | クイズ形式で勉強になりました | | 25 |
| | 夏休みなので子ども向けに古文書は分かりやすくした方がよいと思います。 | | 31 |
| | ネコと人の歴史をさまざまな角度から学べて楽しかった | | 33 |
| | 写真の奥深い特徴がわかった | | 40 |
| | 身近なテーマ | | 66 |
| | ロボット | | 72 |
| | ライオンなど動いているのが子供が怖がり泣いてしまったので、少し弱めにして欲しかった | | 73 |
| | 明治以前の人々とネコの関わり方が知れたのはとても良かったです。 | | 74 |
| | クイズがあったので、楽しかった。よく見ることができた。 | | 79 |
| | 動く剥製みたいなのは、良かった。それ以外はいまひとつ。ネコ好きのための写真が並んでいる？ | | 87 |
| | まあまあ | | 89 |
| | ネコの歴史、体のしくみ | | 90 |
| | 生物学的なものから文化的内容まで幅広く取り扱っていたため | | 91 |
| | 絵を描いて動いたこと | | 92 |
| | 少し専門的な説明の直後に目に入るポスター的なネコの一言が象徴的でわかりやすく、利いています。よく工夫されていてとても楽しい企画展でした。みに来てよかった。 | | 95 |
| | 展示の順番にストーリー性があったセンスよかった | | 96 |
| | 見やすくおもしろかった | | 98 |
| | トラ、ライオン、スミトロンロボットがブサかわいくてよかった。 | | 101 |
| | もっとネコのかわいらしさを全面に | | 104 |
| | ネコ好きにはたまらない | | 112 |
| | もっとネコの写真がみたかった | | 114 |
| | 少し高い（料金） | | 118 |
| | フェルト猫のぬいぐるみ、写真と言葉（格言、諺） | | 119 |
| | 写真、リアルなぬいぐるみ、ネコの生態 | | 124 |
| | 写真が楽しかった | | 125 |
| | クイズ作戦で大人も小人も楽しく学べたと思います。 | | 129 |
| | ネコの日常写真 | | 131 |
| | ロボットがすごいな、と思いました。 | | 135 |
| | どちらともいえない。本物のネコがいたり、もっと歴史を深く掘り下げたり… | | 136 |
| | ねこの写真がかわいい。自分のかいた絵がうごいてすごいと思った。はじめて知ったことがたくさんありました。 | | 142 |
| | 私たちの生活とネコが？どのように関わってきたのか、よくわかりました。カイコにネコの魔よけは知りませんでした。ところどころにあるネコの写真やことわざが展示のアクセントになっておりとてもいやされた。また、迫力ある剥製やライオンなどのロボットを導入して子供も楽しめる展示になっていた。 | | 159 |
| | ●とても面白かった。写真をいたるところに貼っていたのは飽きないし、癒しを得られたから大変良いと思う。●トラやライオンなどが動くところで、照明の当て方が上手く、壁にうつる影が大きく見えて迫力があつた。これにともなう、鳴き声を出したり、暗幕を使って次の期待を引き出していた。 | | 160 |
| | 三味線、ネコ車がよい。また剥製を見たあとにネコ科の動物が動いている展示があるのは、とても面白いと感じた。 | | 162 |
| | ●資料展示の合間にネコの写真、パネルがあって気分転換になる。●ネコを飛躍させて三味線、一輪車を展示していたのは面白かった。●後半の方で模型があって子どもたちでも楽しめるようになっていた。●ネコ関連の史料ばかりでなく、生き物としての特色も紹介されているなど、まんべんなく説明がなされていたと思った。 | | 163 |
| | 剥製やうごく動物、おえかきなど子ども達があきない内容で面白かった。パネルの中でも時々、ネコから噴出しが出ている子ども用のパネルもあったり、子どもから大人までワークシートに積極的に取り組んでいた。 | | 164 |
| | 古代からネコが存在していて、人々と密接な関係を結んでいることがわかった。足元にネコのパネルがあって、本物がいると本気で思った。 | | 165 |
| | ねこのことをきちんと学ぶことができ、かつ見るだけでも楽しめると感じる。かわいい、楽しいという点ではとてもすぐれているが、もう少し学術的要素が高くて良いのでは？と思った。 | | 166 |
| | 剥製があったり、動く猛獣がいたりして大人も楽しむことができた。 | | 167 |
| | 様々な時代のネコを様々な媒体、視点から知ることができた点。ねこの見た目だけでなく、その中身（骨格、性格）についても知ることができた。 | | 168 |
| | ことわざを知ることができた。ひたすらいやされた。 | | 169 |
| | 大人から子どもまで楽しめるものであったと思う。 | | 171 |
| | 展示品の保存の関係でしょうか。照明が暗すぎる点ありました。 | | 206 |
| | 見たことのない、掛け軸や色々と興味深かったです。 | | 207 |
| | クイズを交え、わかりやすかった | | 215 |
| | 県内に万福寺というお寺があることを知りました。今度、行ってみたいと思います。 | | 220 |
| | 内容的に充実していた | | 221 |
| | クイズがわかりにくい。子ども向けのものや正解の所を色をかえたり、強調したり、照明を明るくするべき。 | | 224 |
| | 説明を聞きながら展示を見ることができたのでわかり、よかった。 | | 233 |
| | 法然上人の生き様を詳しくみることができた。 | | 236 |
| | クイズが子ども達の興味をもっていた。 | | 238 |
| | 古い絵図が間近で拝見できてよかった。昔の人の筆文字の見事なこと、絵の繊細さが鮮やかに残っていて素晴らしいです。 | | 242 |
| | 古人は極楽往生にあこがれをもったのですが、私は行きたくありませんね。超過密都市（？）です。 | | 243 |
| | いろいろとみられて楽しかった | | 246 |
| | 興味があつたので、整理されていて役立った。 | | 252 |
| | 貴重で重要な文献などが見られてよかった。 | | 253 |
| | いろいろな絵伝が見られた | | 259 |
| | 法然上人の一生がわかり、また仏教について学ぶことができてよかったです。 | | 264 |
| | 説明がわかりやすく良かった。クイズをすることで視点が明確になる。 | | 265 |
| | むかしの時代は仏教がさかんだったことがわかりました。 | | 269 |
| | 勉強になりました。 | | 270・273 |
| | 絵伝の見方がよくわかり、これからの参考になった。 | | 278 |
| | クイズラリーがあったので、答えながらよく見ることができました。 | | 279 |
| | 県内の資料もたくさんあり、よかったです。 | | 287 |
| | 私は岡山県出身で法然上人の誕生寺に何度か行ったことがあるので、とても親しみをもってみる事ができました。 | | 288 |
| | 藤沢の大庭の地名が出ていて墓参りに大庭へ行っているのて心にとまる | | 290 |
| D11 | 展示のなかで、「難しい」「わかりにくい」と感じたところはありましたか？ | | |
| | はい | 56 | |
| | いいえ | 81 | |

| | | | |
|-----|---|--------------------|-----|
| | 【ご意見】 | | |
| | 動きのある動物展示は子どももうれしいでしょう | | 10 |
| | 文字が小さいところもある | | 11 |
| | ワークシートをその場でずっと子どもが書いて、展示がみえない | | 15 |
| | 子どもには展示が高い | | 26 |
| | 昔の書物の展示はそのページのそのままの訳があると良かった。 | | 34 |
| | ガイドがなかったら素通りしていたかもしれません | | 59 |
| | 当時の資料に何と書いてあるか読めなかったです。 | | 74 |
| | 子供の興味をひくよう、わかりやすくしてほしい | | 87 |
| | 映像に少し解説が入っているとより分かりやすいと思います | | 90 |
| | とてもみやすくよかったです | | 98 |
| | 書物でそれとまつわる部分に矢印をつけてほしい。骨格だけでなく、はくせい等も併設してほしい | | 131 |
| | ●キャプション15,16には解説がないのは何故なのか気になった。●問題(子どものワークシート)を探すのが難しかった。 | | 160 |
| | ●古文書の現代語訳がないと分からない。●子供向けの説明も必要では？(ワークシートだけでなく) | | 163 |
| | 「おえかきコーナー」がせまい印象を受けた。おえかきに参加するのは主に子どもたちだと予想されるが、子どもたちの視点から見ると、なまめになってしまっ、見にくいのではないかと。もう少しスクリーンのかべから広めにスペースをとったほうがよいのではないかと。 | | 164 |
| | 古文書に現代語訳がついていてもよかったですのかもしれない。大変ならくずし字→現代かな文字の表を置いて来館者に読ませてみては？ | | 165 |
| | 解説があるところのないところがあった。キャプションと作品の距離が遠いものがあった(目が疲れる) | | 168 |
| | 剥製のところに世界地図があると、どこがどんな種類の動物がいるのかわかりやすいかもしれないなどと思った。 | | 171 |
| | 子どもにもわかるよう、ふりがながあると良いと思います | | 172 |
| | 字が小さい。展示物保護のため照明ができないと思うのが暗くて見づらい | | 177 |
| | 地理的表示があるとよかったです。 | | 206 |
| | 展示がみやすかった | | 207 |
| | ワークシートの答えがわかりづらい | | 212 |
| | 内容が濃くてなかなか読めきれない | | 221 |
| | もっと文字を大きくしてもらえるとありがたい。もう少しわかりやすいよう、文面を短くしてほしい | | 223 |
| | 足元の順路が古い展示のままになっている。 | | 224 |
| | ガラスが反射して展示物がみにくい。解説が小さい | | 237 |
| | ただ見るだけではどこに何があるのか、何が重要なかわかりにくい。「ここが大切」といった表示(説明文だけでなく、絵等まで)があるとよい。解説をききながら見るとよくわかりました。 | | 242 |
| | 幅の絵は残念ながら修復後でもよく見えません。できれば拡大した写真パネルか全シーン展示して欲しかったです。 | | 243 |
| | 漢字をもう少し増やしてほしい | | 246 |
| | 詳細な説明でわかりやすい | | 249 |
| | 高僧図の各お名前を書いた図が脇にあれば良いとおもう | | 251 |
| | 良かった | | 252 |
| | 万福寺の地図があるとよいと思います。 | | 263 |
| | 展示は仏教の言葉が多く、読めないものがあり、わかりやすい言葉のほうが年齢を問わず学ぶことができると思います。(ビデオやテレビがあるとさらにおもしろいです。万福寺の地図の紹介があるとよいと思います。) | | 264 |
| | 掛け軸が古いので、見づらかった。輪郭や抽象画等の絵で解説されていおる方がよいのでは？ | | 282 |
| | ポイントをキャッチコピーのように示してあると、興味をもってみられる気がします。 | | 288 |
| D12 | 今後、どのような内容の企画展の開催を希望しますか？ | | |
| | 犬展 | 1・66・71・72・155・169 | |
| | ねこ展2 | 15 | |
| | 地域の文化、信仰、アニメ、マンガなどのサブカルチャー | 31 | |
| | 工場萌え写真展 | 33 | |
| | 保護ネコ活動。動物ギャクタイストップの意識を高める展示。甲府の動物園を救う。保健所殺処分“0”県を目指す | 34 | |
| | すぎすぎる！いぬ展 | 40 | |
| | さまざまな企画楽しみにしています | 49 | |
| | 伝説、伝記、風俗的なもの、「食」に関するもの | 52 | |
| | 犬をお願いします。愛犬家です。ネコも大好き | 54 | |
| | 富士山展(絵画や地層、山の構造なども含む) | 57 | |
| | 富士山について、地学的なことや歴史的な文化について | 58 | |
| | 武田家に関するもの、大東亜戦争と山梨 | 74 | |
| | ワンダフルイヌ展、ぶどう展、山展(プロジェクトマッピング等、ここにおいてアート感ある山の雰囲気を楽しめる) | 96 | |
| | イヌ展、将棋展、ハムスター展、かわいい動物展 | 142 | |
| | これまでもやりつくされていると思いますが、旅や富士山についての展示がみたい。 | 159 | |
| | 新撰組に関する企画展をやってほしいです。新撰組は一時期甲府にもいたので、その時の隊員たちの状況や戦況などの史料があれば使い、なくても、地図や資料などを展示して欲しい。また蟬人形などを使って、リアル感を出すのもよいと思う。 | 160 | |
| | ねこの浮世絵 | 162 | |
| | イヌ展、小山田展、穴山展、武田以外の有力国衆に関する展示が見たい。 | 163 | |
| | 幕末と山梨(戊辰戦争)、富士山に関する事(浅間山が噴火したから) | 165 | |
| | 甲府聯隊や戦時中の企画展、地方病について、さらに知る機会があればいいと思います。 | 166 | |
| | 甲斐源氏の盛衰、山梨の神話・民話 | 167 | |
| | 楽器の企画展(見た目の変遷、音が出る機構の変化) | 168 | |
| | 若者に流行している食べ物について。(今ならタピオカだが知らないことが多いまま飲んでる人が多いので) | 169 | |
| | 山梨の市町村展、水の生き物展(海がない山梨) | 171 | |
| | リカちゃん展がとてもよかったです。鉄道展もプラレールのおもちゃがおいてあり、その時は何度もあそびにきました。 | 216 | |
| | このように山梨に関わる歴史的な足跡 | 221 | |
| | とつきにく企画が多いのもっと身近な人物やそのことにとつきやすくなるような体験があると良い。その人物の服をきることができたり、使っていた道具をつかったり、作ることができたり… | 224 | |
| | 海外の歴史展 | 226 | |
| | 富士山。和歌、俳句、近代以前の絵画、日記、文学、地形、地質、考古、信仰、民族、生活等、富士山の総合的な企画展示(分野別ではない) | 243 | |
| | 山梨県の伝承文化、お祭り | 245 | |
| | 現在までの山梨の歴史 | 249 | |
| | ねこ展とかキティちゃん展とかやってほしい | 262 | |
| | 勝頼等、また武田氏(甲斐源氏)とまつわるもの | 264 | |
| | 万福寺の地図等があればよかったです。(所蔵されているお寺など) | 265 | |
| | 武田、甲州軍団、戦国合戦図屏風 | 266 | |
| | 今回のような企画。木喰上人をまたやってほしい。 | 278 | |
| | 今回のようなもの。ビデオがあったのでよかったです。武田信玄に関係するもの | 279 | |
| | 科学の企画展 | 280 | |
| | 山梨にまつわる人物等 | 281 | |
| E | 調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。(もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ) | | |
| E01 | 資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。 | | |
| | はい | 51 | |
| | いいえ | 43 | |

| | | | |
|-----|---|----|---------|
| | 【ご意見】 | | |
| | 山梨に関する資料がある程度そろっており、魅力的だった。 | | 159 |
| | 静かで過ごしやすかった。また資料も豊富でよかった。 | | 160 |
| | 企画展の史料などがあり、面白くより深く学べる | | 162 |
| | 資料が豊富。ネコ展ということで、ネコに関する資料が展示されていてよかった | | 163 |
| | 「企画展関連の本がある」表記が入口のところにあったので入りやすい | | 164 |
| | 入ると企画展に関する本がたくさんあってよかった。 | | 165 |
| | 山梨に関する書籍がとてもしろっていた | | 166 |
| | 資料が豊富だった。 | | 167 |
| | 部屋の外にも本を並べておいたほうが利用しやすいのではないかと。 | | 168 |
| | 少し入りにくく感じてしまうのと、少し狭い | | 169 |
| | カラーコピーできませんか？ | | 243 |
| E02 | 古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることが出来るサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？ | | |
| | はい | 41 | |
| | いいえ | 33 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | ごめんなさい。利用したことないです。 | | 160 |
| | ？ | | 221 |
| E03 | 本年度は6回、館内での「古文書相談日」が開かれていますが、知っていましたか？ | | |
| | はい | 35 | |
| | いいえ | 68 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 学芸員の方に関して知りました。 | | 160 |
| E04 | もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。 | | |
| | はい | 38 | |
| | いいえ | 38 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | ないので、すみません | | 129 |
| | 山梨に関すること | | 159 |
| | 大学でそのことを学んでいるので、今度史料について聞いてみたいです。 | | 160 |
| E05 | 「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることが出来る検索端末（パソコン）を知っていましたか？よろしければ、使い勝手の感想も聞かせてください。 | | |
| | はい | 32 | |
| | いいえ | 55 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 使用してない | | 11 |
| | シンプルでつかいやすい | | 159 |
| | 簡単にできるので良い | | 163 |
| | 便利ではあるが、「NO Image」と出てくるものもあり、イメージがわきづらかった。 | | 164 |
| | データ化されていない資料が多い | | 165 |
| | 何が出来るのか、使用を促すような、張り紙などをすべき。 | | 168 |
| | 甲州文庫についてのパネルの写真が旧バージョンであった。新しくしても良いのではないかと思った。 | | 171 |
| | 使ったことはありません。 | | 243 |
| E | 調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。（山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ） | | |
| E06 | 博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？ | | |
| | はい | 28 | |
| | いいえ | 9 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 富士川の歴史 | | 11 |
| | ？ | | 129 |
| | 見つけにくかったです、でもケータイから情報を得られるのは今の時代いいと思う | | 160 |
| | 県外（多）そのまま次にいける場所の情報を！ | | 168 |
| | わからなかった | | 207 |
| | ふつう | | 281 |
| E07 | 常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？ | | |
| | はい | 63 | |
| | いいえ | 11 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 色々なミュージアムの情報が有り、今どんな展示をやっているのか情報収集できてよい | | 159 |
| | 家族連れであれば、どこか遊びに行くという一つの案としていいと思う。 | | 160 |
| | 実際にパンフレットもあり、ぜひ、行ってみたいというキッカケになる | | 162 |
| | 現地の情報を載せたほうがよいと思う。 | | 163 |
| | 地域ごとに分けられておいてはさすが（県の地図はわかりやすい）わかりづらい印象があるので、場所ごとに置く場所を色分けするなどしてはどうか。たくさんの情報があり… | | 164 |
| | いろいろな博物館のパンフレットがあつて行ってみたくなつた。 | | 165・167 |
| | 県立博物館以外の情報がとても充実していて、行きたくなつた。山梨の博物館マップなどをパネルにして大きく貼ってもらえたらうれしい。（あつたら、すみません） | | 166 |
| | 何のコーナーなのかわかりにくい。ただでさえ、広いスペースに迷路のようなカタチで位置どりをしているため、案内が必要 | | 168 |
| | 山梨の地図で区域示されたものがわかりにくい。もっと見える位置においても良いと思う。地域インデックスコーナーの案内表示がみつけれなかった。 | | 171 |
| | 富士川の歴史がよかった | | 207 |
| | 万福寺、三光寺 | | 221 |
| | 法然上人ゆかりの寺院、遺跡 | | 252 |
| | 法然が活動した地域 | | 266 |
| F | ショップやレストラン、お庭散策も楽しめましたか？ | | |
| F01 | ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫をしていますが、いかがでしたか？ | | |
| | よい | 67 | |
| | ふつう | 47 | |
| | わるい | 1 | |
| | 利用しなかった | 36 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 企画展のグッズが前にでていてよかった。 | | 160 |
| | 小さい、入りにくい | | 191 |
| F02 | レジの対応はいかがでしょう？ | | |
| | よい | 50 | |
| | ふつう | 32 | |
| | わるい | 1 | |
| | 利用しなかった | 54 | |

| | | | |
|-----|---|----|--|
| F03 | 買ったもの、買いたいものはありましたか。品揃えはいかがでしょうか？ | | |
| | よい | 58 | |
| | ふつう | 55 | |
| | わるい | 4 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 子どものおこづかい程度でも買えるものをふやしてほしい | | 38 |
| | ねこグッズがかわいい | | 160 |
| | もう少し品数が欲しい | | 177 |
| F04 | オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコスター、マグネット、ボールペンなどがあります。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？ | | |
| | 常設展のフィギュアのグッズがあるといい | | 10 |
| | 作家（アマ・プロ問わず）の作品展、その時の企画展にあった、他の作家とか | | 34 |
| | この博物館にしかない、この時期の山梨でしか買えないものがあるとわざわざここまで来た人が喜ぶと思う。オンラインにのせず、売店のみというも | | 52 |
| | クレジットカードの利用ができなく、数点（3ヶ）しか購入できなかった。クレジット不可の為、買うと思った商品をキャンセルする際、レジで受け取ってくれなかった（自分で返却）ヒドイ | | 56 |
| | バンドエイド | | 57 |
| | 宝石についての本 | | 58 |
| | 世界のネコグッズ、お菓子など | | 90 |
| | ショップにも少しグッズを入れて欲しいです | | 108 |
| | ネコふきん6枚、買い占めてしまいました。友人にプレゼントです。 | | 129 |
| | カレンダー及び手帳などがあると、買いたくなる気がする。（特に10月から12月） | | 160 |
| | 今回の企画展の作品の写真集がほしくなった | | 162 |
| | 武田信玄関連のものを増やしたほうがよい | | 163 |
| | スマホケース | | 165 |
| | 充実しているな、と感じる。山梨の歴史に関する書籍は、子ども向けやまんがを増やしても良いのではないかと。 | | 166 |
| | 博物館のマスコットキャラクターのグッズ | | 167 |
| | パスケースやスマートフォンケースなど日常生活で使いやすいもの | | 168 |
| | イヤホンや車のステッカーなど | | 169 |
| F05 | 現在、軽食・喫茶コーナーは営業していませんが、不定期で敷地内において、パン屋さん、カフェ、ピザ屋さんなどの移動販売が行われています。利用したことがありますか？試してみた方はご感想を。 | | |
| | はい | 37 | |
| | いいえ | 85 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | ことしはなさそうですね | | 10 |
| | ない | | 11 |
| | 休みだった。 | | 56 |
| | いつも売り切れているか、いないことが多くて利用できない | | 57 |
| | たいてい利用したいときはない | | 58 |
| | 営業再開してほしい | | 92 |
| | 移動販売、あまり雰囲気こそぐわらない | | 118 |
| | 高いので利用しません | | 142・169 |
| | パン | | 174 |
| | あると便利。 | | 206 |
| | おいしい | | 218 |
| | パン屋さん、おいしかったです | | 223 |
| | ふつう | | 236 |
| | 自動販売機ではなく、ドリップコーヒーが飲みたい。 | | 243 |
| | リピートしている | | 257 |
| | よいと思う | | 266 |
| | 庭がきれいだし、コーヒー屋さん、パン屋さんがあるといい | | 279 |
| F06 | 新たな飲食施設の再開は未定ですが、どのような飲食施設があったら、利用されますか？また、どのような飲食施設が良いと思いますか。 | | |
| | コーヒー、軽食、歩くとノドがかわきます。 | | 6・284 |
| | ユニークな軽食 | | 10 |
| | カフェ・喫茶店・軽食 | | 11・33・47・129・159・160・164・165・166・207・243・281・293 |
| | 飲み物が充実しているカフェ、アレルギー対応やカフェインレスのメニュー | | 33 |
| | 軽食が良い。ドリンク、デザート（山梨の土産品をその場で提供するか）県産フルーツ（スーパーではなく直売や農協） | | 34 |
| | 山梨の郷土料理など | | 38 |
| | テイクアウト可で、山梨の特産品を出す店 | | 52 |
| | おいしい食事ができること | | 56 |
| | フードコートのようなもの。自販機で買ったものを食べてもよい。 | | 57 |
| | 飲食スペースが有って、簡易に食べ物が買えればよい | | 58 |
| | そば、うどん、カレーライス | | 59 |
| | 軽食、子連れで気軽に立ち寄れる | | 92 |
| | 安くて、手軽なもの。 | | 142・266 |
| | 県産の食材を使用した料理が食べられると良いと思います。また、館内は飲み物の禁止で、のどがかわくのでドリンクが多いとうれしいです。 | | 143 |
| | 子どもも楽しめるメニューがあるといい | | 162 |
| | 軽食コーナーが欲しい→昼食を食べて午後も見られる | | 163 |
| | パン屋さん、博物館の展示に関わるメニューがあるお店 | | 167 |
| | ごはんから軽食までどの時間帯にきても利用しやすいメニューをとりそろえている施設 | | 168 |
| | 手軽に食べられるパンや、夏ならカキ氷、アイスクリームを提供してくれるお店 | | 169 |
| | 博物館にちなんだメニュー（県立美術館のようにミレーのドリアみたいなもの） | | 171 |
| | 軽食、うどんなど | | 274・206 |
| | 軽食、早く再開してほしい | | 277 |
| | いらなと思います。 | | 216 |
| | お茶を飲めたり、軽く食事ができるところがあると良いとおもいます。 | | 232 |
| | 山梨県産のジューススタンド、軽食。 | | 242 |
| | 平日の集客が大変だと思うので、飲食店は難しいと思いますが、カフェベジカレーなどのお店があるといいと思います。 | | 245 |
| | ラーメン | | 257 |
| | カフェ。ケーキ | | 263・280 |
| | ちよつとしたカフェ。庭で食べるようパン屋テイクアウトコーヒーショップ。 | | 278 |
| | 気楽に利用できるもの。庭がきれいだから、飲食屋さんだけに、利用しにこれるところ。 | | 279 |
| | 場所が離れすぎていて、博物館らしいカフェの方がいいと思う（展示物があるような） | | 296 |

| | | | |
|-----|--|----|---------|
| F07 | オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみた方はご感想を。 | | |
| | はい | 45 | |
| | いいえ | 70 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | わかりにくい | | 11 |
| | 犬の利用ができるとよい | | 56 |
| | 今日は暑すぎますね | | 129 |
| | 帰宅すれば良いかと思ってしまう | | 169 |
| | 天気のよい日は気持ちが良い。 | | 243 |
| | パンを食べて休みました。とてもよかったです。 | | 278 |
| F08 | 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか？ | | |
| | はい | 47 | |
| | いいえ | 54 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 芝も整理してあり緑が多くて気持ちよいです | | 42 |
| | 手入れされていてとてもきれいだった | | 47 |
| | 行ってみます | | 52 |
| | 暑くて外に出られませんでした | | 84 |
| | きれい！！ | | 92・142 |
| | シーズンによってはお庭でごろっとするのもいいと思う | | 103 |
| | 館内で教えてくださり、ガラス越しに拝見しました。 | | 129 |
| | お庭は好き。でも、駐車場から入口まではきれい | | 146 |
| | 結構広く、見所が多い。ぶどう、ももの畑の存在は知らなかった。 | | 159 |
| | 学芸員に聞きました。しかし、行ってないから分からないです。 | | 160 |
| | さまざまな果物や花がありきれいで面白い | | 162 |
| | 広いと思ったが、もう少しPRしたほうがよい | | 163 |
| | とてもキレイで入館前にやされています | | 169 |
| | いつ来ても整備されていて癒されます | | 177 |
| | 特に紅葉時が素晴らしい | | 206 |
| | とてもステキだと思います | | 232 |
| | 木々が四季いろいろな表情をみせてくれ、楽しいスペースです。子どもが遊ぶのにも起伏があって楽しい。 | | 242 |
| | 名札をもっとふやしてほしい。 | | 243 |
| | 庭がとてもよく、一度ガイドのとき、来たいです。 | | 278 |
| | ガイドのときにきてみたい | | 278 |
| | 芝がふかふかでよかった | | 296 |
| G | 博物館で行われているイベントや普及プログラムに興味がありますか？ | | |
| G01 | 館長トーク・古文書講座・子ども工房などのイベントプログラムに参加されたことがある方にお聞きします。内容はいかがでしたか？ご意見もあればお聞かせください。 | | |
| | よい | 28 | |
| | ふつう | 17 | |
| | わるい | 1 | |
| | 参加していない | 65 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 手軽に研究の情報や古文書に親しめてよい。 | | 159 |
| | 羽子板、風鈴、水でっぽう、うちわ、たこ、どれも楽しくてよかった。 | | 242 |
| | 子どもイベントに参加したが、子どもが一生懸命工作（ちぎり絵）をしているのに、「もう時間で終了」といったようなスタッフの態度がいやだった。そんなに人も来ていない日だったのに、なぜ？という感じ。 | | 274 |
| G02 | こんなプログラムがあれば参加したい、というものがありますか？ | | |
| | 歴史探し | | 11 |
| | ？ | | 56 |
| | 幼児用のもの | | 72 |
| | わかんない | | 142 |
| | 歴史すごろく作り。常設展の明治期の展示品をみていて、とても魅力を感じたので、自分でもつくってみたいです。 | | 160 |
| | 戦国時代の陣中食を食べる。→昔の食事を食べてみたい | | 163 |
| | 大人が楽しめる工作イベント、子どもがいけないと行きにくいので | | 169 |
| | ナイトミュージアムツアー（ただ館を見てもいいし、映画ナイトミュージアムを上映しても面白いかもしれない。 | | 171 |
| | 庭の葉っぱや木を使う工作。植物の特性やかかわりある人物のエピソードなど。個人的には百人一首が好きなので、それとからめてもらえれば。ジャンル違いかもだけど、庭、建物の絵描き写真教室のコンテスト、一日、博物館で働いてみる | | 224 |
| | お料理 | | 231 |
| | 山梨県の地形、地質。民俗学講座 | | 243 |
| | 以前、新田さんのワインイベントに参加しましたが、ワインに関するイベントがあるといいと思います。篆刻も良かったです。 | | 245 |
| | ハーバリウム体験をお願いします。 | | 269 |
| | ないです | | 280 |
| | ものづくり | | 283 |
| G03 | 博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？（県博とNPOで制作した、まちミュージアムガイドブックをショップで販売中です。） | | |
| | はい | 60 | |
| | いいえ | 25 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | かいました | | 10 |
| | 県内の歴史スポットに行くことが少ないので行ってみたいです | | 160 |
| | 参加してみたいです | | 207 |
| | 博物館から歩けるコースや企画展関連のコースをもっと紹介すればいいと思う。 | | 274 |
| H | 博物館で働く人たちと交流できましたか？ | | |
| H01 | 館内スタッフの案内や誘導はいかがですか？ | | |
| | よい | 82 | |
| | ふつう | 44 | |
| | わるい | 2 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | ポイント、ポイントで説明してくれた | | 103 |
| | スタッフさんのおかげで分かりやすく楽しかった | | 129 |
| | とてもよい | | 140 |
| | いつもやさしいです | | 142 |
| | 明るく親切で好印象だった。ただ、これまで展示交流員の存在は知らなかった。 | | 159 |
| | 困っていたら、話しかけてくれて解説してくださったのは嬉しかった。 | | 160 |
| | 子どもにもわかりやすいように説明していてすばらしい | | 162 |
| | ていねいに優しく案内をしていてとても良かった。 | | 164・171 |
| | 来館者とコミュニケーションをとれていていいと思う | | 165 |

第I編 山梨県立博物館の目指すところ

| | | | |
|-----|---|-----|---------|
| | ちょっとしたことを教えていただけるのでありがたい | | 169 |
| | スタッフさんいい人でした。 | | 283 |
| H02 | 展示交流員（女性はグレーのチェックの制服を着ています）の説明はわかりやすかったですか？ 面白い話を聞けましたか？ | | |
| | はい | 66 | |
| | いいえ | 29 | |
| | 【ご意見】 | 2 | |
| | 丁寧に対応してくれました。 | | 160 |
| | 説明は受けられなかった | | 252 |
| | 利用なし | | 267 |
| | 交流していない | | 281 |
| | 親切な対応をしていただいた。 | | 296 |
| H03 | 館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のスタジャンを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。あなたもなってみたいですか？ | | |
| | はい | 24 | |
| | いいえ | 23 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | めだたなかった | | 11 |
| | 無料で説明がきけるとは思わなかった。有料でもいいから専門的に説明をききたい | | 56 |
| | 東京から遠いので | | 58 |
| | すみません、大阪人です | | 129 |
| | ？ | | 153 |
| | 一度なろうとしたことがあったが、そのときは、資料整理はしていないとのことだったのでやめた。少し研究に触れられるような活動があればやりたい | | 159 |
| | 時間ができたらなってみたいです。自然ゆたかで楽しい本館なら楽しめそうだから。ボランティアスタッフの方も優しく挨拶してくれました。 | | 160 |
| | ボランティアスタッフの条件 | | 165 |
| | 興味はあってもどれくらいの知識を求められているのか不安がある | | 168 |
| | 協力できる時が少ないが力になりたいと思う。 | | 169 |
| | すごく丁寧に説明してもらえました | | 231 |
| | 見かけなかった。 | | 252 |
| | きさくでいい人でした。 | | 283 |
| I | 博物館に行く前に、情報は入手できましたか？ | | |
| I01 | 県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？また、ホームページではどのような情報を知りたいと思いますか？ | | |
| | はい | 116 | |
| | いいえ | 7 | |
| | 見ていない | 48 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | テレビCMのみ | | 11 |
| | 看板 | | 27 |
| | どんなことをやっているか | | 30 |
| | バスの時刻表、近隣の飲食店、コンビニ | | 57・58 |
| | ホテルに行く前に急に来ました。 | | 129 |
| | ショップでどんなものが売っているかなども知れたら嬉しい。 | | 160 |
| | 混雑状況 | | 165 |
| | とてもわかりやすかった。 | | 166 |
| | 最新ではいい情報が表示されることがあった。 | | 168 |
| | 詳しいアクセス方法 | | 169 |
| | 将来の展示予定 | | 206 |
| | イベント情報 | | 231・238 |
| | 県内を主に各市町村のイベント企画がまとめて見られる様なホームページにしてほしいです。 | | 243 |
| | 史料、作品、調査手続き | | 266 |
| | インスタばえする写真撮影OKポイントをマップで示すとよいのでは。 | | 288 |
| I02 | 博物館に来る際にどのような広報をご覧になりましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可） | | |
| | ホームページ | 87 | |
| | かいじあむ通信「交い」 | 14 | |
| | ちらし | 41 | |
| | 新聞 | 33 | |
| | テレビ | 35 | |
| | ツイッター | 11 | |
| | その他 | 10 | |
| | ラジオ | 5 | |
| | なし | 0 | |
| | インスタグラム | | 59 |
| I03 | 博物館では公式ツイッター（kaiseum_ypm）でさまざまな博物館情報を発信しています。「女子部」も活躍中です。ご存知でしたか？ご存じの方は、その感想もお聞かせください。 | | |
| | はい | 30 | |
| | いいえ | 50 | |
| | 見ていない | 43 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | がんばって | | 10 |
| | みています | | 47 |
| | 「女子部」の存在は知りませんでした。ただイベント情報などをあげていただけるのは嬉しいです。 | | 160 |
| | 面白い取り組みだと思います。 | | 169 |
| I04 | 山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されていますが（http://www.museum-kai.net/）、利用したことがありますか？知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？ | | |
| | はい | 25 | |
| | いいえ | 55 | |
| | 見ていない | 71 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | みています | | 47 |
| J | 最後に、これもぜひお聞きしたいところです。 | | |
| J01 | 館の愛称は、「かいじあむ」。名前の感想は？ | | |
| | よい | 100 | |
| | ふつう | 76 | |
| | わるい | 10 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | なにかわからない | | 23・276 |
| | おぼえやすい | | 43 |
| | かいじとまちがえてしまった | | 47 |
| | こどもなどには意味が伝わりづらいのでは？伝え方に工夫すると良いのでは？ | | 52 |

| | | | |
|-----|--|-----|--------------------------------------|
| | 覚えやすかった。一回で覚えた。 | | 57 |
| | ? (ふつうよりわるいかんじ) | | 104 |
| | 甲斐の「かい」と博物館の「ミュージアム」が合体され、分かりやすく良い愛称だと思う | | 159 |
| | 呼びやすく、県立博物館より愛嬌があり、良い。 | | 160 |
| | 山梨を感じられるのでよい | | 162 |
| | 親しみが持てる名称だと思う。 | | 163・164 |
| | 意味がわかりやすい | | 168 |
| | なぜ、そうなったのかを知ってから、より親しみを感じた。 | | 169 |
| | こどもに意味をきかれました | | 231 |
| | ピンとこない | | 239 |
| | 「かいじあむ」って何かと思っていた。館の愛称だったんですね。 | | 279 |
| J02 | 入館料(常設展、企画展)は適当ですか?(平成26年3月21日より、高校生以下は無料となりました) | | |
| | 高い | 32 | |
| | ふつう | 133 | |
| | 安い | 12 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 高校生以下無料はいいことです | | 10 |
| | 60歳以上も無料にしてほしい。 | | 35 |
| | 大人800円くらいにしてほしい | | 46・56 |
| | 少し高いかな | | 47 |
| | 企画展チケットで常設展も見られるとよいと思う。 | | 57 |
| | 国立博物館のように企画展を観る人は常設展も観れるといい | | 58 |
| | 一般が…。何度もほこれない | | 72 |
| | 展示だけで考えると妥当な料金だと思います。 | | 95・160・162・165 |
| | 五十歳以上半額に | | 107 |
| | 大人わね。 | | 142 |
| | 大学生が半額以下なのは、ありがたいです。 | | 166 |
| | 高校生も無料なのは良いと思う。子連れの人も行きやすくなる。高校生の来館者を増やすことにもつながる | | 169 |
| | 高校生以下は無料は嬉しいが、小学低学年、幼児向けの企画も考えてほしい。また、常設展は常に無料にしてほしい。 | | 274 |
| | 県民だけでも | | |
| | シニアが無料がどうなのかな?と思う | | 276 |
| J03 | 1年間、何回でも博物館を利用することのできる定期観覧券や美術館・文学館・考古博物館との4館共通パスポート(ミュージアム甲斐in券)があることを知っていましたか? | | |
| | はい | 67 | |
| | いいえ | 110 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 以前は毎年利用していました。 | | 177 |
| | 以前利用していた。何回でも使えて便利です。 | | 242 |
| | どこで買い求めていいかわからない | | 247 |
| J04 | 定期観覧券や4館共通パスポート(ミュージアム甲斐in券)を利用したいと思いますか? | | |
| | はい | 57 | |
| | いいえ | 103 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | すこし遠いですね。 | | 129・282 |
| | 他県なので | | 148 |
| J05 | 今、県外に住んでいて中々来れないので、以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか?どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見もあればお聞かせください。 | | 160 |
| | よい | 53 | |
| | ふつう | 67 | |
| | わるい | 1 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 笑顔が多くなった | | 10 |
| | 言葉遣い | | 23 |
| | 案内も親切丁寧でとてもよい | | 31 |
| | 去年も来ましたが展示が多くなりました。 | | 42 |
| | 内容に対応するコスパは今回一つでした。 | | 59 |
| | 初回です | | 138 |
| | あるときから、企画展のところまでスタッフさんが案内しながら説明してくれるようになって親切だなと感じた。 | | 159 |
| | 前回と変わらずよかったです | | 160 |
| | イベントが多くあることに気づいた | | 162 |
| | 明るくなった感じがする | | 165 |
| | 大きな変化は感じないが不満はない | | 169 |
| | 案内説明が良かった。 | | 221 |
| | 今日ほかかつにも県民の日に来てしまっ来て来館者も多く、ゆっくりと展示物鑑賞ができなかった | | 222 |
| | ワークシートが面白い。簡単すぎないところがよい | | 266 |
| J06 | 博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか? | | |
| | はい | 103 | |
| | いいえ | 25 | |
| J07 | もう一度、この館に来たいですか? | | |
| | はい | 137 | |
| | いいえ | 8 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 館内がきれい。このような博物館がある事を知らなかった。 | | 6 |
| | ネコ展もう一度みたい | | 11 |
| | もう少しゆっくりみたい | | 14 |
| | イベントに興味があれば | | 35 |
| | 新しい展示が増えるのを楽しみにしています | | 42 |
| | 特設展に力を入れているようだから | | 52 |
| | 企画展がユニークで面白いから | | 57 |
| | 何度も来るには値段が高い気がします。ネコ展はいまひとつでした。 | | 59 |
| | おもしろい企画があれば | | 96・97・98・104・167・222・251・265・274・281 |
| | 涼しい | | 125 |
| | 空いていて良い、内容が興味深い | | 158 |
| | 興味深い企画展も多く、大好きな山梨について学べるから | | 159 |
| | 今後企画展が何やるか気になるので。 | | 160 |
| | 常設展や企画展の内容も変わるため、もっとそれらを見てみたい | | 162 |

第I編 山梨県立博物館の目指すところ

| | | | |
|-----|---|----|------------|
| | 体験展示は何度やってもあきないが、企画展が面白いから | | 163 |
| | 見所が多いから | | 165 |
| | ひとつひとつの展示がとても充実しているため、何か山梨について知りたいことがあるときにはすぐに来たいと感じる。 | | 166 |
| | 展示を見やすい室内構造だと感じるため | | 168 |
| | 常設展は引き出しや音、映像などもあり、何度来てもあきることがなく、企画展も様々なテーマを取り入れており、様々な年代、趣味の人が興味を示し行こうと思えるものだと思う。 | | 169 |
| | 一度では見切れないくらい沢山のことを展示しているのでゆっくり来てみたい。 | | 171 |
| | 近いから庭であそんでみたい | | 216 |
| | 家族の付き添いで来たのでもともとそんなに興味が無いのですみません。 | | 225 |
| | イベントが楽しかった | | 231 |
| | とてもきれいで子どもが楽しめるイベントがあればまた来たいです。 | | 232 |
| | 勉強になります(心の財産) | | 236 |
| | 子どもがいてゆっくりみられなかった。 | | 238 |
| | 学べるのがたくさんあります。 | | 243 |
| | 全館を見たい | | 249 |
| | よい企画展には来てみたい。庭の散策もゆっくりできてよい | | 259 |
| | ワークシート、展示解説など一番面白い | | 267 |
| | 午前から来て外もゆっくり散策したいから | | 288 |
| | 寺子屋イベントに参加してみたい | | 296 |
| J08 | 通信簿ツアーは、博物館がもっと利用しやすくなるよう、皆さんのご意見をうかがうために毎年実施しています。質問項目が多くご迷惑をおかけしますが、通信簿ツアーが他の博物館・美術館にも、もっと広まればよいと思いますか？ | | |
| | はい | 96 | |
| | いいえ | 7 | |
| | 【ご意見】 | | |
| | 内容が多すぎる、もっとかんたんにならないの？ | | 11 |
| | やや時間をとられる | | 14・191・207 |
| | PCで答えられたら、若い人たちもやりやすいかも | | 52 |
| | 良いと思うが長すぎる(時間がかかる)もっと簡単にアンケートをまとめてほしい | | 56 |
| | アンケートの数が多すぎて全部書けませんでした。展示を楽しむ時間が減ってしまうので、もう少し少なくした方がよいと思います。 | | 66 |
| | ゆったり見られる施設ならあってもよいが、混雑しているところはいらぬ | | 97 |
| | ? | | 104 |
| | 項目ごとにまとまった紙を一枚ずつ配るなど回答量を減らしてほしい | | 152 |
| | 多少手間はかかっても来館者の声が反映されてよいと思う | | 159 |
| | 今まであまり見たことがないので、もう少し広めて全国の博物館が改善するとよいと思う。 | | 160 |
| | このツアーをすることによって視野が広がるため、もっと広めてほしい | | 162 |
| | 来館者ニーズに博物館が対応し、来館者は自分好みの展示をみることが出来るので広まったほうがよいと思う。 | | 165 |
| | とても思う、他の文学館や美術館でもやってほしい | | 166 |
| | 匿名であることから率直な感想がきける。常設展はより細かな展示区分で質問を設けてほしい。 | | 168 |
| | 細部まで見ようと思わせてくれるので、気づかなかったことに気づかせてもらえるのは嬉しい。他の館もよくなるならやるべきだと思う。 | | 169 |
| | 多くの人に活用してほしいですね。 | | 171 |
| | 量が多いのもっと簡便化するべき。記入者と回答をまとめる手間がかかりすぎる。寺子屋のパソコンに子どもがいつもいるので、内容にアンケートを取り入れてみては。 | | 224 |
| | 熱心だと思った | | 266 |
| J09 | その他、ご意見がございましたらご記入ください。 | | |
| | 地域との連携。ジオラマ展示をみて、その実際の場所を歩けるツアーの実施をうりにしてほしい。 | | 10 |
| | このアンケートを記入するための場所があれば良いとおもいました。 | | 33 |
| | 今日、ネコ好きな私として来たが、魅力ある内容でなければ来ないと思う。県外の来館であるが(鳴沢の別荘滞在者です)鳴沢に税金を払っていますので、割引があっても良いのでは？ | | 56 |
| | 座れるスペースがもっとほしい | | 57・58 |
| | 常設展は目が悪く楽しむことはできませんでした。すみません。無理と思いますが、もう少し明るいと見えと思いました。 | | 65 |
| | 企画展がよかったです | | 201 |
| | 県民の日ということで来させてもらいました。ほうとうは、残念ですが、さつまいもはもらえるかな。展示に関しては、常設は前に来た通りでした。企画展には好みや興味が人それぞれなので、正直、興味はなかったです。でもクイズはあったので見る事ができました。庭に出てよい天気でもっと外のイベントがあるといいと思いました。木々も紅葉し、きれいな青空だったので、昔、教科書で読んだちいちゃんのかげおくりを思い出しました。忙しい日々で少しのんびりできました。ありがとうございます。お疲れ様でした。 | | 225・226 |
| | 紙すきに30分待たせあげく、とつぜん時間切れと言われました。受付をしていて待っていたのに人数の確認もしにこないで並ばせるだけ並ばせ「もう出来ません！」で「午後にも来て下さい」とはバカにしています。子どもは楽しみにがまんして待っていました。本当にひどい対応です。やるなら案内をちゃんとしてください！！ | | 235 |
| | アンケートの項目が多すぎです。 | | 238 |
| | 白菜やねぎの種をいただきました。つまみ菜で多くは食しましたが、今、10株ほど白菜らしく大きく育っています。 | | 242 |
| | 自転車置き場の整理整頓。 | | 243 |
| | 博物館は庭もきれいで、とても落ち着く場所のひとつです。観光客だけではなく、平日、山梨県民がもっと利用できるように、また65歳以上は無料入場できることをアナウンスしたら、入場者も増えると思います。そうすると、カフェなどの営業も可能になるのではないのでしょうか。 | | 235 |
| | 映像で流してもらい、貼りバネより下からの光でより画像がくつきりわかりやすかった。きれいに修復されて感動した。 | | 256 |
| | 常設展にも力を入れているところはすごいと思います | | 266 |
| | また県民の日イベントをおこなってください。今日はいろいろ楽しめました。ありがとうございます。 | | 269 |
| | ほうとうの配布チケットですが人数を数えながら、同時に配ればよいと思いました。受け取りのとき、ならんでいなかった人もいて、初めから並んでいた100番近くの人が受け取れなかったの。 | | 271 |
| | ありがとうございます | | 273 |
| | 館長の話のときに次回聞きにきたいと思いました。 | | 279 |
| | 奥の展示室の受付にいた女性スタッフが前を通ったときに腕組をしていたのが気になりました。 | | 280 |
| | トイレが中になって不便。子どもがあそぶ所の近くにあった方がよいと思う。 | | 285 |
| | その他意見 | | |
| | これだけのアンケートを求めるなら少し報酬があってもいいのでは？と思います。私は仕事の一つにコンサルタントがあって、こういった企業調査などの小口案件もありますが、A4ペラ1とかでも最低1万円以上はいただきます。そのあたりを県と協賛して予算をつけるなり、しっかりやらないと、なかなか本質的な声を拾うのは難しいのでは？一番大事なのは、お客様(利用者の声)ですから、この内容を求めるなら3万から5万円の報酬は最低限必要でしょう。 | | 213 |

※「評価者No」は通信簿の提出者それぞれに機械的に付与した番号であり、同一番号は同一人物の回答によるものであることを示す。No 1～171は8月10日参加者、172～296は11月20日参加者によるもの。

※「ご意見」欄は、重複意見は集約して掲載した。

■評価結果の分析

令和元年度の通信簿ツアーは、夏、秋とも記述欄への記入が多くみられ、参加者の博物館に対する期待の高さがうかがわれた。一方で、「はい」「いいえ」回答では回答率が低い傾向にあった。

平成18年度以来続けてきた通信簿ツアーは、寄せられた利用者の声に可能な限り対応をし、より親しみやすい博物館づくりの参考としてきた。この結果、「受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたでしょうか？」(B02) という設問に対して、「よい」回答率が68.2%、「ふつう」回答率が25.6%を占めた。この指標については、例年高い回答率を得ているが、昨年度の「よい」回答率80%、「ふつう」回答率19.5%に比すと、「よい」が大幅に下がっていることに気づく。記述欄には丁寧な対応を記すものが多いなか、ペットボトルの持ち込み方法の案内方法や、接客態度の固さ、受付（総合受付）における過剰な人員配置、来館者の迎え方など、かなり具体的な指摘が記載された。研修や業務分担の見直しを適宜行いながら改善をはかる必要がある。同様に、「館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？」(H01)という設問でも、「よい」が「ふつう」を上回っているものの、少数ながら「わるい」回答がみられる。同じ設問の記述欄には「わるい」の理由にあたるものは見られないが、全体を通して見るとイベント運営や展示室内の職員の姿勢に対するご意見をいただいている。「交流する博物館」をうたい、積極的に利用者との交流を図る展示交流員を設置するというスタイルは、当館の特徴でもあるだけに、職員の意識改善やホスピタリティの向上が求められる。挙げられた問題点は職員間で共有し、真摯に受け止めて改善に努めていかねばならない。

また、外国人対応 (C04) については、「充分である」回答率20.2%、「充分ではない」回答率11.8%であり、全体の回答率が低い (32%)。この理由として、「何のサービスがあるの?」「とくに気づかなかった」など、サービス内容自体がわかりづらい状況であることがはっきりと分かった。企画展を含む英語キャプションの必要性にも言及されており、今後の検討課題の一つと言えるだろう。

次に、展示についてである。常設展が2か月ごとに展示替えを行っていることについて (D02)、展示替えサインパネルに「気づいた」「気づかない」の両者の回答率が何れも24.6%であった。テーマ性を持たせた展示替えは、資料保存の観点のみならず、リピーター来館者対策としても当館が強化してきた活動であったが、来館者への周知が不足していたことが明らかになった。「鮮やかなパネルで楽しそう」「何に注目してみればよいのかわかるため、さらに楽しめました」など、サインに対する意見は好評であったため、今後は展示替えに関する広報の強化に努めることで、博物館の魅力につなげていきたい。

展示室の自由導線についての設問 (D03) にも触れておきたい。自由導線は、テーマ展示とともに当館の特徴のひとつであったが、開館時に来館者から「わかりにくい」とのご意見を多く頂戴し、改善にも苦慮した内容である。これまでの対策としては、推奨導線を示す番号サインの設置や「かいじあむチャレンジ!クルーズ」と名付けたクイズ形式の案内パンフレットによる誘導を行ってきた。今回の回答では、「展示室内をめぐる際、迷われてお困りになることはありましたか?」の質問に対し、「はい」回答率10.1%であったのに対し、「いいえ」回答率27.3%であり、「困らなかった」がやや上回ることから、これまでの改善の成果は現われていると考えてよいだろう。さらに、今回の記述欄では「逆に自由にみれて良かったです」「自由にまわられて楽しめた」「迷うのもまた楽しい」といったご意見も頂戴している。順路が決まっていることが多い展示施設において、自由に観覧することは新鮮な楽しみや新たな発見の視点に繋がるのかもしれない。今後の活動として、当館の特徴でもある自由導線と、それによる展示の楽しみ方を積極的に案内していくことを実験的に実施してみることも検討したい。同様に、開館初期に利用者の不満が多かったキャプション等の文字の大きさの課題 (D05) についても改善が進んでいるものの、「小さい」「暗くて見えにくい」など、引き続き改善を進めていく必要性が示された。

企画展については、夏期の「すごすぎる!ねこ展」展、秋期の「法然上人絵伝」展ともに、具体的な評

価が多数見られた。全体的な評価は企画展を楽しめたかの設問（D10）での「はい」回答率は64.5%（平成30年度94.2%）と高い評価を得ることができた。夏期は、歴史民俗資料だけでなく製・化石などの自然資料や、映像、諺、写真、フェルト人形も組み合わせた展示が好評であり、家族向け展示の賑わいや親しみやすさの演出が成功を博した事例となった。秋期は貴重な資料が多数展示されたことが好評であった。また、夏期・秋期ともにワークシートが好評との意見をいただいた。これに加え、展示した古文書の解説や子どもの興味をひくための工夫への要望もいただいている。具体的なお意見も多く、多くの年齢層に親しまれる展示のために参考にしていきたい。

資料閲覧室の利用について、「資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？」（E01）という設問では、「はい」回答率が17.2%（平成30年度31.5%）となり、大幅に下がった。「入ると企画展に関する本がたくさんあって良かった」とのお意見もあるが、入口に関しては「少し入りやすく感じてしまう」「『企画展関連の本がある』表記が入口にあったので入りやすい」のように利用者によって感じ方が真逆となっていることがわかる。利用しやすい雰囲気づくりに心を砕く必要があるようである。その他の資料閲覧サービス関係の指標でも、古文書の即日閲覧や図書などの閲覧手続きの分かりやすさの設問では、「はい」回答率13.8%（平成30年度53.1%）と下降傾向は変わらない。全体の回答率の低さを考慮したとしても、再度客観的視点を持って改善策を探りたい。

展示以外の施設については、館内レストランの再開を望む声引き続き多数寄せられている（F06）。レストランの業態についても、利用者の要望は軽食・カフェなどでこれまでと同じ傾向であった。利用者の声に応えるよう、博物館として取り組む必要を感じている。

広報関係では、見た広報の種類の設問（I02）では、当館ホームページをはじめとするインターネットのほか、紙媒体、電波広報など利用者が多様な方法で情報入手していることが分かった。SNSの利用状況の設問（I03）やミュージアム甲斐ネットワークホームページの設問（I04）では、その認知度は依然低い水準のまま推移しており、インターネットを活用した情報発信とその周知により一層力を入れる必要がある。

以上、令和元年度の通信簿ツアーでは、これまでに改善を進めてきた事項の成果の蓄積が感じられるとともに、県立博物館の特徴や長所を再発見することもできた。記述式の回答は例年よりも圧倒的に多く、また具体的な改善策を示す意見が多く見られた。記述式回答の多さは、利用者の県立博物館に対する期待の反映であると認識し、実施可能な内容は活動に反映させるとともに、運営や資料保存、その他の観点から実施不可能な内容については、その理由も含めて周知を図り、博物館活動に対する利用者の理解につなげていきたい。

各課題に対する改善策については、幅広い様々な利用者を想定した上で策定し、その実施を図っていく必要がある。少数ではあるが、苦情につながりかねない意見が見られたことは大いに反省すべき点である。今後も県立博物館の使命と機能を果たしていくため、利用者とのコミュニケーションを重視し、小さな課題も軽視せず、職員間で共有しながら改善に取り組んでいきたい。

第Ⅱ編 事業・諸活動

第1章 運営・ミュージアムサービス

(1) 運営・ミュージアムサービスの方針

県立博物館は、

- ・「調査研究」(第Ⅱ編第2章参照 以下、章のみ)
- ・「資料の収集・保管・活用」(第3章)
- ・「展示」(第4章)
- ・「企画・交流事業、県民参画」(第5章・第8章)

を柱とした事業・活動をとおして、県立博物館の使命の実現を目指している。24頁に掲げる「県立博物館事業体系図」のとおり、それぞれの事業・活動は密接に関連し合いながら、館の活動総体を高めていく。

県立博物館が提供するこれら諸サービスは、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に学べ、何度来ても楽しめる博物館となることを基本方針とする。

そのためには常に、利用者が満足できる魅力あふれる事業・活動を企画・実行すること、快適に利用できる施設として整備すること(第6章)、あわせて、情報化社会に対応した情報システムの充実・強化を図ること(第7章)が必要である。

また、博物館の各種事業は、専門的かつ高度な知識や技術が必要となることから、これらの知識を着実に蓄積することのできる創造性の高い組織作りを行う。同時に、ネットワークを生かし、外部支援も導入しながら開かれた博物館運営を行い、県民や利用者のニーズの変化に応えられるよう努めていく(第9章・第10章)。

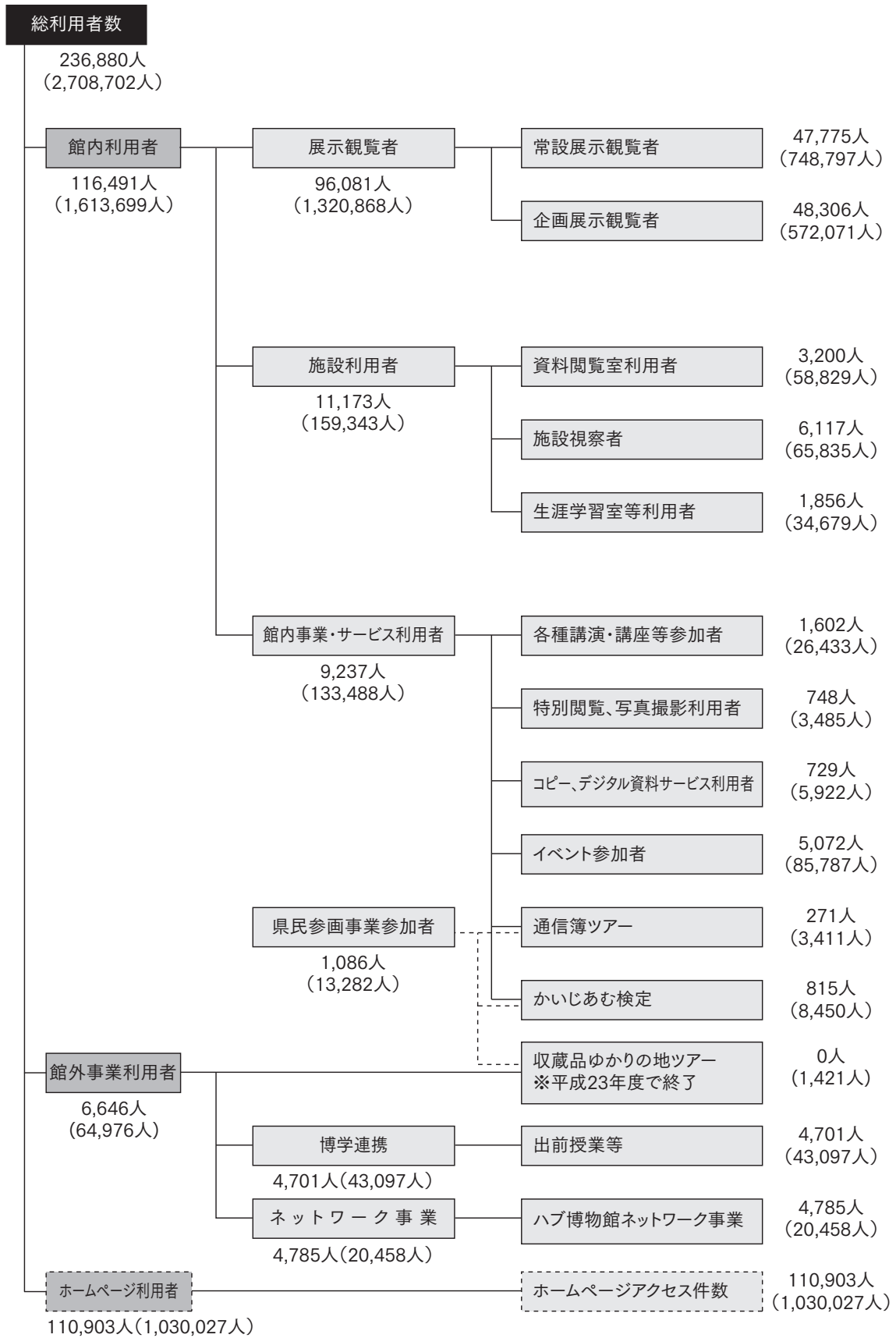
(2) 令和元年度利用者状況一覧

県立博物館の事業・活動は、調査・研究、資料の収集・保管・活用・展示、企画交流事業、施設の整備・管理、情報の発信と公開、県民参画など多岐にわたり、その成果をミュージアムサービスとして県民に還元しているところである。

これらミュージアムサービスについて、数値実績として表現できるものについて一覧化したものが25頁の「令和元年度 県立博物館利用者状況」である。県立博物館では、提供する諸サービスの総計を「総利用者数」として捉え、今後、総利用者数の増加を目指し、多くの人々に満足してもらえるミュージアムサービスを提供していく。

- ※1 博物館の利用者とは、博物館の施設や提供する諸サービスを利用した者および博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。なお、一部の項目については、重複して統計に表れる性質がある。
- ※2 一覧に示す利用者数は令和元年度分(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)の実績である。なお()内の数値は平成17年度分から令和元年度分まで、また、《 》の数値は平成23年度分から令和元年度までの実績数値を加えたものである。
- ※3 県民参画事業のうち、「交流拠点形成事業」及び「わいわいミュージアム」は平成18年度で終了した。代わりに平成19年度からは、「かいじあむ検定」、「通信簿ツアー」が新規に実施された(第8章)。このため、平成17~26年度までの実績を示すにあたり、「かいじあむ検定」の場合は平成18年度までの「交流拠点形成事業」の実績を、「通信簿ツアー」の場合は平成18年度までの「わいわいミュージアム」の実績でそれぞれ集計した。また、「収蔵品ゆかりの地ツアー」は、平成23年度で終了した。

■平成31・令和元年度 県立博物館利用者状況



※ () 内の数値は平成17年度分から平成31・令和元年度分までの実績数値の総計である。

■開館年度（平成17年度）から令和1年度までの年度別統計

| 総利用者 | 館内利用者 (a + b + c) | | | | | | | | | | | | | 館外利用者 | | | | | | | |
|------|-------------------|---------------|---------------|--------------|-----------|---------------|--------------------------|--------------------------------|-------------|----------------------|---------------|--------------------------|--------------------------------|-------------|----------------------|--|-----------------------|-------------|----------------------|---------------|-----------|
| | 展示利用者 (a) | | | 施設利用者 (b) | | | 館内事業・サービス利用者 (c) | | | | | | | 県民参画事業 | 博士連携 出前授業 受講者 | ハブ博物館 ネットワーク事業 (夏休み自由研究 プロジェクト) | ホ ー ム 用 者 | | | | |
| | 常設展示 (発券数) | 企画展示 (発券数) | 常設展示 (発券数) | 資料閲覧室 利用者 | 施設 視察者 | 生涯学習室 等利用者 | 講座・特別 講演会 等 利用者 | 特別閲覧・ 写真撮影等 資料・写真 利用者 | イベント 参加者 | エ/リ/エ/ン/ジ ツ/ア/一/検 | かい/し/あ/む 定 | 講義・特別 講演会 等 利用者 | 特別閲覧・ 写真撮影等 資料・写真 利用者 | | | | | イベント 参加者 | エ/リ/エ/ン/ジ ツ/ア/一/検 | かい/し/あ/む 定 | |
| | 常設展示 (発券数) | 企画展示 (発券数) | 常設展示 (発券数) | 資料閲覧室 利用者 | 施設 視察者 | 生涯学習室 等利用者 | 講座・特別 講演会 等 利用者 | 特別閲覧・ 写真撮影等 資料・写真 利用者 | イベント 参加者 | エ/リ/エ/ン/ジ ツ/ア/一/検 | かい/し/あ/む 定 | 講義・特別 講演会 等 利用者 | 特別閲覧・ 写真撮影等 資料・写真 利用者 | イベント 参加者 | エ/リ/エ/ン/ジ ツ/ア/一/検 | かい/し/あ/む 定 | | | | | |
| 17年度 | 143,415 | 114,412 | 98,578 | 66,274 | 32,304 | 10,889 | 6,085 | 1,190 | 3,614 | 4,945 | 1,321 | 92 | 209 | 2,911 | 180 | 232 | 433 | 282 | 151 | 0 | 28,570 |
| 18年度 | 221,107 | 149,254 | 124,182 | 92,277 | 31,905 | 16,043 | 7,957 | 3,674 | 4,412 | 9,029 | 2,604 | 263 | 479 | 5,213 | 345 | 125 | 1,451 | 195 | 156 | 1,100 | 70,402 |
| 19年度 | 203,261 | 126,055 | 105,596 | 66,291 | 39,305 | 13,908 | 7,306 | 3,486 | 3,116 | 6,551 | 1,515 | 219 | 496 | 3,861 | 240 | 220 | 4,833 | 166 | 1,317 | 3,350 | 72,373 |
| 20年度 | 169,893 | 97,551 | 73,419 | 49,634 | 23,785 | 12,461 | 4,754 | 4,262 | 3,445 | 11,671 | 1,649 | 265 | 549 | 8,613 | 143 | 452 | 2,781 | 180 | 1,076 | 1,525 | 69,561 |
| 21年度 | 233,815 | 145,172 | 119,288 | 59,508 | 59,780 | 13,034 | 4,399 | 6,640 | 1,995 | 12,850 | 3,553 | 330 | 488 | 7,029 | 231 | 1,219 | 5,194 | 274 | 3,871 | 1,049 | 83,449 |
| 22年度 | 231,369 | 145,518 | 112,363 | 56,505 | 55,858 | 17,855 | 4,060 | 11,718 | 2,077 | 15,300 | 2,937 | 83 | 444 | 11,121 | 188 | 527 | 3,728 | 141 | 2,670 | 917 | 82,123 |
| 23年度 | 200,843 | 112,026 | 90,090 | 49,858 | 40,232 | 12,558 | 3,354 | 6,800 | 2,404 | 9,378 | 2,473 | 276 | 402 | 4,943 | 166 | 1,118 | 4,658 | 183 | 3,721 | 754 | 84,159 |
| 24年度 | 200,181 | 107,246 | 86,695 | 49,341 | 37,354 | 11,120 | 2,983 | 4,769 | 3,368 | 9,431 | 3,003 | 306 | 427 | 4,633 | 183 | 879 | 7,110 | 0 | 6,077 | 1,033 | 85,825 |
| 25年度 | 213,116 | 121,898 | 101,746 | 57,860 | 43,886 | 10,900 | 4,067 | 4,295 | 2,538 | 9,252 | 1,635 | 422 | 453 | 5,443 | 468 | 831 | 7,220 | 0 | 6,350 | 870 | 83,998 |
| 26年度 | 200,624 | 109,888 | 92,621 | 47,119 | 45,502 | 9,334 | 3,609 | 3,373 | 2,352 | 7,933 | 1,139 | 278 | 359 | 5,312 | 364 | 481 | 5,548 | 0 | 4,740 | 808 | 85,188 |
| 27年度 | 252,303 | 155,517 | 135,417 | 57,879 | 77,538 | 11,273 | 4,140 | 5,241 | 1,892 | 8,827 | 1,309 | 306 | 343 | 5,673 | 396 | 800 | 5,303 | 0 | 4,434 | 869 | 91,483 |
| 28年度 | 202,665 | 97,898 | 75,051 | 41,133 | 33,918 | 9,405 | 2,924 | 4,569 | 1,912 | 13,442 | 2,105 | 335 | 545 | 9,431 | 267 | 759 | 10,071 | 0 | 4,327 | 5,744 | 94,696 |
| 29年度 | 236,110 | 131,264 | 105,822 | 55,118 | 50,704 | 10,563 | 3,191 | 5,818 | 1,554 | 14,879 | 1,190 | 310 | 728 | 11,604 | 240 | 807 | 6,646 | 0 | 4,207 | 2,439 | 98,200 |
| 30年度 | 221,457 | 111,365 | 89,066 | 45,437 | 43,629 | 11,097 | 3,483 | 5,142 | 2,472 | 11,202 | 1,241 | 818 | 725 | 7,253 | 400 | 765 | 8,122 | 0 | 3,862 | 4,260 | 101,670 |
| 31年度 | 236,880 | 116,491 | 96,081 | 47,775 | 48,306 | 11,173 | 3,200 | 6,117 | 1,856 | 9,237 | 1,602 | 748 | 729 | 5,072 | 271 | 815 | 9,486 | 0 | 4,701 | 4,785 | 110,903 |
| 計 | 2,708,702 | 1,613,699 | 1,320,868 | 748,797 | 572,071 | 159,343 | 58,829 | 65,835 | 34,679 | 133,488 | 26,433 | 3,485 | 5,922 | 85,787 | 3,411 | 8,450 | 64,976 | 1,421 | 43,097 | 20,458 | 1,030,027 |

■平成31・令和1年度 県立博物館利用者状況（月別集計）

| 総利用者 | 館内利用者 (a + b + c) | | | | | | | | | | | | | 館外利用者 | | | | | | | |
|------|-------------------|---------------|---------------|--------------|-----------|---------------|--------------------------|--------------------------------|-------------|----------------------|---------------|--------------------------|--------------------------------|-------------|----------------------|--|-----------------------|-------------|----------------------|---------------|---------|
| | 展示利用者 (a) | | | 施設利用者 (b) | | | 館内事業・サービス利用者 (c) | | | | | | | 県民参画事業 | 博士連携 出前授業 受講者 | ハブ博物館 ネットワーク事業 (夏休み自由研究 プロジェクト) | ホ ー ム 用 者 | | | | |
| | 常設展示 (発券数) | 企画展示 (発券数) | 常設展示 (発券数) | 資料閲覧室 利用者 | 施設 視察者 | 生涯学習室 等利用者 | 講座・特別 講演会 等 利用者 | 特別閲覧・ 写真撮影等 資料・写真 利用者 | イベント 参加者 | エ/リ/エ/ン/ジ ツ/ア/一/検 | かい/し/あ/む 定 | 講義・特別 講演会 等 利用者 | 特別閲覧・ 写真撮影等 資料・写真 利用者 | | | | | イベント 参加者 | エ/リ/エ/ン/ジ ツ/ア/一/検 | かい/し/あ/む 定 | |
| | 常設展示 (発券数) | 企画展示 (発券数) | 常設展示 (発券数) | 資料閲覧室 利用者 | 施設 視察者 | 生涯学習室 等利用者 | 講座・特別 講演会 等 利用者 | 特別閲覧・ 写真撮影等 資料・写真 利用者 | イベント 参加者 | エ/リ/エ/ン/ジ ツ/ア/一/検 | かい/し/あ/む 定 | 講義・特別 講演会 等 利用者 | 特別閲覧・ 写真撮影等 資料・写真 利用者 | イベント 参加者 | エ/リ/エ/ン/ジ ツ/ア/一/検 | かい/し/あ/む 定 | | | | | |
| 4月 | 28,619 | 9,672 | 8,194 | 4,278 | 3,916 | 1,081 | 331 | 611 | 139 | 397 | 137 | 71 | 71 | 118 | 0 | 0 | 479 | 0 | 479 | 0 | 9,121 |
| 5月 | 17,598 | 8,394 | 5,964 | 3,803 | 2,161 | 1,107 | 272 | 647 | 188 | 1,323 | 92 | 58 | 80 | 1,093 | 0 | 0 | 492 | 0 | 492 | 0 | 8,712 |
| 6月 | 13,297 | 4,201 | 3,332 | 3,332 | 0 | 563 | 245 | 318 | 0 | 306 | 99 | 62 | 63 | 82 | 0 | 0 | 978 | 0 | 978 | 0 | 8,118 |
| 7月 | 34,482 | 19,508 | 17,794 | 6,920 | 10,874 | 1,144 | 476 | 668 | 0 | 570 | 138 | 112 | 61 | 259 | 0 | 0 | 1,200 | 0 | 295 | 905 | 13,774 |
| 8月 | 61,084 | 42,668 | 36,635 | 13,872 | 22,763 | 3,440 | 981 | 2,086 | 373 | 2,593 | 455 | 168 | 149 | 1,659 | 162 | 0 | 199 | 0 | 199 | 0 | 18,217 |
| 0月 | 14,392 | 5,860 | 5,062 | 2,906 | 2,156 | 523 | 89 | 402 | 32 | 275 | 46 | 58 | 58 | 113 | 0 | 0 | 324 | 0 | 324 | 0 | 8,208 |
| 10月 | 19,687 | 7,524 | 6,373 | 4,029 | 2,344 | 572 | 146 | 313 | 113 | 579 | 53 | 31 | 28 | 75 | 0 | 392 | 4,307 | 0 | 427 | 3,880 | 7,856 |
| 11月 | 18,252 | 10,258 | 8,137 | 4,045 | 4,092 | 1,359 | 252 | 656 | 451 | 762 | 341 | 64 | 80 | 143 | 109 | 25 | 243 | 0 | 243 | 0 | 7,751 |
| 12月 | 5,531 | 1,192 | 672 | 672 | 0 | 333 | 72 | 49 | 212 | 187 | 57 | 23 | 28 | 79 | 0 | 0 | 461 | 0 | 461 | 0 | 3,878 |
| 1月 | 12,473 | 4,441 | 2,039 | 2,039 | 0 | 485 | 145 | 160 | 180 | 1,917 | 61 | 59 | 64 | 1,335 | 0 | 398 | 284 | 0 | 284 | 0 | 7,748 |
| 2月 | 11,993 | 2,709 | 1,879 | 1,879 | 0 | 513 | 191 | 207 | 115 | 317 | 123 | 33 | 45 | 116 | 0 | 0 | 493 | 0 | 493 | 0 | 8,791 |
| 3月 | 8,819 | 64 | 0 | 0 | 0 | 53 | 0 | 0 | 53 | 11 | 0 | 9 | 2 | 0 | 0 | 0 | 26 | 0 | 26 | 0 | 8,729 |
| 計 | 236,880 | 116,491 | 96,081 | 47,775 | 48,306 | 11,173 | 3,200 | 6,117 | 1,856 | 9,237 | 1,602 | 748 | 729 | 5,072 | 271 | 815 | 9,486 | 0 | 4,701 | 4,785 | 110,903 |

第2章 調査・研究

令和元年度における県立博物館の調査・研究は、外部資金である日本学術振興会科学研究費助成事業（科研費）によるものとして前年度より3件を実施している（「博物館が所蔵する写真の資料化と当該地域の民俗及び生活変化に関する写真民俗誌的研究」[若手研究B]、「包装紙などの実作的作例における浮世絵師の画業研究」[若手研究B]、「遺跡出土動物の生態学的・形態学的分析に基づく新たな動物利用文化史観の創出」[若手研究]）。

県費による調査・研究としては、総合調査・研究「日韓における博物館資料の調査・記録・展示手法に関する比較研究」（～令和元年度）、共同調査・研究「移住をめぐる地域の形成と経営、交流について」（～令和元年度）、「近代以降の『甲斐絹』の生産やデザイン・技法に関する基礎的研究」（～令和3年度）を実施した。

各博物館職員がそれぞれの専門分野で行った個別調査・研究の成果については、『山梨県立博物館研究紀要』第14集のほか、関連する学術雑誌などで発表された。

(1) 外部資金による調査・研究

①科学研究費助成基金助成金 若手研究（B）「博物館が所蔵する写真の資料化と当該地域の民俗及び生活変化に関する写真民俗誌的考察」（課題番号 16K21706）

■調査・研究の目的

従来の民俗学において、写真は調査の補助的な記録手段だったが、近年では過去の写真群から民俗を読み取る研究やデータベース化と公開など、画像そのものを資料として扱う動きがある。写真は景観や民俗事象をはじめとする多くの情報を内包する。その読み解きや各種情報の資料化は、当該地域の民俗誌を編む作業に近いとされている。本研究は、山梨県立博物館が所蔵する昭和20年代から平成に至るまでに撮影された写真群を対象として、それらが持つ情報を分析・抽出することで資料化をはかり、さらに写真による民俗誌の作成を試みるものである。また、写真のデジタル化と目録化により、今後の博物館の研究活動や教育普及事業等への活用促進をはかる。

■研究体制

研究代表者 丸尾依子（学芸員）

■活動記録

- ・平成31年4月～（前年度からの継続）ネガフィルムの状態確認とスキャニング、スキャン画像と撮影メモとの照合、撮影地の現地確認（山梨県内）および聞き書き、画像の分類（撮影地と撮影事象）、撮影事象の分析
- ・令和元年12月～（前年度からの継続）上記の作業を行った画像等を使用して小学生向けの授業教材とし、要請のあった学校ごとに地域の生活の推移を示すスライドショーを作成し、出前授業として試行した。

■活動内容と成果

本研究では、山梨県立博物館が所蔵する昭和時代（主として昭和40年代）の山梨県内各地の写真資料群についてデジタル化を進め、約3,600枚について撮影内容の確認と分析および分類、撮影地に関する聞き書きを行った。これらにより、約2,300枚について撮影市町村を確定させるとともに、撮影内容については昭和40年代の山梨県内において、養蚕業から果樹産業への転換や都市部の開発、それにとまう民俗の変容が急速に進んだことを、視覚と証言の双方から確認することができた。

デジタル化した画像と分析した撮影内容は、小学校中学年の授業「昔の暮らし」の単元における博物館の貸し出し教材や出前授業教材として活用した。教材化にあたっては、撮影地分類を参考に学校の学区に合わせて使用する写真を選定した。出前授業では、それらを用いて当該地域の農作物、土地利用、住生活、子どもの遊びなどの多岐にわたる生活変化を視覚化して示し、児童の理解度の向上に結び付けた。

②科学研究費補助金 若手研究B「包装紙等の実作的作例における浮世絵師の画業研究」

(課題番号 16K16738)

■調査・研究の目的

浮世絵版画というと、大判錦絵の美人画や役者絵、風景画が連想される傾向にあるが、実際のところ、現在の広告にあたる引札や、菓子袋、化粧品等の包装紙にまで、職人として浮世絵師は腕をふるっていた。しかしながら、現在の浮世絵研究は、大判の錦絵研究を中心とする作品論に比重が置かれ、実的な作例に関する研究は不十分である。よって本研究では、焦点があまり当てられてこなかった、包装紙等実的な作例を分析することにより、浮世絵師が活動していた環境や、多面的な画業を提示することを目的とする。また、引札や千社札に特化し絵画を手掛けた絵師の存在など、現在はあまり顧みられなくなった職人らの姿も明らかにすることにより、出版業界の一端を示すことも目標とする。

■研究体制

研究代表者 松田美沙子（学芸員）

■活動記録

■活動内容と成果

「産前産後の休暇又は育児休業の取得に伴う補助事業期間延長承認申請書」及び「研究中断届」を提出し、平成30年6月13日から令和元年7月31日まで、産前産後休暇及び育児休業による研究中断期間とした。研究再開予定は令和2年4月1日となっている。

来年度研究を再開した際は追加調査をした上で、今まで収集したデータをまとめ、分析及び考察を行い、学会での発表及び論文執筆を行う予定である。

③科学研究費助成基金助成金 若手研究「遺跡出土動物の生態学的・形態学的分析に基づく新たな動物利用文化史観の創出」

(課題番号 19K13425)

■調査・研究の目的

本研究は、(a) 琉球列島で家畜の飼養が開始された地域と時代、(b) 飼料や給餌方法にみられる地域差、(c) 琉球列島内に家畜が伝播した経路、の三点を明らかにする。

このうち項目(a)は、野生種とされてきた出土資料の歯に残された微細な傷の立体形状を計測し、ヒトに飼養された個体の特徴がみられる資料を探索する。また項目(b)では、遺跡から出土した「ブタ」の歯の表面に残された磨耗痕を、現在の放牧個体と屋内飼育個体それぞれと比較し、各時代の動物飼育方法を明らかにする。さらに項目(c)では各遺跡から出土したイノシシ類の歯がもつ形態学的類似性と島間の交流を比較検討する。

■研究体制

研究代表者 山田英佑（学芸員）

■活動記録

・平成31年4月10日（水）

前年度に収集したサンプルの精密計測（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

・令和元年5月27日（月）、28日（火）

共同研究者打ち合わせ（国立科学博物館筑波研究施設）

■活動内容と成果

本研究は、これまでに得られた予備データの分析および成果とりまとめを先行して実施した。具体的内容は以下のとおりである。

1. サンプルの三次元精密計測に際して不可避免的に発生する電子的ノイズの処理法を提唱した。
2. 二次元画像解析を並行して実施。サンプルの形状評価に対する有効性を確認した。

3. 上記2手法を実際の化石白歯に適用し、家畜化や環境変化の復元に資するデータを得た。

(2) 県費による調査・研究

①総合調査・研究「日韓における博物館資料の調査・記録・展示手法に関する比較研究」

■調査・研究の目的

当館は平成20年より大韓民国・国立清州博物館との学術研究交流協定を締結しており、平成28年12月からは3期目の3年間を迎えた。本研究では交流協定をより実りあるものとするために、当館学芸員の韓国への派遣と清州博物館研究員の招聘をおこなう。交流事業の目的は第一に各学芸員の調査研究テーマを新たな視点で進展させることである。第二に日韓両国の博物館資料の調査記録と展示手法に関する比較を通じて、双方の博物館活動を充実させることである。

■県立博物館担当職員

森原明廣（学芸課長）、海老沼真治（学芸員）ほか

■活動記録

- ・令和元年5月14日（火）～16日（木） 韓国・国立清州博物館長来訪、交流事業に関する協議
- ・令和元年11月20日（水）～26日（火） 韓国・国立清州博物館研究員の招聘、共同調査
- ・令和2年2月1日（土）～6日（木） 県立博物館職員 韓国調査（国立清州博物館員との共同調査）

■活動内容と成果

清州博物館研究員の招聘調査では県内の博物館施設等とともに、国内の主要な博物館施設における展示手法の現地調査なども併せて実施した。当館職員による韓国調査では、担当職員の研究領域に関連した調査として、主に瑞山市・益山市周辺 of 古寺・史跡・博物館施設等の現地調査を実施した。

また、令和元年12月で3期目の協定期間が満了したため、両館協議のうえ、新たに令和元年12月から4期目3年間の交流協定を締結した。

②共同調査・研究「人の移動・移住」

■県立博物館担当職員

小畑茂雄（学芸員）

■活動記録

平成31年度（令和元年度） 北海道移住関係資料の整理

令和2年3月27日 山梨県立博物館調査・研究報告14『山梨県における明治40年の大水害被災者の北海道団体移住—「移動をめぐる地域の形成と経営、交流について」報告書—』刊行

■活動内容と成果

平成28年度から平成31年度（令和元年度）にかけて4年にわたる調査および、平成19年以降の北海道移住地関係調査によって収集した資料・情報について調査・研究を進め、調査報告書を刊行した。



報告書

③共同調査・研究「近代以降の『甲斐絹』の生産やデザイン・技法に関する基礎的研究」

■県立博物館担当職員

丸尾依子（学芸員）、西願麻以（学芸員）

■活動記録

令和元年度 甲斐絹に関する所蔵情報、文献、先行研究の調査

■活動内容と成果

「甲斐絹」についての基礎的な情報整理を行うため、県内外における所蔵状況の確認や文献調査を実施した。今後、必要に応じて各所蔵先における実見調査を実施する予定である。

(3) 個別調査・研究

①調査・研究活動

| 年 月 日 | 内 容 | 担当職員 |
|------------------------|------------------------------|---|
| 平成31年4月4日(木) | 山梨岡神社(笛吹市) 山梨岡神社太々神楽の調査 | 丸尾 依子 |
| 平成31年4月7日(日) | 鈴宮諏訪神社(甲府市) 天津司の舞の調査 | 丸尾 依子 |
| 平成31年4月10日(水) | 東京大学大学院新領域創成科学研究科 所蔵資料の調査 | 山田 英佑 |
| 平成31年4月11日(木) | 後三年合戦絵巻写本の調査 | 海老沼真治 |
| 平成31年4月11日(木) | 成田区公民館 所蔵資料の調査 | 中野 賢治 |
| 平成31年4月11日(木) | 甲府市個人宅 地方病関係資料の調査 | 小畑 茂雄 |
| 平成31年4月12日(金) | 東京大学総合図書館 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 平成31年4月13日(土) | 十一屋野口家資料の調査 | 小畑 茂雄 海老沼真治 中野 賢治 山本 倫弘 小林 可奈 |
| 平成31年4月15日(月) | 御幸祭(笛吹市一宮町内)の調査 | 丸尾 依子 |
| 平成31年4月16日(火) | 成城大学民俗学研究所 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 平成31年4月17日(水) | 株式会社中外陶園招き猫ミュージアム 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 平成31年4月18日(木) | J.フロントリテイリング史料館 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 平成31年4月22日(月) | 山梨県立博物館 個人蔵木喰仏の調査 | 近藤 暁子 西願 麻以 |
| 平成31年4月27、28日(土、日) | 金桜神社(甲府市) 金桜神社神楽の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和1年5月3、4日(金、土) | 金桜神社(甲府市) 黒平の能三番(上黒平・下黒平)の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和1年5月3日(金) | 一之瀬高橋の春駒愛好会(甲州市一之瀬高橋)の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和1年5月8日(水) | 西尾市岩瀬文庫 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和1年5月8日(水) | 北杜市高根町個人宅 所蔵資料の調査 | 小畑 茂雄 海老沼真治 |
| 令和1年5月14日(火) | 東京農工大科学博物館 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和1年5月21日(火) | 武蔵野美術大学民俗資料室 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和1年5月22日(水) | 港区立郷土歴史館 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和1年5月27、28日(月、火) | 国立科学博物館筑波研究施設 所蔵資料の調査 | 山田 英佑 |
| 令和1年5月29日(水) | 新宿区漱石山房記念館 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和1年5月29日(水) | 北杜市高根町個人宅 所蔵資料の調査 | 小畑 茂雄 海老沼真治 中野 賢治 山本 倫弘 |
| 令和1年5月31日(金) | 東京大学国語研究室 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和1年6月4日(火) | 東京大学国語研究室 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和1年6月5日(水) | 身延町中之倉区 所蔵資料の調査 | 中野 賢治 |
| 令和1年6月15日(土) | 甲州市個人宅 所蔵資料の調査 | 小畑 茂雄 |
| 令和1年6月26日(水) | 東京国立博物館 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和1年7月16日(火) | 増上寺(東京都) 所蔵資料の調査 | 森原 明廣 近藤 暁子 |
| 令和1年7月18、19日(木、金) | 山梨県立博物館 「法然上人絵伝」の調査 | 近藤 暁子 西願 麻以 |
| 令和1年7月20日(土) | 万福寺(甲州市勝沼町) 所蔵資料の調査 | 近藤 暁子 海老沼真治 小畑 茂雄 中野 賢治 小林 可奈 |
| 令和1年7月28、29、30日(日、月、火) | 国立科学博物館筑波研究施設 所蔵資料の調査 | 山田 英佑 |
| 令和1年7月31日(水) | 四天王寺(大阪府) 所蔵資料の調査 | 近藤 暁子 |

| | | |
|-----------------------------|-------------------------------------|---|
| 令和1年7月31日(水) | 伊豆の国市個人宅 所蔵資料の調査 | 中野 賢治 山本 倫弘 |
| 令和1年8月1日(木) | 明照寺(滋賀県米原市) 所蔵資料の調査 | 海老沼真治 |
| 令和1年8月2日(金) | 大谷大学博物館 所蔵資料の調査 | 海老沼真治 |
| 令和1年8月5、6日(月、火) | 国立科学博物館筑波研究施設 所蔵資料の調査 | 山田 英佑 |
| 令和1年8月6日(火) | 満性寺(愛知県) 所蔵資料の調査 | 近藤 暁子 |
| 令和1年8月9日(金) | 武田信玄書状の調査 | 海老沼真治 |
| 令和1年8月9日(金) | 足原田遺跡(山梨市) 出土須恵器の科学調査 | 西願 麻以 |
| 令和1年8月16日(金) | 安養軒(忍野村) 所蔵資料の調査 | 近藤 暁子 海老沼真治 |
| 令和1年8月23日(金) | 慶専寺(甲州市勝沼町) 所蔵資料の調査 | 海老沼真治 |
| 令和1年8月29日(木) | 万福寺(甲州市勝沼町) 所蔵資料の調査 | 海老沼真治 |
| 令和1年9月1日(日) | 山梨市個人宅 所蔵資料の調査 | 海老沼真治 |
| 令和1年9月2日(月) | 善光寺(甲府市) 所蔵資料の調査 | 森原 明廣 近藤 暁子 小畑 茂雄 海老沼真治 山田 英佑 |
| 令和1年9月2日(月) | 福源寺(富士吉田市) 所蔵資料の調査 | 近藤 暁子 |
| 令和1年9月5日(木) | 三光寺(甲州市勝沼町) 所蔵資料の調査 | 海老沼真治 |
| 令和1年9月6日(金) | 長野県立歴史館 所蔵資料の調査 | 中野 賢治 |
| 令和1年9月7日(土) | 南アルプス市個人宅 所蔵資料の調査 | 小畑 茂雄 |
| 令和1年9月26日(木) | 新町前遺跡(市川三郷町) 出土金属製品の科学調査 | 西願 麻以 |
| 令和1年10月3日(木) | 県緑化推進機構 所蔵資料の調査 | 小畑 茂雄 |
| 令和1年10月9日(水) | 富士川町個人宅 所蔵資料の調査 | 中野 賢治 |
| 令和1年11月7日(木) | 大月市個人宅 甲斐絹関係資料の調査 | 小畑 茂雄 丸尾 依子 中野 賢治 |
| 令和1年11月14日(木) | 北杜市個人宅 所蔵資料の調査 | 小畑 茂雄 海老沼真治 中野 賢治 |
| 令和1年11月21日(木) | 甲州市個人宅 所蔵資料の調査 | 小畑 茂雄 丸尾 依子 中野 賢治 |
| 令和1年11月27、28日(水、木) | 戸隠地質化石博物館 所蔵資料の調査 | 山田 英佑 |
| 令和1年11月28日(木) | 甲府市個人宅 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和1年12月13日(金) | 甲府市個人宅 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和1年12月25日(水) | 笛吹市個人宅 甲州屋関係資料の調査 | 小畑 茂雄 |
| 令和2年1月9日(木) | 甲府市個人宅 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和2年1月12日(日) | 小正月の道祖神祭り(山梨県内)の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和2年1月13日(月) | 一之瀬高橋春駒保存会(甲州市)の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和2年1月14日(火) | 小正月の道祖神祭り(山梨県内)の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和2年1月28、29、30、31日(火、水、木、金) | 沖縄県立埋蔵文化財センター、美ら島財団総合研究センター 所蔵資料の調査 | 山田 英佑 |
| 令和2年1月29日(水) | 山梨県立富士山世界遺産センター 資料の調査 | 近藤 暁子 西願 麻以 |
| 令和2年2月13日(木) | 中尾神社(笛吹市) 所蔵資料の調査 | 小畑 茂雄 中野 賢治 西願 麻以 |
| 令和2年3月2日(月) | 山梨県立博物館 個人蔵木喰仏の調査 | 近藤 暁子 西願 麻以 |
| 令和2年3月5日(木) | 甲府市内施設 環境調査 | 西願 麻以 |
| 令和2年3月7日(土) | 神奈川県立生命の星・地球博物館 所蔵資料の調査 | 山田 英佑 |
| 令和2年3月12日(木) | 杉浦醫院(昭和町) 所蔵資料の調査 | 小畑 茂雄 |
| 令和2年3月23日(月) | 甲府市個人宅 所蔵資料の調査 | 丸尾 依子 |
| 令和2年3月23日(月) | ポールラッシュ記念館(北杜市) 所蔵資料の調査 | 小畑 茂雄 |

(4) 調査・研究成果の公表

①博物館主催シンポジウム・講演会における職員の発表

第Ⅱ編第5章(1)を参照

②博物館職員の調査・研究実績

■論文・調査報告など

| 氏名 | 名称 | 掲載誌名 | 学会(発行者) | 発行年月日 |
|--|---|-------------------------------------|----------------------|------------|
| 近藤 暁子 | 概説「法然上人絵伝 ～親鸞が追い求めた師の姿～」 | 企画展「法然上人絵伝 ～親鸞が追い求めた師の姿～」展示図録 | 山梨県立博物館 | 令和1年10月12日 |
| 小畑 茂雄 | こうふ開府500年記念事業リレーフォーラム2019 近代 | 『こうふ開府500年記念事業リレーフォーラム2019 近代』 | こうふ開府500年記念事業実行委員会 | 令和2年2月 |
| 小畑 茂雄 | 近代山梨における移住について—北海道団体移住を中心に— | 『山梨県立博物館研究報告』第14集 | 山梨県立博物館 | 令和2年3月27日 |
| 小畑 茂雄 | 功刀亀内と宮武外骨 —南アルプス市ふるさと人物室第六回展示「功刀亀内 遺—のこす—」に寄せて— | 『山梨県立博物館研究紀要』第14集 | 山梨県立博物館 | 令和2年3月31日 |
| 丸尾 依子 | 一之瀬高橋の春駒 | 『国立劇場第134回民俗芸能公演「祝福芸」』 | 独立行政法人日本芸術文化振興会 国立劇場 | 令和1年7月27日 |
| 丸尾 依子 | 民俗芸能に着目した創作活動と博物館活動 | 『山梨県立博物館研究紀要』第14集 | 山梨県立博物館 | 令和2年3月31日 |
| 海老沼真治 | 武田氏との同盟とその交渉 | 黒田基樹編著『今川義元とその時代』 | 戎光祥出版 | 令和1年6月1日 |
| 海老沼真治 | 万福寺の創建と源誓坊光寂 | 企画展「法然上人絵伝～親鸞が追い求めた師の姿～」展示図録 | 山梨県立博物館 | 令和1年10月12日 |
| 海老沼真治 | 武田氏時代の甲府の文化—人々の交流を介して— | 武田氏研究会創立30周年記念シンポジウム資料集『甲府と戦国大名武田氏』 | 武田氏研究会 | 令和1年11月23日 |
| 海老沼真治 | 土浦城と山本菅助 | 特別展「土浦城—時代を越えた継承の軌跡—」展示図録 | 土浦市立博物館 | 令和2年3月14日 |
| 海老沼真治 | 中世甲斐国における等々力山万福寺の動向 | 『山梨県立博物館研究紀要』第14集 | 山梨県立博物館 | 令和2年3月31日 |
| 中野 賢治 | 竜王信玄塚と御幸祭—近世・近代甲斐国における武田信玄顕彰— | 『山梨県立博物館研究紀要』第14集 | 山梨県立博物館 | 令和2年3月31日 |
| 中野 賢治 海老沼真治 小畑 茂雄 亀井 大輔 小林 可奈 堀内 亨 宮澤富美恵 村松 菖蒲 山本 倫弘 | 《資料紹介》「寛政七年五月 会所日記」(山梨県立博物館所蔵 十一屋野口家資料のうち) | 『山梨県立博物館研究紀要』第14集 | 山梨県立博物館 | 令和2年3月31日 |
| 中野 賢治 | 山梨県下の洋学 | 『洋学史研究事典』 | 洋学史学会 | 令和3年3月(予定) |
| 中野 賢治 | 山梨県志医事衛生資料 | 『洋学史研究事典』 | 洋学史学会 | 令和3年3月(予定) |
| 西願 麻以 | 足原田遺跡出土須恵器に付着した茶色皮膜の表面観察 | 『足原田遺跡発掘報告書』 | 山梨市教育委員会 | 令和1年11月 |
| 山田 英佑 | 哺乳類類歯からの食性復元 | 『化石研究会誌』 | 化石研究会 | 令和2年3月 |

■講演・シンポジウムなど

| 氏名 | 名称 | シンポジウム名・学会名 | 場所 | 開催年月日 |
|---|--|--|----------------------|--------------------|
| 小畑 茂雄 | 甲州文庫と郷土研究 功刀亀内の功績を振り返る 山梨のたからもの「甲州文庫」 | 南アルプス市ふるさと人物室第6回展示講演会 | 南アルプス市立図書館研 修室 | 平成31年4月20日 |
| 小畑 茂雄 | 古写真にみる近代甲府 | かいじあむ講座 | 生涯学習室 | 令和1年5月11日 |
| 小畑 茂雄 | 山梨県の歴史・文化 | 平成31年度新任職員研修 | 山梨県職員研修所 | 令和1年5月21日 |
| 小畑 茂雄 | 山梨の近代化と文化 | 山梨英和大学 山梨学講座 | 山梨英和大学 | 令和1年6月10日 |
| 小畑 茂雄 | 山梨の近代化と殖産興業 | 「産業社会と人間」講演会 | 甲府城西高校視聴覚室 | 令和1年6月19日 |
| 小畑 茂雄 | 昔と今をつなぐ街の創出 | よっちゃばれ放談会 | 甲府市武田氏館跡歴史館 堀田古城園 | 令和1年7月16日 |
| 小畑 茂雄 | 古写真にみる近代甲府 | 山梨近代人物館 教育普及講座 | 山梨県庁正庁 | 令和1年8月18日 |
| 小畑 茂雄 | 近代甲府の交通をみる～中央線開通と甲府駅～ | 開府500年 甲府歴史講座～甲府を学ぶ～ | 遊亀公民館展示室 | 令和1年8月30日 |
| 小畑 茂雄 | 幕末・明治の自然災害 | 山梨の自然災害の歴史 | 山梨県生涯学習推進セン ター | 令和1年10月4日 |
| 小畑 茂雄 | 近代甲府の交通をみる～中央線開通と甲府駅～ | 山梨近代史の会 月例研究会 | 山梨県立大学 C館103号 室 | 令和1年10月30日 |
| 小畑 茂雄 | たちあがる～試練と戦う甲府市民～ | 甲府歴史ものがたり塾 | 甲府市役所 市民活動室 | 令和1年11月5日 |
| 小畑 茂雄 | シンポジウム 近代都市甲府の誕生と発展 | こうふ開府500年記念事業 リレーフォーラム2019近 代 | 甲府市総合市民会館 芸 術ホール | 令和1年12月1日 |
| 丸尾 依子 | 集団離村による移住者を取りまく関係性（八丈島・ 八丈小島調査報告） | 「地域社会における関係性の変容に関する実証的研究」 2019年度第1回研究会 | 成城大学民俗学研究所 | 令和1年5月11日 |
| 丸尾 依子 | 集団移住をめぐる住民意識—八丈小島 鳥打村の事 例から— | 成城学Ⅰ（柳田国男と民俗学）地域社会の変容と人び とのくらし—フィールドワークへの誘い | 成城大学 | 令和1年5月15日 |
| 丸尾 依子 | 一之瀬高橋の春駒解説 | 国立劇場第134回民俗芸能公演「祝福芸」 | 国立劇場小劇場 | 令和1年7月27日 |
| 丸尾 依子 | 甲府道祖神祭りと幕絵 | 甲府商工会議所青年会 学習会 | 甲府商工会議所 | 令和1年8月22日 |
| 丸尾 依子 | 山梨の道祖神—石造物とその祭り— | 山梨県立大学 観光講座 | 山梨県立大学 | 令和1年10月6日 |
| 丸尾 依子 | 人と動物の民俗誌 | 昭和町いきがい大学講座 | 昭和町総合会館 | 令和1年11月25日 |
| 丸尾 依子 | 天津司の舞と湖水伝説について | ヤマガヒ（天津司舞に着想を得た現代劇）公演内ト ークセッション | YCC県民文化ホール | 令和2年12月 21日・22日 |
| 丸尾 依子 | 天津司の舞 | 山梨学講座 やまなし地域探訪 | 山梨県生涯学習センター | 令和2年1月22日 |
| 丸尾 依子 | 甲府道祖神祭りと幕絵 | 甲府商工会議所フットパス 事前講座 | 甲府商工会議所 | 令和2年1月25日 |
| 丸尾 依子 | 山梨県の民俗芸能解説 | 第19回やまなし県民文化祭文化交流フェスティバル | YCC県民文化ホール | 令和2年2月2日 |
| 海老沼真治 | 治承・寿永の乱 | 山梨学講座「甲斐源氏の歴史と系譜」 | 山梨県生涯学習推進セン ター | 令和1年7月5日 |
| 海老沼真治 | 戦国時代の水害と治水 | 山梨学講座「山梨の自然災害の歴史」 | 山梨県生涯学習推進セン ター | 令和1年9月26日 |
| 中野 賢治 | 甲府城を守る武士と甲府の町 | 甲州寺子屋 | 恩賜林記念館 | 平成31年4月7日 |
| 中野 賢治 | 甲府城下町に生きた人々 | かいじあむ講座 | 山梨県立博物館 | 平成31年4月14日 |
| 中野 賢治 | 県都甲府の500年 | ことぶき勸学院 | 山梨県立博物館 | 令和1年5月10日 |
| 中野 賢治 | 近世甲府の始まりをみる～徳川氏の支配～ | 開府500年甲府歴史講座「甲府を学ぶ」 | 甲府市総合市民会館 | 令和1年7月10日 |
| 中野 賢治 | 江戸時代・甲府城下町で生きた人々 | 甲府城下町を語る会 | びゅあ総合 | 令和1年7月21日 |
| 中野 賢治 | 信虎が築いた500年の都—県都甲府の500年— | FUJITSU フォーラム | サドヤ | 令和1年9月25日 |
| 奥村 弘 大国 正美 松下 正和 板垣 貴志 中野 賢治 川内 淳史 | 史料ネットの25年と資料保全・地域史のあゆみ | 第6回全国史料ネット研究交流集会 | 御影公会堂 | 令和2年2月8日 |

■県立博物館館内研究会

開催なし

③刊行物

| 名 称 | 発 刊 日 | 体 裁 |
|---|------------|-------------|
| 企画展「すごすぎる！ねこ展」展示図録 | 令和1年7月13日 | B 5変形版、163頁 |
| 企画展「法然上人絵伝～親鸞が追い求めた師の姿～」展示図録 | 令和1年10月12日 | A 4変形版、142頁 |
| シンボル展「大善寺不動明王像 一県下最大級の画像 修理後寺外初公開」リーフレット | 令和1年5月25日 | A 4版、4頁 |
| シンボル展「甲州屋忠右衛門の冒険 一ミナト・横浜を目指した商人たち」リーフレット | 令和1年12月21日 | A 4版、4頁 |
| 『山梨県立博物館研究紀要』第14集 | 令和2年3月31日 | A 4版、96頁 |
| 山梨県立博物館調査・研究報告14『山梨県における明治四十年の大水害被災者の北海道団体移住―「移動をめぐる地域の形成と経営、交流について」報告書―』 | 令和2年3月27日 | A 4版、49頁 |

(5) 文化財救援活動

■活動の内容

台風19号により被災した資料の救援活動の協力依頼を受けて、資料の搬出や洗浄、応急処置などの作業の救援を行った。

■活動一覧

| 年 月 日 | 内 容 | 参加職員 |
|-------------------|--------------------|-------|
| 令和2年2月10日（月） | 川崎市民ミュージアム 美術資料の救援 | 西願 麻以 |
| 令和2年2月13、14日（木、金） | 川崎市民ミュージアム 民俗資料の救援 | 丸尾 依子 |
| 令和2年3月26日（木） | 川崎市民ミュージアム 民俗資料の救援 | 海老沼真治 |

第3章 資料の収集・保管・活用

(1) 資料収集の方針

①資料収集の方針

山梨県立博物館における資料収集は、博物館の基本テーマである「山梨の自然と人」に関わるものを中心とする（山梨県立博物館の資料収集及び資料・情報の活用に関する要綱）。具体的には、以下の性格を有する資料を収集の対象とする。

- ① 絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で山梨県にとって歴史上または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料。
- ② 衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能及びこれらに用いられる衣服、器具、その他の物件で県民の生活推移の理解のために欠くことのできないもの。
- ③ 言葉、音楽、民間伝承、工芸技術等の無形のもので山梨県の文化の理解に欠くことのできないもの。
- ④ 動物、植物及び地質鉱物で山梨県にとって前の項目と深い関わりのあるもの。

収集の対象とする資料のうち、その収集が困難なものについては、当該資料に係る模型、模造、模写、複製若しくは当該資料に関する図書、文献、調査資料その他必要な資料を収集することとしている。

収集にあたっては、上記要綱のほか「山梨県立博物館の資料収集に関する要領」に従って収集を進めている。

②資料・情報委員会

資料の収集の適否等について審議し、収集した資料、情報の活用について協議する「資料・情報委員会」を設置、開催している。

委員会は、8名の委員により構成されており、歴史、考古、民俗、美術工芸、情報工学等に関する高度な専門的知見を有する者の中から、山梨県立博物館長が選任している。

■資料・情報委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

資料・情報委員会委員

| 氏名 | 職名 | 専門分野 |
|-------|-----------------|------|
| 新井勝紘 | 専修大学元教授 | 近現代史 |
| 黒田基樹 | 駿河台大学教授 | 中世史 |
| 小島孝夫 | 成城大学教授 | 民俗学 |
| 鈴木卓治 | 国立歴史民俗博物館教授 | 情報工学 |
| 鈴木麻里子 | 甲府市文化財審議委員 | 美術史 |
| 内藤正人 | 慶應義塾大学教授 | 美術史 |
| 新津健 | 山梨県埋蔵文化財センター元所長 | 考古学 |
| 西村慎太郎 | 国文学研究資料館准教授 | 近世史 |

■令和元年度の資料情報委員会開催状況

- ・令和元年6月17日（月） 第28回委員会を開催
※緊急を要する収集のため書面評決により臨時開催。
1件の収集候補資料を審議した。
- ・令和元年8月8日（木） 第29回委員会を開催
6件の収集候補資料を審議した。
- ・令和2年3月9日（月） 第30回委員会を開催
10件の収集候補資料を審議した。

(2) 資料の収集

令和元年度に収集した資料は、次表の通りである。

■購入

| | 資料名 | 特徴 | 制作期 | 員数 |
|---|---------------------------------------|---|------------|----|
| 1 | 甲府道祖神祭幕絵 太閤記 佐久間盛政羽柴秀吉を狙ふ 月岡芳年筆 | 甲府町人の経済力を背景に隆盛を誇った甲府道祖神祭の飾り幕。現存する3枚のうちの1枚。賤ヶ岳合戦において佐久間盛政と羽柴秀吉が対峙する場面を、月岡芳年が描いている。 | 江戸時代(19世紀) | 1張 |

■寄贈

| | 資料名 | 特徴 | 制作期 | 員数 |
|---|----------------------|--|-------------------|------|
| 1 | 後三年合戦絵巻 | 平安時代における東北地方の戦乱として有名な後三年合戦(1083～87)の様子を描いた絵巻物。兄源義家(八幡太郎)を助けるために参陣した甲斐源氏の祖・源義光(新羅三郎)の活躍も各所に描かれる。 | 寛政12年(1800) | 3巻 |
| 2 | 葉袋勝氏収集海外地方病 関係資料 | 衛生公害研究所の研究者であった葉袋勝氏が収集した海外(主に中国における日本住血吸虫症(地方病)関係資料。コピーによる文献も含まれるものの、入手困難のものが多く、中国における対策や調査研究・普及活動の状況を示す資料群。 | 20世紀～21世紀 | 約50点 |
| 3 | ニホンオオカミ頭骨 | 所蔵者宅に伝えられてきたニホンオオカミの頭骨資料。鼻の部分を中心に皮や肉が一部乾燥して残っており、全国的に見ても珍しい資料である。 | 江戸時代～ 明治時代 | 1点 |
| 4 | 邊見家資料(追加分) | 甲州市勝沼町の邊見家に伝わる資料。現在博物館で収蔵する「邊見家資料」と一体のもの。近世～近代(大正期)にかけての同家の法要に関わる帳簿類。 | 江戸時代～ 大正時代 | 20点 |
| 5 | うちおりの着物および布・ 繊維製品 | 所蔵者の祖母や叔母、母によってつくられた布製品。このほか、真綿や祖父が勤務した鈴木組(鳥沢駅の運送業者)の甲斐絹の印半纏(昭和15年頃)もある。 | 大正時代～ 昭和時代 | 一括 |
| 6 | うちおりの反物 | 所蔵者の母が糸をとり、織った反物。未仕立てと、洗い張りの状態のものがある。 | 昭和24年(1949) 以前 | 7点 |

■寄託

| | 資料名 | 特徴 | 制作期 | 員数 |
|---|-----------|--|---------------|-------|
| 1 | 堀江家資料 | 旧葦山町(静岡県伊豆の国市)の堀江家の所蔵資料。現存最古の甲府と書かれた古文書である今川義元書状のほか、北条氏政、北条氏照の書状などからなる。 | 戦国時代～ 江戸時代 | 39点 |
| 2 | 中村良一氏収集資料 | 八代町(笛吹市)の郷土史家、故中村良一氏の収集資料。南八代村の村政資料を中心に多岐にわたる内容を含む。 | 江戸時代～ 明治時代 | 309点 |
| 3 | 成田区有文書 | 博物館が所在する成田区の区有文書。延宝年間から昭和初期にいたる村政・区政資料が中心。 | 江戸時代～ 昭和時代 | 約200点 |
| 4 | 死体解剖御願 控 | 日本住血吸虫症(地方病)の原因未解明期に、その特定のために自らの死後の献体を申し出た女性(杉山なか)の願い出た書類の控え。本願いは常設展示でも紹介されているが、提出された文書の現存は確認されていない。 | 明治30年(1897) | 1点 |

| | | | | |
|----|---------------------------------------|--|---------------|----|
| 5 | おちょうたいしせんとくねんごぞう 和朝太子先徳連坐像 | 浄土真宗の教えが、インドから中国、日本の祖師たちを通じて正しく伝えられたことを示すため、複数の祖師を連ねて描いた連坐像。本図は聖徳太子と日本の祖師のみで構成されたもの。 | 室町時代（15世紀） | 1幅 |
| 6 | はさきみょうごう 八字名号 | 蓮華座の上に八字の名号が金字で記され、文字から四方に光明が放たれる形式の名号。下部に正面向きの菩薩像が三体描かれている。 | 室町時代（15～16世紀） | 1幅 |
| 7 | しんらんしょうにんぞう 親鸞聖人像 | 黒衣に黒袈裟を着け、首には白い帽子を巻き、上畳が敷かれた礼盤に座す親鸞像。老相で右斜め前を向き、両手で数珠を爪繰る、広く流布した通常の図像である。 | 室町時代（16世紀） | 1幅 |
| 8 | たけだはるのぶしよじょう 武田晴信書状 (年末詳3月10日付) | 武田晴信（信玄）が、高野山成慶院から贈答品が届けられたことを謝すとともに、返礼として黄金を贈ることを伝えた書状。 | 戦国時代（16世紀） | 1通 |
| 9 | はちまんぐうおまつりごくうにつき 八幡宮御祭御供日記 | 大井俣窪八幡神社（山梨市）における戦国時代の神事および神領に関する記録。武田氏の支援のもとに神事を復興したと推定される。 | 大永2年（1522） | 1冊 |
| 10 | さかちとげちんじょ 坂本家文書 | 坂本家の家伝文書。柳沢吉保・吉里宛ての書状や、吉里家臣の書状など。柳沢家旧蔵資料とみられ、甲斐国内に残存している例として貴重。 | 江戸時代（18世紀） | 6通 |

(3) 資料の整理・目録（データ）化

■歴史資料等の整理

収集した歴史資料等について、クリーニング、ナンバリング、目録作成（一覧表作成）、保管容器への収納、収蔵庫での保存を行っている。また、目録情報の総合情報システムへの登録・ホームページ上で公開を随時進めている。令和元年度は、職員による新規収集資料作業のほか、9月～3月の間、整理作業員を雇用し、既存資料の整理を行った。

■収蔵資料のマイクロ化・デジタル化

県立図書館から移管した資料のうち、利用頻度が高い「甲州文庫」については、利便性を高めるため、平成16～17年度事業、及び18～19年度事業により、マイクロフィルム化、デジタル画像の作成を行った。この事業により、「甲州文庫」のうち、古文書・図書類について、ほぼすべての資料のデジタル画像を公開している。（撮影点数：23,019点・510,518コマ）なお、デジタル画像は平成29年度のシステム更新に伴いTIFFデータからPDFデータへの変換作業を行った。

■図書資料の整理

収集した図書・雑誌類は、随時、職員により分類整理し、資料閲覧室及び書庫に排架している。目録情報は総合情報システムへ登録し公開している。令和2年3月31日現在の登録件数は51,108点となっている。

(4) 資料の修復・管理

①資料の修復

■修復資料

- ・「曾我物語図屏風（又兵衛風）」、紙本着色、江戸時代（19世紀）、1隻（六曲一双のうち右隻） 第1扇・6扇 156.3×54.4cm、第2扇～5扇 156.3×58.0cm

■資料の重要性

- ・『曾我物語』を絵画化した屏風。右隻が富士の巻狩図、左隻が夜討ち図となっている。岩佐又兵衛工房においてほぼ同図の屏風が複数制作されているが、本資料も又兵衛風の趣を呈しており、貴重である。

る。

■修復者

- ・株式会社 墨仁堂 静岡県静岡市葵区大岩1-4-4

■修復の内容

- ・修復前の状況は、本紙に破れ・亀裂があり、絵の具の剥落、擦れや虫損も確認され、全体的に汚れの付着も見られた。
- ・修理は解体して構造や下地自体を作り直し、汚損の洗浄、絵の具の剥落止め、本紙や金具の欠損部に補紙を施し、本紙の肌裏を交換し、仕立て直しを行った。
- ・今年度は一雙のうち右隻の修理を行った。

■修理の状況



修理前（部分）



修理後（部分）

(5) 資料の活用

山梨県立博物館では、収集した貴重な資料を後世に残し、将来を見通した利用を保障することを資料取り扱いの基本と考えている。保存に十分配慮した上で、資料を公開し、県民や博物館利用者の学習や調査研究等に活用するため、資料情報の提供を行っている。

利用者の利便性を図るため、平成20年6月1日から開始した古文書等の即日閲覧は、令和元年度に51件172点、事前申請による閲覧は、43件1,724点であった。

資料撮影は、展示図録への掲載、調査研究などの目的で35件564点、資料画像の提供は、書籍等への掲載、テレビ番組での使用など129件239点であった。

また、県内外の博物館等での展示利用のために、10件55点の貸出を行った。

■令和元年度歴史資料等利用状況

| 月 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 累計 |
|----------------------|----|-----|------|-----|------|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|--------|
| 歴史資料等 即日閲覧 | 件数 | 3件 | 7件 | 9件 | 7件 | 3件 | 5件 | 5件 | 3件 | 2件 | 2件 | 5件 | 0件 | 51件 |
| | 点数 | 15点 | 25点 | 43点 | 25点 | 7点 | 8点 | 8点 | 8点 | 6点 | 9点 | 18点 | 0点 | 172点 |
| 歴史資料等閲覧 | 件数 | 5件 | 1件 | 3件 | 2件 | 8件 | 6件 | 6件 | 5件 | 3件 | 3件 | 1件 | 0件 | 43件 |
| | 点数 | 21点 | 314点 | 79点 | 450点 | 416点 | 60点 | 14点 | 322点 | 28点 | 14点 | 6点 | 0点 | 1,724点 |
| 歴史資料等撮影 | 件数 | 5件 | 0件 | 2件 | 1件 | 5件 | 5件 | 6件 | 5件 | 2件 | 3件 | 1件 | 0件 | 35件 |
| | 点数 | 21点 | 0点 | 42点 | 9点 | 62点 | 47点 | 14点 | 322点 | 27点 | 14点 | 6点 | 0点 | 564点 |
| 歴史資料等使用 (フィルム使用等) | 件数 | 15件 | 8件 | 15件 | 10件 | 7件 | 13件 | 4件 | 17件 | 10件 | 13件 | 9件 | 8件 | 129件 |
| | 点数 | 21点 | 8点 | 45点 | 14点 | 17点 | 24点 | 5点 | 25点 | 17点 | 34点 | 14点 | 15点 | 239点 |
| 歴史資料等貸出 | 件数 | 0件 | 0件 | 1件 | 2件 | 0件 | 3件 | 1件 | 1件 | 0件 | 1件 | 0件 | 1件 | 10件 |
| | 点数 | 0点 | 0点 | 3点 | 17点 | 0点 | 13点 | 1点 | 1点 | 0点 | 3点 | 0点 | 17点 | 55点 |

注：新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため2/28より閉館した。

第4章 展 示

(1) 常設展示

令和元（平成31）年度の常設展示は、年間5回の展示替えを行ない、資料の保存に対応しながら、展示期間ごとにテーマを設定して、来館者に親しみやすい展示内容にするとともに、来館者の循環を促すよう図った。

■展示期間とテーマ

①平成31年2月20日（水）から平成31年4月22日（月）まで

展示テーマ「富士山、信玄、春らんまん」

②平成31年4月24日（水）から令和元年7月22日（月）まで

展示テーマ「やまなしの豊かな食文化」 ※第14回食育推進全国大会関連展示

③令和元年7月24日（水）から令和元年10月22日（火）まで

展示テーマ「ようこそ！ かいじあむ動物ワールドへ」

④令和元年10月24日（木）から令和元年12月16日（月）まで

展示テーマ「レキシ・トラベル to かいじあむ」

⑤令和元年12月18日（水）から令和2年2月17日（月）まで

展示テーマ「年の初めはかいじあむ」

⑥令和2年2月19日（水）から令和2年4月20日（月）まで

展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公」

- ・時代については、複製品は原資料の製作年代を記した。
- ・所蔵者については、複製品は（ ）内に原資料所蔵者を記した。
- ・指定については、●は国宝、◎は国指定重要文化財、○は県指定文化財、◇は市町村指定文化財とした。
- ・絵画・古文書等、脆弱な資料の展示期間が複数にわたる場合は、その都度頁替え、巻替などを行なっている。

■出品資料一覧

| 資 料 名 | 時 代 | 所 蔵 者 | 指定 | 展示期間 |
|-------------------------|-------------|-----------------------|-----------|--------|
| 自然の森の中で | | | | |
| 桂野遺跡渦巻文土器 | 縄文中期 | 笛吹市教育委員会 | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 原町田遺跡出土縄文土器 | 縄文中期 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 縄文土器片、石器 | 縄文中期 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 甲斐の誕生 | | | | |
| 甲斐国分寺瓦(鬼瓦) | 奈良時代 | 笛吹市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥ |
| 甲斐国分寺瓦(軒丸瓦) | 奈良時代 | 笛吹市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥ |
| 甲斐国分尼寺出土墨書土器 | 奈良時代 | 笛吹市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥ |
| 刻書土器「甲斐国山梨郡大野郷」(複製) | 奈良時代 | 山梨県立博物館(原資料 佐久市教育委員会) | | ①②③④⑤⑥ |
| 刻書土器「甲斐国山梨郡表門」 | 奈良時代 | 甲府市教育委員会 | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 寺本庵寺 瓦 | 白鳳時代 | 笛吹市教育委員会 | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 天狗沢瓦窯跡 瓦 | 白鳳時代 | 甲斐市教育委員会 | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡①(複製) | 奈良時代 | 山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所) | | ①②③④⑤⑥ |
| 平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡②(複製) | 奈良時代 | 山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所) | | ①②③④⑤⑥ |
| 平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡③(複製) | 奈良時代 | 山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所) | | ①②⑤⑥ |
| 平城京出土木簡 習書・戯画木簡(複製) | 奈良時代 | 山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所) | | ①②③④⑤⑥ |
| 平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡①(複製) | 天平宝字6年(762) | 山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所) | 原資料: ● | ①②③④⑤⑥ |
| 平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡②(複製) | 天平宝字6年(762) | 山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所) | 原資料: ● | ①②③④⑤⑥ |
| 平城京出土木簡 山梨郡養物銭荷札木簡(複製) | 天平宝字8年(764) | 山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所) | | ①②③④⑤⑥ |
| 甲斐国印(推定復元) | 奈良時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|----------------------------------|-------------|-------------------------|----|--------|
| 正倉院文書「甲斐国司解」(複製) | 天平宝字5年(761) | 山梨県立博物館(原資料 正倉院宝物) | | ①②③④⑤⑥ |
| 東畑遺跡金銅仏 | 奈良時代 | 甲府市教育委員会 | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 続日本紀 巻二 | 明暦3年(1657)刊 | 山梨県立博物館 | | ④⑤⑥ |
| 甲斐の黒駒 | | | | |
| 大塚古墳出土横板板鋌留短甲(複製) | 古墳時代 | 山梨県立博物館(原資料 市川三郷町教育委員会) | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 伝豊富村 衝角付冑(複製) | 古墳時代 | 山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館) | | ①②③④⑤⑥ |
| 伝豊富村 眉庇付冑(複製) | 古墳時代 | 山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館) | | ①②③④⑤⑥ |
| 平城京出土木簡 通行証明木簡(過所木簡)(複製) | 奈良時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 御崎古墳出土馬具 | 古墳時代 | 笛吹市教育委員会 | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 狐塚古墳出土馬具 | 古墳時代 | 笛吹市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥ |
| 寺の前古墳出土鉄鏃 | 古墳時代 | 笛吹市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥ |
| 寺の前古墳出土馬具 | 古墳時代 | 笛吹市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥ |
| 寺の前三号墳出土柄頭 | 古墳時代 | 笛吹市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥ |
| 天神のこし古墳出土金環 | 古墳時代 | 笛吹市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥ |
| 天神のこし古墳出土大刀、鉄鏃 | 古墳時代 | 笛吹市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥ |
| 塩部遺跡 馬上顎齒 | 古墳時代 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 正倉院文書「駿河国正税帳」(複製) | 天平10年(738) | 山梨県立博物館(原資料 正倉院宝物) | | ①②④⑤⑥ |
| 狐原遺跡 焼印 | 平安時代 | 上野原市教育委員会 | | ①②⑤⑥ |
| 通行証明木簡(複製) | 奈良時代(8世紀) | 山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所) | | ①②⑤⑥ |
| 甲斐叢記 前輯一 | 嘉永4年(1851)刊 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 聖徳太子伝暦 | 寛永5年(1628)刊 | 個人 | | ③ |
| 続日本紀 巻十一 | 明暦3年(1657)刊 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 水に取り組む | | | | |
| 雨乞いの仏像 | — | 清水寺 | | ①②③④⑤⑥ |
| 釜無川氾濫の図(複製) | — | 長遠寺 | | ①②③④⑤⑥ |
| 石尊祭の藁束 | 平成14年(2002) | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 測量器(複製) | 江戸時代 | 山梨県立博物館(原資料 個人) | | ①②③④⑤⑥ |
| 武田家朱印状(桑原家資料)(複製) | 天正3年(1575) | 個人 | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 宮沢中村遺跡網代護岸 | 鎌倉時代 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 御幸祭川除の石 | 平成15年(2003) | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 木製人形(甲府市塩部遺跡出土) | 平安時代 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 甲斐叢記 前篇三(甲州文庫) | 嘉永4年(1851) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 武田家朱印状(保坂家文書) | 永禄3年(1560) | 個人(寄託) | ◇ | ① |
| 富士山真形平絵図(甲州文庫) | 明治8年(1875)頃 | 山梨県立博物館 | | ① |
| 武田家朱印状(保坂家文書) | 天正9年(1581) | 山梨県立博物館 | ◇ | ② |
| 甲斐国志 四十二 四十三 四十四 古蹟部 五 六 七(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 郡内領絵図(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 謡本「鶴飼」(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 川々鮎運上請負人入札触(甲州文庫) | 延享元年(1744) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 徳島堰鹿地図(古文書雑纂<1>) | 慶応4年(1868) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 甲斐国絵図(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 妙光院雨乞祈禱料神納覚(五味家文書) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 諸国道中商人鑑(甲州文庫) | 文政10年(1827) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 信玄堤絵図(保坂家文書) | 文政7年(1824) | 個人(寄託) | ◇ | ⑤ |
| 武田家朱印状(三井家文書) | 天正2年(1574) | 個人(寄託) | | ⑤ |
| 雨乞鎮守 三石大明神 祭礼陀羅尼修行施入帳 | 文政3年(1820) | 個人 | | ⑤⑥ |
| 在方御普請仕形大概(甲州文庫) | 宝暦4年(1754) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 下条南割村堤防絵図(千野家文書) | 弘化5年(1848) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 武田家朱印状(保坂家文書) | 天正5年(1577) | 個人(寄託) | ○ | ⑥ |
| 戦国からのメッセージ | | | | |
| 筒粥神事の道具 | 平成17年(2005) | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 妙法寺記(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|------------------------------------|-----------------------|---------|----|--------|
| 平成31年度筒粥占標(小室浅間神社) | 平成31年(2019) | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤ |
| 小山田信茂朱印状写(若尾資料) | 天正5年(1577) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 南松院殿十七年忌香語(南松院資料) | 天正10年(1582) | 南松院 | ○ | ② |
| 武田家朱印状(保坂家文書) | 天正3年(1575) | 個人 | ○ | ③ |
| 甲陽軍鑑(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 直江兼続書状(正月11日付、市川長寿あて) | 室町時代(16世紀) | 山梨県立博物館 | ○ | ⑤ |
| 織田信長禁制(今沢家文書) | 天正10年(1582) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 令和2年度筒粥占標(小室浅間神社) | 令和2年(2020) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 山に生きる | | | | |
| 大鋸 | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 甲州金(一分金 甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 枅・焼き饅 | 明治以降 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 焼畑衣装(再現品) | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 林業の道具を象った小正月のツクリモノ | 現代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 穴山信友判物(佐野家文書) | 弘治3年(1557) | 個人(寄託) | | ① |
| 河内領佐野山小屋指図 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ① |
| 下芦川村産物取調帳(太田家文書) | 明治6年(1873) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 鉢山開拓等につき連(甲州文庫) | 明治時代 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 鉢山稼方心得につき連(甲州文庫) | 明治5年(1872) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 料理物語 | 慶安2年(1649) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 市川大門村御運上紙入札書式(甲州文庫) | 寛文9年(1669) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 甲州金図録(甲州文庫) | 文化7年(1810) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 甲州巨摩郡芦倉村・荒倉村・奈良田村材木伐出願書(甲州文庫) | 明和元年(1764) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 差上申拝借鉄砲証文之事(甲州文庫) | 寛政7年(1795) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 新規紙漉稼願書控(甲州文庫) | 万延元年(1860) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 紙漉出しの心得に付覚書(甲州文庫) | 安政4年(1857) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 御用紙代金請取書(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 新倉山奈良田山村木運上差出請負願(甲州文庫) | 延宝2年(1674) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 新倉山湯島山村木金本請人金子不廻りにつき仲間退き取替手形(甲州文庫) | 延宝4年(1676) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 武田家朱印状(田辺家資料) | 永禄3年(1560) | 山梨県立博物館 | ○ | ④ |
| 秋葉山参詣費用借用覚(甲州文庫) | 文化13年(1816) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 材木伐出図巻 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 並山日記 巻五(若尾資料) | 大正5年(1916)写 | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 田辺伊織先祖書 | 寛政3年(1791) | 山梨県立博物館 | ○ | ⑤ |
| 甲斐叢記 前輯二 | 嘉永元年(1848) | 山梨県立博物館 | | ⑤⑥ |
| 穴山信君判物(佐野家資料) | 天正8年(1580) | 個人(寄託) | | ⑥ |
| 市川御役紙入札に付願書(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 里にくらす | | | | |
| 馬ブラシ | — | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 馬草鞋 | — | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| おかふと(天狗) | 明治時代か | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 軍馬帽 | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 煙草箱 | 明治時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 煙草包装紙 | 明治22年(1889) | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 煙草庖丁 | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 千野村絵図(複製) | 江戸時代(19世紀) | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 草鞋 | — | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| おかふと(信玄) | 明治時代か | 山梨県立博物館 | | ①②④⑤⑥ |
| おかふと(桃太郎) | 明治時代か | 山梨県立博物館 | | ①②④⑥ |
| 日本歳時記 | 貞享5年(1688) | 個人 | | ①②⑥ |
| 大和耕作絵抄 | 大正4年(1915) 原本は元禄年間 | 個人 | | ①②⑥ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|------------------------|------------------------------|-----------|----|--------|
| 甲府買物独案内(甲州文庫) | 嘉永7年(1854) | 山梨県立博物館 | | ①⑥ |
| 離間屋差縫一件訴状并内済証文 | 嘉永5年(1852) | 山梨県立博物館 | | ①⑥ |
| 押絵雛(山梨県教育委員会収集資料) | 明治時代～昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①⑥ |
| 初節句祝儀(市川家文書) | 明治33年(1901) | 山梨県立博物館 | | ①⑥ |
| 立雛(上野晴朗氏収集資料) | 明治時代～昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①⑥ |
| 流し雛(上野晴朗氏収集資料) | 現代 | 山梨県立博物館 | | ①⑥ |
| 『甲州道中記』写本(若尾資料) | 大正4年(1915) | 山梨県立博物館 | | ② |
| ぶどうの粒抜き(小林コレクション) | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 出産見舞の控(大木家資料) | 明治28年(1895) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 食初めの食器 | 平成24年(2012) | 個人 | | ② |
| 身延参詣甲州道中膝栗毛(甲州文庫) | 安政4年(1857) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 西保下村出産見舞受納帳(西保下村武藤家文書) | 文久元年(1861) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 婚礼の盃(樋口家資料) | 明治時代以降 | 山梨県立博物館 | | ②③ |
| もじり | 大正時代以降 | 山梨県立博物館 | | ②③ |
| アボ・ヘボ(上野晴朗氏収集資料) | 現代 | 山梨県立博物館 | | ②⑤ |
| 『裏見寒話』巻五 | 宝暦2年(1752) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 神犬神札 | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| キの神神札 | 現代 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 峡中紀行(甲州文庫) | 明治30年(1897) 原本は宝永3年(1706) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 鎮目村山梨岡神社キ神来由記(甲州文庫) | 慶応2年(1866) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 正の木稲荷絵馬(甲州文庫) | 不明 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 種紙袋(県教育委員会保管資料) | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| びんふせ(小林コレクション) | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 稲荷大明神護符(廣瀬家資料) | 不明 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 金桜神社蚕倍盛鼠退散の札(関本家文書) | 不明 | 個人 | | ③ |
| 秋葉三尺坊札(五味家文書) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 秋葉山代参詣入用並見舞帳(太田家文書) | 明治23年(1890) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 往来手形(上野晴朗氏収集資料) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 柿の皮むき | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 大日本物産図会 甲斐国白柿製之図 | 明治10年(1877) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 山車と神輿写真 | 大正時代 | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 野辺送りの式 | 明治16年(1883) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 鑑堂観世音菩薩縁起(若尾資料) | 大正5年(1916) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 秋葉神社火災防護御札(太田家文書) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 金草鞋十二編身延山道中記(甲州文庫) | 文政2年(1819) | 山梨県立博物館 | | ④⑤ |
| 韓国扶餘出土 陽物形木簡(複製) | 538～567年 | 山梨県立博物館 | | ④⑤ |
| 「道祖神祭礼再開願」(西保下村武藤家文書) | 安政6年(1859) | — | | ⑤ |
| 『風俗画報』(頼生文庫) | 明治24年(1891) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| ハイボコサン | 現代 | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| ヒブセ(おやなぎ) | 現代 | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 山の神の弓矢 | 現代 | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 奈良田の小正月のツクリモノ | 現代 | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 城下町の賑わい | | | | |
| 甲府御城付(甲州文庫) | 江戸時代(19世紀) | 山梨県立博物館 | | ①② |
| 甲府城跡出土鯪瓦(復元品) | 江戸時代 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 甲府上水木樋 | — | 甲府市水道資料館 | | ②③④⑤⑥ |
| 甲府城跡出土 輪宝 | 江戸時代(17世紀) | 山梨県立考古博物館 | | ③④⑤⑥ |
| 甲府城跡出土 桐紋瓦 | 豊臣政権期(16世紀) | 山梨県立考古博物館 | | ③④⑤⑥ |
| 甲府城跡出土 遠鷹羽紋瓦 | 豊臣政権期(16世紀) | 山梨県立考古博物館 | | ③④⑤⑥ |
| 甲府城跡出土 花菱紋瓦 | 江戸時代(18世紀) | 山梨県立考古博物館 | | ③④⑤⑥ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|-------------------------------------|-----------------|---------|----|------|
| 『滑稽富士詣 九』(甲州文庫) | 万延元年(1860) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 『富士日記』(甲州文庫) | 文政6年(1823) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 『富士之人穴之双紙』(頼生文庫) | 文化7年(1810) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 武田勝頼肖像刷物(甲州文庫) | 江戸時代(19世紀か) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 武田信虎肖像刷物(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ① |
| 稲荷曲輪御櫓御蔵御道具具数帳(甲州文庫) | 享保12年(1727) | 山梨県立博物館 | | ①② |
| 口上覚(信玄公二百五十年遠忌につき、甲州文庫) | 文化15年(1818) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 甲府城内指置候武具覚(甲州文庫) | 享保9年(1724) | 山梨県立博物館 | | ①② |
| 差出シ申一札之事(山宮祭礼での暴力事件につき詫状、古屋家文書) | 明和3年(1766) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 差出申一札之事(酒酔いのうえ悪口乱妨につき詫状、渡邊家文書) | 文久元年(1861) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 差上申一札之事(万福寺・恵林寺内済につき)(甲州文庫) | 明和7年(1770) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 差上申詫一札之事(酒酔い不埒の儀につき詫状、甲州文庫) | 嘉永7年(1854) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 信玄公三百年遠忌化縁簿(甲州文庫) | 明治4年(1871) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 武田晴信信玄像模本(甲州文庫) | 明治5年(1872) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 『金草鞋十二編身延山道中之記』(甲州文庫) | 文政2年(1819) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 『さかなつくし』 | 明治44年(1911) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 清酒・賢鈍・煮売商売につき乍恐書付を以奉願上候(甲州文庫) | 寛政7年(1795) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 稚齋・鮪代金につき覚(三沢家文書) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 長芋・鮪代金につき覚(三沢家文書) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 鮪など代金につき覚(三沢家文書) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ② |
| むろ・生そば代金につき覚(三沢家文書) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 賢鈍・煮売商売用水出入一件につき乍恐書付を以奉願上候(甲州文庫) | 寛政8年(1796) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 甲州打栗進上につき白銀送付状(坂名井家資料) | 江戸時代(18世紀) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 甲府町酒造石高調帳(甲州文庫) | 宝暦5年(1755) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 清酒・煮買・賢鈍商売につき乍恐書付を以奉願上候(林貞夫氏旧蔵資料) | 天保3年(1832) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 不審者取締り協力につき指上ケ申一札之事(甲州文庫) | 天和2年(1682) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 『北斎漫画 十編』(大木家文書) | 江戸時代(19世紀) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 『北斎漫画 八編』(大木家文書) | 江戸時代(19世紀) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 『博物新編訳解 卷之四』(坂名井家資料) | 明治4年(1871) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 馬保護の心得につき覚(甲州文庫) | 江戸時代(17世紀) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 犬の生死届出につき覚(甲州文庫) | 貞享5年(1688) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 犬札付置につき覚(甲州文庫) | 江戸時代(17世紀) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 甲府境町生類憐仰渡請書(頼生文庫) | 貞享5年(1688) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 小鳥飼育禁止につき覚(甲州文庫) | 元禄9年(1696) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 生類憐みの心得につき覚(甲州文庫) | 貞享4年(1687) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 大曲馬広告(甲州文庫) | 明治時代(19世紀) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 町々犬員数書付につき覚(甲州文庫) | 元禄8年(1695) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 馬毛付・年付・尺付改帳(甲州文庫) | 貞享5年(1688) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 『奈良名所絵図』(関本家資料) | 江戸時代(19世紀) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 『江戸名所図会』(大木家文書) | 天保5~7年(1834~6) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 『政談』(成島家文書) | 江戸時代(19世紀) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 『撰津名所図会』(大木家文書) | 寛政8~10年(1796~8) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 御茶壺葦崎ゝ府中迄送り人馬之割付(甲州文庫) | 正保3年(1646) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 御茶壺御宿賄入用書出し(甲州文庫) | 天和3年(1683) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 御用荷物通過につき差上申一札之事(甲州文庫) | 文久3年(1863) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 御用紙差立人足差出につき覚(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 台ヶ原宿旅人止宿仕法につき乍恐以書付御答奉申上候(甲州文庫) | 文化8年(1811) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 台ヶ原宿旅籠屋十四軒・孫右衛門訴訟につき差上申済口証文之事(甲州文庫) | 文化8年(1811) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 巳御茶壺諸事賄覚帳(甲州文庫) | 元禄2年(1689) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 旅人止宿につき差出申一札之事(甲州文庫) | 文化8年(1811) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 『桂園一枝』(坂名井家資料) | 嘉永4年(1851) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|--------------------------------|-------------|---------|----|--------|
| 『尾花末露曾我菊』(甲州文庫) | 明治時代 | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 『常山紀談』(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 『除蝗録』(長谷川家文書) | 文政9年(1826) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 『信長記』(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 『東都歳時記』 | 天保9年(1838) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 『寧静画式 上 蘭譜』(甲州文庫) | 明治14年(1881) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 『北斎漫画 十編』(大木家資料) | 明治11年(1878) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 中井清太夫様村々江被仰渡書写(有泉家文書) | 天明4年(1784) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 西郷暴乱景況書簡(佐野広乃関係文書) | 明治10年(1877) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 浅野幸長(長慶)書状 | 文禄5年(1596) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 浅野長祚書状(邊見家資料) | 天保15年(1844) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 『当国三社神幸由緒書』(坂名井家資料) | 天明6年(1786) | 個人 | | ⑥ |
| 『甲斐国二之宮神前由緒書』(坂名井家資料) | 天保5年(1834) | 個人 | | ⑥ |
| 『信玄公三百年遠忌化縁簿』(甲州文庫) | 明治4年(1871) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 『絵本甲越軍記 三編』(甲州文庫) | 文化8年(1811) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 『絵本信玄一代記』(甲州文庫) | 寛政2年(1790) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 『甲越川中嶋軍記』(甲州文庫) | 嘉永3年(1850) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 御幸相延候覚書(坂名井家資料) | 宝永元年(1704) | 個人 | | ⑥ |
| 山宮祭礼での暴力事件詫びにつき差出シ申一札之事(古屋家文書) | 明和3年(1766) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 酒酔いのうえ悪口乱妨詫びにつき差出申一札之事(渡邊家文書) | 文久元年(1861) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 酒酔い不埒の儀詫びにつき差上申詫一札之事(甲州文庫) | 嘉永7年(1854) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 信玄公二百五十年遠忌につき口上覚(甲州文庫) | 文化15年(1818) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 万福寺・恵林寺内済につき差上申一札之事(甲州文庫) | 明和7年(1770) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 変貌する景観 | | | | |
| 生糸(県繭糸検査事務所資料) | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 温泉取調書(若尾資料) | 大正6年(1917) | 山梨県立博物館 | | ①②③ |
| 甲斐名湯案内誌(甲州文庫) | 明治28年(1895) | 山梨県立博物館 | | ①②⑤ |
| 葡萄栽培法摘要(甲州文庫) | 明治10年(1877) | 山梨県立博物館 | | ①② |
| 下部鉱泉場名所絵葉書(関本家文書) | 大正時代以降 | 山梨県立博物館 | | ①② |
| 葡萄三説(葡萄酒会社関係資料一括) | 明治23年(1890) | 山梨県立博物館 | | ①② |
| 頂上ひとりあんない(甲州文庫) | 明治13年(1880) | 山梨県立博物館 | | ①④⑤ |
| 富士裾野めぐり 付富士川下り甲州御岳(甲州文庫) | 大正14年(1925) | 山梨県立博物館 | | ①④⑤ |
| ビールの資料・広告(複製) | 明治7年(1874) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 葡萄苗木代金領収書(葡萄酒会社関係資料一括) | 明治時代 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 甲斐名所寿古六(甲州文庫) | 文久2年(1862) | 山梨県立博物館 | | ②⑤ |
| 甲府太田町公園全図(頼生文庫) | 明治15年(1882) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 一府九県聯合共進会会場図(甲州文庫) | 明治39年(1906) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 甲府市制四十年記念誌(甲州文庫) | 昭和3年(1928) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 西山梨郡湯村鷺の湯谷の湯馬の湯沿革及現在の状況(廣瀬家資料) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 太田町公園絵葉書(上野晴朗氏収集資料(歴史資料)) | 年代不詳 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 写真絵はがき類 温泉(甲州文庫) | 明治時代以降 | 山梨県立博物館 | | ③④⑤⑥ |
| 『並山日記 三』(甲州文庫) | 嘉永3年(1850) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 甲斐四郡村名尽(頼生文庫) | 文久2年(1862) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 旅行の友 創刊号(甲州文庫) | 昭和6年(1931) | 山梨県立博物館 | | ④⑤ |
| 中央東線鉄道線路概況(甲州文庫) | 明治36年(1903) | 山梨県立博物館 | | ④⑤ |
| 『泉都甲府』絵はがき | 昭和戦前期 | 個人 | | ⑥ |
| 甲山峡水 | 明治39年(1906) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 甲府市を中心とせる甲斐大観 | 昭和4年(1929) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 信玄公祭り関係資料 | 昭和時代 | 個人 | | ⑥ |
| 西山梨郡湯村鷺の湯谷の湯馬の湯沿革及現在の状況(廣瀬家資料) | 明治時代 | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 山梨県北部で採集された水晶 | 近現代 | 個人 | | ⑥ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|---------------------------|---------------|----------------------|-----------|--------------|
| 信仰の足跡 | | | | |
| 愛染明王坐像(複製) | 平安時代(12世紀) | 山梨県立博物館(原資料 放光寺) | 原資料: ◎ | ①②③④⑤⑥ |
| 役行者像(複製) | 平安～鎌倉時代(12世紀) | 山梨県立博物館(原資料 円楽寺) | 原資料: ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 甲斐勝沼柏尾経塚出土経筒(複製) | 康和5年(1103) | 山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館) | 原資料: ◎ | ①②③④⑤⑥ |
| 金峰山出土品(釘、古銭、鏡、薙鎌) | 平安～明治時代 | 甲府市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥ |
| 韋駄天立像 | 南北朝時代 | 円光院 | | ①②③④⑤ |
| 富士北口男女登山(落合芳幾筆) | 安政6年(1859) | 山梨県立博物館 | | ①(2/20～3/18) |
| 富士山北口全図 鎮火大祭 | 明治30年(1897) | 山梨県立博物館 | | ①(3/20～4/15) |
| 甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ①⑥ |
| 甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 富士山百景狂歌集(甲州文庫) | 万延元年(1860) | 山梨県立博物館 | | ②⑥ |
| 藏王権現立像 | 平安時代(12世紀) | 山梨県立博物館 | ○ | ③④⑤ |
| 富士山牛玉 | 江戸時代(17世紀) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 不二日記<富士日記写本>(甲州文庫) | 文化11年(1814) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 七福神図 木食白道作 | 江戸時代(18～19世紀) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 聖観音菩薩立像 | 鎌倉時代 | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 甲斐を駆ける武士たち | | | | |
| 関東下知状(複製) | 応長元年(1311) | 山梨県立博物館(原資料 大善寺) | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 小桜韋威鎧 兜・大袖付(楯無鎧)復元品 | 平安・鎌倉時代 | 山梨県立博物館(原資料 菅田天神社) | 原資料: ● | ①②③④⑤⑥ |
| 諏訪神号旗(複製) | 室町時代(16世紀) | 山梨県立博物館(原資料 恵林寺) | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 孫子の旗(複製) | 室町時代(16世紀) | 山梨県立博物館(原資料 恵林寺) | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 長寛勘文写本(複製) | 江戸時代 | 山梨県立博物館(原資料 熊野神社) | 原資料: ◇ | ①②③④⑤⑥ |
| 銅製経筒および付属品(複製) | 建久8年(1197) | 山梨県立博物館(原資料 個人) | 原資料: ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 信玄公御屋形図 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ① |
| 武田信玄像 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ① |
| 武田晴信条目(今沢家文書) | 弘治3年(1557) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 武田家系図(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ① |
| 武田信玄信州川中島出張之図 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ① |
| 武田廿四将肖像(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ① |
| 武田晴信像(複製) | 戦国時代 | 山梨県立博物館(原資料 持明院) | | ②③④⑤⑥ |
| 穴山信君判物(南松院資料) | 戦国時代 | 南松院 | ○ | ② |
| 甲陽軍鑑 卷十二 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 甲州古府中古城之図 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 武田家朱印状 | 天正4年(1576) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 犬追物図説 | 延享4年(1747) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 朱塗鞍(上野晴朗氏収集資料) | 戦国時代か | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 長篠合戦絵図(甲州文庫) | 安永5年(1776) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 飾馬図 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 北条氏康書状 | 永禄7年(1564) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 河中嶋烈戦美談(甲州文庫) | 安政6年(1859) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 信州川中島甲越合戦陣取略絵図(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 大般若波羅蜜多経 卷第四百五十八 | 貞治4年(1365) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 武田甲斐国領土出城見取図のうち 海津城(頼生文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 『甲陽軍鑑』卷十六(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 『甲陽軍鑑』卷十六「御献立之次第」(甲州文庫) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 武田勝頼書状 | 天正7年(1579)か | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 武田信玄和歌短冊(複製・甲州文庫) | 戦国時代か | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 伝武田信豊和歌短冊(甲州文庫) | 戦国時代か | 山梨県立博物館 | | ⑤ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|--------------------------------|--------------|---------------------------------|----|--------------|
| 武田晴信朝臣百首和歌(甲州文庫) | 文政3年(1820) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 後三年合戦絵巻 上巻 | 寛政12年(1800) | 山梨県立博物館 (公益財団法人山梨鈴木助成事業財団寄贈) | | ⑥ |
| 甲陽軍鑑 巻第十一之下 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 武田晴信書状(5月16日付、千村右衛門尉・山村三郎次郎あて) | 天文24年(1555)か | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 川を彩る高瀬舟 | | | | |
| 鯉沢河岸跡 ガラス瓶 | 明治～大正 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 足半草鞋 | — | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 鯉沢河岸跡出土遺物 | 江戸～明治 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 鯉沢河岸跡出土マゴロ骨 | 江戸時代 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 鯉沢河岸跡出土泥面子 | 明治時代 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 富士川舟運関係会社印鑑類 | 明治時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 道がたなく出会い | | | | |
| 新巻常滑大甕 | 室町時代 | 個人 | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 駒橋出土埋蔵銭 | 室町時代 | 個人 | | ①②③④⑤⑥ |
| 青磁碗 | 室町時代 | 個人 | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 瀬戸・美濃灰釉更 | 室町時代 | 個人 | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 染付皿 | 室町時代 | 個人 | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 染付碗 | 室町時代 | 個人 | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 躰躰ヶ崎館跡出土陶磁器 | 室町時代 | 甲府市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥ |
| 東原古瀬戸瓶 | 鎌倉時代 | 山梨県立博物館 | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 東原常滑大甕 | 鎌倉時代 | 山梨県立博物館 | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 木喰作 弘法大師像 | 寛政13年(1801) | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 三月節供雛人形(大木家資料) | 昭和 | 山梨県立博物館 | | ①⑥ |
| 於曾家文書 | 戦国時代 | 山梨県立博物館 | | ① |
| 祝いのお膳 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ②⑤ |
| 騎馬軍人人形 丸屋大木平蔵製(大木家資料) | 明治28年(1895) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 五月節供人形(大木家資料) | 明治時代～昭和時代初期 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 猿橋模型 | 昭和59年(1984) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 曾我物語図屏風 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 甲斐叢記 巻八・九 | 明治26年(1893) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 甲陽阿弥陀海道念仏塚之略縁起(甲州文庫) | 元文5年(1740) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| おかぶと(信玄)(上野晴朗氏収集資料) | 明治時代 | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 信玄公祭りのパンフレット | 昭和戦後期 | 個人 | | ⑥ |
| 信玄公祭りのポスター | 昭和戦後期 | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 江戸文化の往来 | | | | |
| 富岳図扇面(大木コレクション) | 明治31年(1898) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 歳寒三友図扇面(大木コレクション) | 明治31年(1898) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 松山村絵図 | 文化3年(1806) | 都留市 | ◇ | ① |
| 御嶽道絵巻 三枝雲岱筆 | 弘化4年(1847) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 芳年武者无類 武田大膳大夫晴信入道信玄 月岡芳年筆 | 明治19年(1886) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 月百姿 武田信玄 月岡芳年筆 | 明治19年(1886) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 「新製親玉おこし」ちらし 歌川国芳筆 | 江戸時代後期 | 個人 | | ②(4/24～6/3) |
| 「新製親玉おこし」ちらし 歌川国芳筆 | 江戸時代後期 | 個人 | | ②(6/5～7/22) |
| 大嵐村絵図 | 文化3年(1806) | 都留市 | ◇ | ②(4/24～6/24) |
| 菓子題箋「志の々め(東雲)」 | 天保12年(1841) | 個人 | | ②(6/5～7/22) |
| 菓子題箋「升てみる」 | 文政5年(1822) | 個人 | | ②(4/24～6/3) |
| 猿橋宿絵図 | 文化3年(1806) | 都留市 | ◇ | ②(6/26～8/26) |
| 山水図屏風 天龍道人筆(大木コレクション) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ②(4/24～6/3) |
| 葡萄図 天龍道人筆(大木コレクション) | 享和元年(1801) | 山梨県立博物館 | | ②(4/24～6/3) |
| 葡萄図 天龍道人筆(大木コレクション) | 享和元年(1801) | 山梨県立博物館 | | ②(6/5～7/22) |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|---------------------------------|-------------------|---------|----|----------------|
| 葡萄図屏風 天龍道人筆 | 文化2年(1805) | 個人 | | ②(6/5～7/22) |
| 浅間神社ならびに富士山絵図 | 文化3年(1806) | 都留市 | ◇ | ③ |
| 宮谷村絵図 | 文化3年(1806) | 都留市 | ◇ | ③(8/28～10/22) |
| 猿猴図 望月金風筆(大木コレクション) | 明治時代以降 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 伽話カチカチ山図 尾形月耕筆(大木コレクション) | 明治時代以降 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 青梅小禽図 村松雲外筆(大木コレクション) | 明治時代以降 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 蓮鷺図 日根対山筆(大木コレクション) | 慶応3年(1867) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 老松叭哥鳥図(大木コレクション) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 阿弥陀海道宿絵図 | 文化3年(1806) | 都留市 | ◇ | ④ |
| 鴻ノ台図屏風 二代歌川広重筆(大木コレクション) | 江戸時代後期 | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 鴻ノ台図屏風 画稿(大木コレクション) | 江戸時代後期 | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 諸国名所百景 甲州矢立杉 二代歌川広重筆 | 安政6年(1859) | 山梨県立博物館 | | ④(10/24～11/25) |
| 諸国名所百景 甲州矢立杉 二代歌川広重筆(甲州文庫) | 安政6年(1859) | 山梨県立博物館 | | ④(11/27～12/16) |
| 上大野村絵図 | 文化3年(1806) | 都留市 | ◇ | ⑤ |
| 甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧 歌川広重筆 | 天保12年(1841) | 山梨県立博物館 | ○ | ⑤ |
| 浅利村絵図 | 文化3年(1806) | 都留市 | ◇ | ⑥ |
| 花鳥図 椿椿山筆(大木コレクション) | 嘉永元年(1948) | 山梨県立博物館 | | ⑥(2/19～3/12) |
| 桃源郷図 福田浩湖筆(大木コレクション) | 大正2年(1913) | 山梨県立博物館 | | ⑥(2/19～3/12) |
| 春景山水図 十時梅厓筆(大木コレクション) | 寛政12年(1800) | 山梨県立博物館 | | ⑥(2/19～3/12) |
| 雛図 源季俊筆(大木コレクション) | 江戸時代(19世紀) | 山梨県立博物館 | | ⑥(2/19～3/12) |
| 桃花峯図 矢野橋村筆(大木コレクション) | 大正10年(1921) | 山梨県立博物館 | | ⑥(2/19～3/12) |
| 富嶽三十六景 深川万年橋下 葛飾北斎筆 | 天保元年～5年(1830～34)頃 | 山梨県立博物館 | | ⑥(3/13～3/30) |
| 富嶽三十六景 武陽陽島 葛飾北斎筆 | 天保元年～5年(1830～34)頃 | 山梨県立博物館 | | ⑥(3/13～3/30) |
| 富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二 葛飾北斎筆 | 天保元年～5年(1830～34)頃 | 山梨県立博物館 | | ⑥(3/13～3/30) |
| 富嶽三十六景 東都浅草本願寺 葛飾北斎筆 | 天保元年～5年(1830～34)頃 | 山梨県立博物館 | | ⑥(3/13～3/30) |
| 富嶽三十六景 江戸日本橋 葛飾北斎筆 | 天保元年～5年(1830～34)頃 | 山梨県立博物館 | | ⑥(4/1～4/13) |
| 富嶽三十六景 隅田川関屋の里 葛飾北斎筆 | 天保元年～5年(1830～34)頃 | 山梨県立博物館 | | ⑥(4/1～4/13) |
| 富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略図 葛飾北斎筆 | 天保元年～5年(1830～34)頃 | 山梨県立博物館 | | ⑥(4/1～4/13) |
| 富嶽三十六景 本所立川 葛飾北斎筆 | 天保元年～5年(1830～34)頃 | 山梨県立博物館 | | ⑥(4/1～4/13) |
| 転換期に向き合う | | | | |
| 以書上御届奉申上候(甲府屋敷引き払いなどにつき)(太田家文書) | 慶応4年(1868) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 覚(柏尾の戦いにおける土佐藩兵の分捕品につき)(太田家文書) | 慶応4年(1868) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 御官軍御宿割控(甲州文庫) | 慶応4年(1868) | 山梨県立博物館 | | ①⑤ |
| 板垣退助写真(大木家文書) | 近代 | 山梨県立博物館 | | ①⑤ |
| 砲弾 | 江戸時代(19世紀) | 山梨県立博物館 | | ①⑤ |
| 『易経 坤』(邊見家資料) | 明治13年(1880) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 『改正音訓 易経 坤』(長谷川家文書) | 明治2年(1869) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 『改正音訓 書経 天』(長谷川家文書) | 明治時代 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 『標註文選正文 三』(大木家文書) | 明治2年(1869) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 『改正音訓 書経 天』(長谷川家文書) | 明治9年(1876) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 『史記』(大木家文書) | 明治2年(1869) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 『増訂 史記評林 三』(長谷川家文書) | 明治2年(1869) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 『米倉騒動記』(水上文淵旧蔵資料) | 明治時代(19世紀) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 『柳子新論』(甲州文庫) | 宝暦9年(1759) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 甲斐国田安領知村々願書済口写(甲州文庫) | 寛政5年(1793) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 山県大弐一件落着書(甲州文庫) | 明和4年(1767) | 山梨県立博物館 | | ③ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|----------------------------------|-------------|---------|----|--------|
| 大柁騒動御仕置触書(甲州文庫) | 寛政5年(1793) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 急廻章(上野晴朗氏収集資料) | 慶応3年(1867) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 召捕者取計方並甲斐国御取締御伺留(竜王村文書その他) | 江戸時代(19世紀) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 常盤備(甲州文庫) | 文久3年(1863) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 天狗党討伐の旗印に付き廻状(長谷川家文書) | 元治元年(1864) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 和宮御参向供奉行列図(甲州文庫) | 文久元年(1861) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 王政復古に際し諸触写(檜峰神社武藤家文書) | 慶応3年(1867) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 幕末甲斐国統治条目(頼生文庫) | 慶応4年(1868) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 『一ツとせいぶし甲斐の評ばん大小切』(甲州文庫) | 慶応4年(1868) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 御用留(成田区有文書) | 明治5年(1872) | 成田区 | | ⑥ |
| 大小切税法存続につき乍恐以書付奉願上候(甲州文庫) | 慶応3年(1867) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 大小切強願之儀聞届取消の達(甲州文庫) | 明治5年(1872) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 大小切制度据置方歎願書(甲州文庫) | 明治5年(1872) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 巨富を動かす | | | | |
| 昭和時代のベンチ | 昭和時代 | 個人 | | ①②③④⑤⑥ |
| 甲府駅発車時間表(三井家文書) | 昭和4年(1929) | 山梨県立博物館 | | ①②④⑤ |
| 富士身延鉄道沿線名所図会(甲州文庫) | 昭和3年(1928) | 山梨県立博物館 | | ①④ |
| 富士山麓電気鉄道株式会社開通記念郵便はがき(長谷川家文書) | 昭和4年(1929) | 山梨県立博物館 | | ①④ |
| 武田信玄公像ミニチュア | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①⑥ |
| 小野金六書簡(甲州文庫) | 明治45年(1912) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 小野金六銅像絵はがき | 大正13年(1924) | 山梨県立博物館 | | ① |
| 富士身延鉄道株式会社電鉄全通記念 | 昭和3年(1928) | 個人 | | ① |
| 国鉄監修・交通公社の時刻表 | 昭和48年(1973) | 個人 | | ② |
| 中央東線鉄道線路概況(甲州文庫) | 明治36年(1903) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 月の雫の引札(上野晴朗氏収集資料) | 明治23年(1890) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 旅行の友 創刊号(甲州文庫) | 昭和6年(1931) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 甲武中央笹井線旅行案内(甲州文庫) | 明治38年(1905) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 若尾逸平銅像ミニチュア | 大正2年(1913) | 山梨県立博物館 | | ②③④⑤ |
| 馬車広告(名取雅樹関係文書) | 明治15年(1882) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 甲州国産商家信用表彰鑑(甲州文庫) | 明治39年(1906) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 山梨馬車鉄道株式会社創業総案内書(関本家文書) | 明治30年(1897) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 鉄道馬車時間表(大木家文書) | 明治33年(1900) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 都留馬車鉄道株式会社創立関係綴(甲州文庫) | 明治31年(1898) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 馬車開業広告(大木家文書) | 明治17年(1884) | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 甲信鉄道起業取調書(甲州文庫) | 明治21年(1888) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 山梨鉄道起業意見書(甲州文庫) | 明治22年(1889) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 蒸気車往復繁栄之図(甲州文庫) | 明治22年(1889) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 中央線停車場之図(甲州文庫) | 明治36年(1903) | 山梨県立博物館 | | ④ |
| お年賀の御礼状(甲州文庫) | 大正8年(1919) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| おもちゃ籠 | 大正4年(1915) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| おもちゃ籠 補遺(甲州文庫) | 大正5年(1916) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 新年会の招待状(甲州文庫) | 大正5年(1916) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 若尾家の年賀状(横浜若尾幾造から甲府若尾民造宛)(甲州文庫) | 大正5年(1916) | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 甲府市三十年史(甲州文庫) | 大正7年(1918) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 勘左衛門宛武田神社奉建会評議員委嘱状及同会の趣意書(関本家文書) | 大正6年(1917) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 機山公社殿建設規則(甲州文庫) | 明治14年(1881) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 甲府繁昌寿語呂久(甲州文庫) | 明治35年(1902) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 武田神社写真帖(甲州文庫) | 昭和13年(1938) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 武田神社奉建会趣意書(甲州文庫) | 大正4年(1915) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 共生する社会【地方病とのたたかい】 | | | | |
| スチブナール | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|------------------------------|-------------|---------|----|--------|
| 地方病克服に向けて使用された実物道具類 | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 地方病予防溝渠プレート | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 死体解剖御願(写し) | 明治30年(1897) | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 俺は地方病博士だ | 大正6年(1917) | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| スチブナール(模造品) | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 地方病に関する手紙(飯田家資料) | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 共生する社会【明治40年の大水害】 | | | | |
| 水害時に使用した舟 | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 明治四十年八月山梨県下水害地巡視日記(古文書雑輯(2)) | 明治40年(1907) | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 山梨県水害史(甲州文庫) | 大正2年(1913) | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 山梨県水害団体移住写真 | 明治時代 | 北海道大学 | | ①②③④⑤⑥ |
| 北海道移住者調(若尾資料) | 明治～大正時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 北海道移住民資料(若尾資料) | 大正8年(1919) | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 共生する社会【山梨と戦争】 | | | | |
| E46集束焼夷弾(模型) | — | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 警防団ヘルメット | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 警防団ビューグル | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 軍靴 | 昭和16年(1941) | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 米機の撒いたピラ(複製) | 昭和20年(1945) | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 軍靴 | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 支那事変いろはがるた | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 甲府四十九連隊施設鬼瓦 | 昭和時代 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |

(2) 企画展・シンボル展

■開催企画展・シンボル展一覧

| | 展覧会名 | 会期 |
|---------|---|--|
| ① 企画展 | i 県都甲府の500年 | 平成31年3月16日(土)から 令和1年5月13日(月)まで |
| | ii すごすぎる! ねこ展～ヒトとネコの出会いと共存の歴史～ | 令和1年7月13日(土)から9月2日(月)まで |
| | iii 法然上人絵伝～親鸞が追い求めた師の姿～ | 令和1年10月12日(土)から11月25日(月)まで |
| | iv 浦上コレクション 北斎漫画 一驚異の眼・驚異の筆一 | 令和2年3月21日(土)から5月11日(月)まで ※新型コロナウイルス感染症予防のため一般公開中止 |
| ② シンボル展 | i 県指定文化財 大善寺 不動明王像 —県下最大級の画像 修理後寺外初公開— | 令和1年5月25日(土)から6月24日(月)まで |
| | ii 甲州屋忠右衛門の冒険 —ミナト・横浜を目指した商人たち— | 令和1年12月21日(土)から 令和2年2月24日(月)まで |

令和2年3月21日(土)から5月11日(月)まで実施した「浦上コレクション 北斎漫画一驚異の眼・驚異の筆」については、令和2年度年報にて詳述する。

①企画展

i 県都甲府の500年

【会 期】平成31年3月16日（土）～令和元年5月13日（月）

会期日数59日間、展示日数52日

【主 催】山梨県立博物館、甲府市

【共 催】山梨日日新聞社、山梨放送

【後 援】朝日新聞甲府総局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局

【協 力】山梨交通株式会社

【会 場】企画展示室

【入場者数】8,772人

【担 当】学芸員 中野賢治、小畑茂雄、山本倫弘

【概 要】

山梨県のほぼ中央に位置する甲府。武田信虎がここに本拠を移したのは、1519年（永正16）のことであった。それから500年、甲斐国府中、すなわち甲府は、山梨県の中心であり続けている。戦国時代には武田家三代の城下町として、また江戸時代には幕府の関東における支配の拠点として、歴史的に大きな意味を持ち、さらに江戸との近さを活かして町人文化が花開いた。明治時代には、都市部を中心とする近代化を背景に、輸出用の商品生産や観光など、新しい諸産業がめざましい発展を遂げた。それらは甲府、そして山梨県のイメージを特徴づけるものとして、全国的に広く知られるものになっていった。

本展では、500年間の甲斐国・山梨県の政治・文化・経済の流れについて、「甲府」をひとつの切り口として展観した。

【関連イベント】

■甲府市指定無形文化財 甲府囃子 上演会

出演：甲府囃子保存会

日時：3月16日（土）13：30～（30分程度）

場所：エントランスロビー

■県立大学連携講座「SNSが発信するこうふ開府500年」

講師：吉田均（山梨県立大学准教授）・吉田ゼミの学生

成澤治子（甲府市こうふコンシェルジュ）

日時：3月30日（土）13：30～15：00

場所：生涯学習室 参加者：25名

■かいじあむ講座

①「武田家三代の街づくり」山本倫弘（当館学芸員）

日時：3月24日（日）13：30～15：00

場所：生涯学習室 参加者：44名

②「甲府城下町に生きた人々」中野賢治（当館学芸員）

日時：4月14日（日）13：30～15：00

場所：生涯学習室 参加者：38名

③「古写真にみる近代甲府」小畑茂雄（当館学芸員）

日時：5月11日（土）13：30～15：00

場所：生涯学習室 参加者：23名



展示風景



展示風景

■古文書講座

「甲府に関する古文書を読む」

日時：3月23日（土）13：30～15：00

場所：生涯学習室 参加者：50名

「古文書に親しむ（1）甲府編」

日時：4月27日（土）13：30～15：00

場所：生涯学習室 参加者：53名

■かいじあむ子ども工房

①「貴石画を作ろう」

日時：4月13日（土）10：30～15：00

場所：エントランスロビー 参加者：18名

協力：やまなし伝統工芸館

②「時の鐘のペーパークラフトを作ろう」

日時：5月11日（土）10：30～15：00

場所：エントランスロビー 参加者：25名

■ギャラリートーク

日時：3月17日（日）、21日（木・祝日）、4月6日（土）、20日（土）、28日（日）、5月2日（木・祝日）、12日（日） 各日15：00から50分程度

場所：企画展示室

■スペシャルギャラリートーク

日時：3月16日（土）、4月30日（火・祝日） 各日15：00から60分程度

場所：企画展示室

【出品資料一覧】

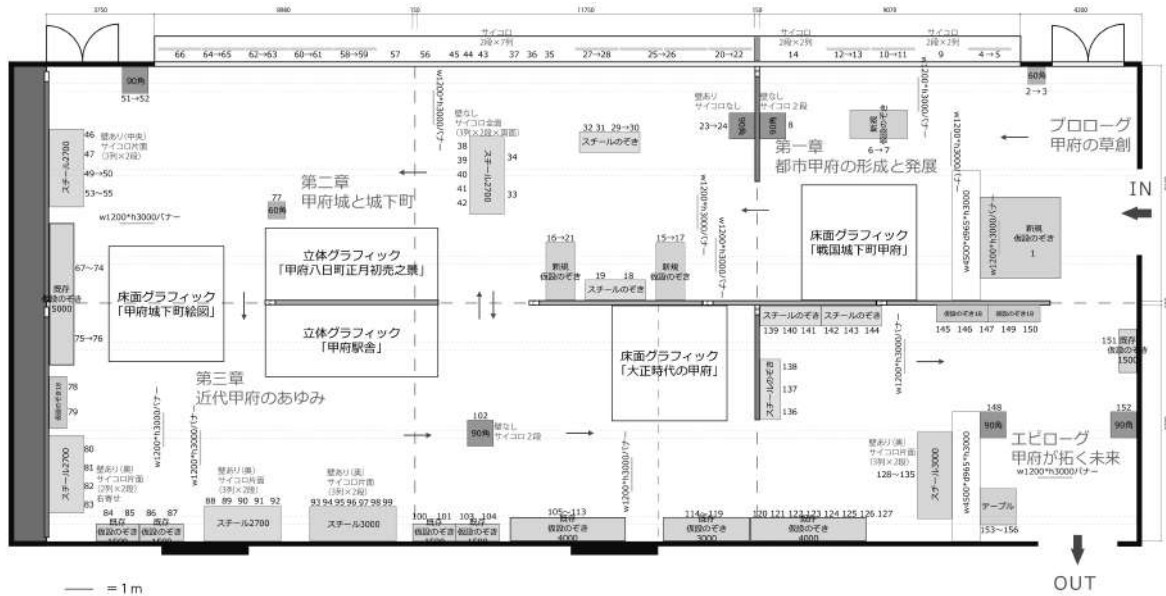
| 番号 | 指定状況 | 資料名 | 員数 | 所蔵者 | 展示期間 | |
|------------------|----------|------------------|----|----------------|------|----|
| | | | | | 前期 | 後期 |
| プロローグ 甲府の草創 | | | | | | |
| 1 | | 甲府城並近辺之絵図 | 1 | 京都大学工学研究科建築学専攻 | ● | ● |
| 2 | | 『甲陽日記(高白齋記)』 | 1 | 東京大学史料編纂所 | ● | |
| 3 | | 『箋註高白齋記』 | 1 | 山梨県立博物館 | | ● |
| 第一章 都市甲府の形成と発展 | | | | | | |
| 第一節 武田家三代の町づくり | | | | | | |
| 4 | 重要文化財 | 武田信虎画像 | 1 | 大泉寺(甲府市) | ● | |
| 5 | | 武田信虎画像 | 1 | 信立寺(甲府市) | | ● |
| 6 | | 武田信虎画像模本 | 1 | 東京大学史料編纂所 | ● | |
| 7 | | 武田信虎画像模本 | 1 | 東京大学史料編纂所 | | ● |
| 8 | | 今川義元書状 | 1 | 個人 | ● | ● |
| 9 | 山梨県指定文化財 | 金銅金具装笠 | 2 | 大泉寺(甲府市) | ● | ● |
| 10 | | 武田信玄画像 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | |
| 11 | | 武田信玄画像 | 1 | 山梨県立博物館 | | ● |
| 12 | | 武田勝頼画像 | 1 | 法泉寺(甲府市) | ● | |
| 13 | | 武田勝頼・信勝・北条夫人画像模本 | 1 | 東京大学史料編纂所 | | ● |
| 14 | 山梨県指定文化財 | 武田勝頼判物 | 1 | 大泉寺(甲府市) | ● | ● |
| 第二節 統一政権の成立と要衝甲府 | | | | | | |
| 15 | | 平岩親吉画像模本 | 1 | 東京大学史料編纂所 | ● | |
| 16 | | 加藤光泰画像模本 | 1 | 東京大学史料編纂所 | ● | |
| 17 | | 加藤光泰画像模本 | 1 | 東京大学史料編纂所 | | ● |
| 18 | | 加藤光政判物 | 1 | 信立寺(甲府市) | ● | ● |
| 19 | | 浅野幸長判物 | 1 | 信立寺(甲府市) | ● | ● |
| 20 | | 浅野長政画像模本 | 1 | 東京大学史料編纂所 | ● | |
| 21 | | 浅野長政画像模本 | 1 | 東京大学史料編纂所 | | ● |

| | | | | | | |
|-----------------------------|----------|-----------------------------|----|--------------|---|---|
| 22 | | 浅野幸長画像模本 | 1 | 東京大学史料編纂所 | | ● |
| 23 | | 徳川綱重画像 | 1 | 知恩寺(京都市) | ● | |
| 24 | | 徳川綱重書状 | 1 | 山梨県立博物館 | | ● |
| 25 | | 徳川家宣画像 | 1 | 知恩寺(京都市) | ● | |
| 26 | | 徳川家宣画像模本 | 1 | 東京大学史料編纂所 | | ● |
| 27 | 山梨県指定文化財 | 柳沢吉保画像 | 1 | 一蓮寺(甲府市) | ● | |
| 28 | 山梨県指定文化財 | 柳沢吉保画像 | 1 | 常光寺(韮崎市) | | ● |
| 29 | | 『風流使者記』 | 2 | 東京大学史料編纂所 | ● | ● |
| 30 | | 『風流使者記』 | 2 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 31 | | 甲府勤番土柴田氏代々書付之綴 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 32 | | 条々写(甲府勤番支配条目) | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 第二章 甲府城と城下町 | | | | | | |
| 第一節 城と町のすがた | | | | | | |
| 33 | 山梨県指定文化財 | 武田家朱印状 | 1 | 個人 | ● | ● |
| 34 | 山梨県指定文化財 | 一蓮寺過去帳 | 3 | 一蓮寺(甲府市) | ● | ● |
| 35 | | 懐宝甲府絵図 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 36 | | 甲府絵図 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 37 | | 甲斐国三郡引渡目録写 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 38 | 山梨県指定文化財 | 甲府城跡出土 桐紋瓦 | 1 | 山梨県立考古博物館 | ● | ● |
| 39 | 山梨県指定文化財 | 甲府城跡出土 遼鷹羽紋瓦 | 1 | 山梨県立考古博物館 | ● | ● |
| 40 | 山梨県指定文化財 | 甲府城跡出土 花菱紋瓦 | 1 | 山梨県立考古博物館 | ● | ● |
| 41 | 山梨県指定文化財 | 甲府城跡出土 葵紋軒丸瓦 | 1 | 山梨県立考古博物館 | ● | ● |
| 42 | 山梨県指定文化財 | 甲府城跡出土 輪宝 | 2 | 山梨県立考古博物館 | ● | ● |
| 43 | | 伝甲府城追手橋擬宝珠 | 2 | 山梨県立甲府第一高等学校 | ● | ● |
| 44 | | 伝甲府城追手橋擬宝珠 | 1 | 山梨県立考古博物館 | ● | ● |
| 45 | | 甲府城古写真(甲府中学校正門) | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 第二節 甲府商人の底力—大木家・野口家— | | | | | | |
| 46 | | 不動明王立像 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 47 | | 家相図 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 48 | | 帳簿類(大木家) | 18 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 49 | | 唐美人図 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | |
| 50 | | 桃鳩図 | 1 | 山梨県立博物館 | | ● |
| 51 | 山梨県指定文化財 | 大木喜右衛門画像(五代目大木喜右衛門夫妻像のうち) | 1 | 山梨県立博物館 | ● | |
| 52 | 山梨県指定文化財 | 大木喜右衛門夫人画像(五代目大木喜右衛門夫妻像のうち) | 1 | 山梨県立博物館 | ● | |
| 53 | | 茶入 銘「二王」 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 54 | | 茶杓 銘「鶴」 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 55 | | 茶杓 銘「亀」 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 56 | | 帳簿類(野口家) | 10 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 57 | | 会所日記 | 80 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 58 | | 達磨図 | 1 | 個人 | ● | |
| 59 | | 関羽図 | 1 | 個人 | | ● |
| 60 | | 西王母図 | 1 | 個人 | ● | |
| 61 | | 梅竹薔薇双鳥図 | 1 | 個人 | | ● |
| 62 | | 幽磴秋雲図 | 1 | 個人 | ● | |
| 63 | | 蓬萊遷侶図 | 1 | 個人 | | ● |
| 64 | | 徳川斉昭画像模本 | 1 | 東京大学史料編纂所 | ● | |
| 65 | | 徳川斉昭画像模本 | 1 | 東京大学史料編纂所 | | ● |
| 66 | | 徳川斉昭書跡 | 1 | 個人 | ● | ● |
| 第三節 人々のくらしと花開く文化 | | | | | | |
| 67 | | 上下府中町触 | 69 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 68 | | 横近習町宗門改帳 | 28 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 69 | | 三日町宗門改帳 | 12 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 70 | | 甲府城関連遺跡出土遺物 | 19 | 甲府市教育委員会 | ● | ● |
| 71 | | 甲府城関連遺跡出土 下駄 | 1 | 甲府市教育委員会 | ● | ● |
| 72 | | 甲府城関連遺跡出土品 納豆容器蓋 | 1 | 甲府市教育委員会 | ● | ● |
| 73 | | 甲府城関連遺跡出土品 焼塩壺 | 1 | 甲府市教育委員会 | ● | ● |
| 74 | | 甲府城関連遺跡出土品 オランダ製鉢 | 2 | 甲府市教育委員会 | ● | ● |

| | | | | | |
|------------------|-------------------------------------|----|---------------|---|---|
| 75 | 甲州善光寺境内之図 初午 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 76 | 甲州一蓮寺地内 正木稻荷之略図 | 1 | 山梨県立博物館 | | ● |
| 77 | 甲府八日町正月初売之景 原画 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 78 | 徴典館旧蔵書籍のうち『保元物語』・『平治物語』 | 6 | 山梨県立図書館 | ● | ● |
| 79 | 『甲斐国志』 | 69 | 山梨県立図書館 | ● | ● |
| 80 | 甲府徴典館(旧幕府学制一班) | 1 | 山梨県立図書館 | ● | ● |
| 81 | 『斯邁爾斯 自助論(西国立志編)』 | 8 | 山梨県立図書館 | ● | ● |
| 82 | 『本草記聞』 | 15 | 山梨県立図書館 | ● | ● |
| 83 | 重新徴典館碑拓本 | 1 | 個人 | ● | ● |
| 第三章 近代甲府のあゆみ | | | | | |
| 第一節 甲府市の成立と激動の近代 | | | | | |
| 84 | 市政局からの達(入甲外国人の応接心得につき) | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 85 | 甲府県知事并権知事任命につき達 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 86 | 山梨県下甲府之図 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 87 | 山梨県町村合併改称 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 88 | 山梨県甲府勸業場之図 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 89 | 舞鶴館絵図面 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 90 | 勸業試験場のワインボトル | 1 | 山梨県立考古博物館 | ● | ● |
| 91 | 三ツ鱗ビールのラベル | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 92 | 洋酒などを販売した十一屋の広告 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 93 | 水晶眼鏡 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 94 | 水晶原石(向山産) | 1 | やまなし伝統工芸館 | ● | ● |
| 95 | 水晶原石(黒平産) | 1 | やまなし伝統工芸館 | ● | ● |
| 96 | 黒平産水晶突鉦 | 1 | やまなし伝統工芸館 | ● | ● |
| 97 | 山梨県産水晶硯 | 1 | やまなし伝統工芸館 | ● | ● |
| 98 | 水晶製亀形根付 | 1 | やまなし伝統工芸館 | ● | ● |
| 99 | 山市印燻革羽織 | 1 | 印傳博物館 | ● | ● |
| 100 | 甲府の市制時の新聞(「山梨日日新聞」明治22年6月28日付) | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 101 | 甲府市水道要覧 | 1 | 山梨県立博物館 | | |
| 102 | 水道管印籠型継手 | 1 | 甲府市上下水道局平瀬浄水場 | ● | ● |
| 103 | 「水道局」焼印 | 1 | 甲府市上下水道局平瀬浄水場 | ● | ● |
| 104 | 武田菱形水道局ステッカー | 1 | 甲府市上下水道局平瀬浄水場 | ● | ● |
| 105 | 甲府停車場開通式 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 106 | 中央線開通祝賀関係資料 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 107 | 中央東線鉄道線路概況 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 108 | 甲府城下町遺跡出土 汽車土瓶 | 2 | 甲府市教育委員会 | ● | ● |
| 109 | 歩兵第四十九聯隊全景 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 110 | 歩兵第四十九聯隊絵はがき | 1 | 個人 | ● | ● |
| 111 | 歩兵第四十九聯隊等の歓迎会開催に付き案内状 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 112 | 甲府都市計画街路網図 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 113 | 山梨県地図 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 第二節 人々が集う“おまち”甲府 | | | | | |
| 114 | 実測甲府市街全図 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 115 | 甲府市街明細地図 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 116 | 山梨県甲府各家商業便覧 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 117 | 甲府市況 第177号 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 118 | 岡島呉服店・吉字屋のふきん | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 119 | 中込百貨店の包装紙 | 1 | 個人 | ● | ● |
| 120 | 一蓮寺境内絵図 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 121 | 山梨県公園全図 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 122 | 一府九県聯合共進会会場略図并優待券等 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 123 | 一府九県聯合共進会記念絵葉書 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 124 | 一府九県聯合共進会門鑑 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 125 | 甲山峡水 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 126 | 山梨電気博覧会 記念写真帳 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 127 | 甲府の産業 第21号 市制50周年記念全日本産業観光甲府大博覧会 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |

| | | | | | |
|-------------------------|-----------------------------|----|----------|---|---|
| 128 | 「泉都甲府」絵葉書 | 1 | 個人 | ● | ● |
| 129 | 甲府市を中心とする甲斐大観 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 130 | 甲府市勢一斑 | 1 | 個人 | ● | ● |
| 131 | 甲府近郊観光パンフレット | 12 | 個人 | ● | ● |
| 132 | 昇仙峡絵葉書 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 133 | 武田神社遷座祭記念写真帳 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 134 | 信玄公祭りポスター | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 135 | 信玄公祭り関係資料 | 1 | 個人 | ● | ● |
| 136 | 明治天皇御巡幸記 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 137 | 皇太子(大正天皇)行啓写真ガラス乾板 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 138 | 攝政官殿下御入峽記 乾・坤 | 2 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 139 | 太宰治書簡(高田英之助宛、複製) | 1 | 山梨県立文学館 | ● | ● |
| 140 | 太宰治葉書(高田英之助宛、複製) | 1 | 山梨県立文学館 | ● | ● |
| 141 | 『愛と美について』 | 1 | 山梨県立文学館 | ● | ● |
| 142 | 日誌 | 1 | 山梨県立文学館 | ● | ● |
| 143 | 「十一屋の若旦那」原稿 | 1 | 山梨県立文学館 | ● | ● |
| 144 | 『爐邊』 | 1 | 山梨県立文学館 | ● | ● |
| 第三節 困難に向き合う甲府の人々 | | | | | |
| 145 | 水害の被災状況を収録した絵葉書帳 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 146 | 山梨県水害史 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 147 | 26号台風災害記録アルバム | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 148 | 空襲被災瓦 | 1 | 甲府市教育委員会 | ● | ● |
| 149 | 「全日本産業観光甲府大博覧会」絵葉書 | 1 | 個人 | ● | ● |
| 150 | パンフレット「甲府からの史蹟名勝めぐり」 | 1 | 個人 | ● | ● |
| 151 | 新紺屋地区警防団資料 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 152 | 甲府城下町遺跡出土焼夷弾(M69焼夷弾) | 1 | 甲府市教育委員会 | ● | ● |
| エピローグ 甲府が拓く未来 | | | | | |
| 153 | 未来之甲州 | 1 | 山梨県立博物館 | ● | ● |
| 154 | 1989こうふ博覧会テレホンカード「ドキドキ主義」 | 1 | 個人 | ● | ● |
| 155 | 1989こうふ博覧会テレホンカード「甲府パンダ展覧会」 | 1 | 個人 | ● | ● |
| 156 | 1989こうふ博覧会テレホンカード「宝石館」 | 1 | 個人 | ● | ● |

【展示平面図】



ii すごすぎる！ねこ展

- 【会 期】令和元年7月13日（土）～9月2日（月）
会期日数52日間、展示日数46日
- 【主 催】山梨県立博物館、山梨日日新聞社・山梨放送
- 【協 賛】日本ネットワークサービス、
- 【後 援】朝日新聞甲府総局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局

【特別協力】沖昌之、荻原弘子

【協 力】環境省自然環境局生物多様性センター、国立極地研究所、通販生活、トレンドマスター株式会社、日本通運株式会社山梨支店、山梨交通株式会社

【会 場】企画展示室

【入場者数】37,873人

【担 当】学芸員 丸尾依子、山田英佑

【概 要】

かつて野生動物だったネコは、餌となるネズミを求めてヒトに近づき、人は猫を身近に住まわせることで食糧や經典、カイコの守り役を得た。人はネコの姿かたち魅了され、時に神秘的な性質をおそれ、様々な芸術作品や信仰を生み出した。現代社会におけるネコは伴侶動物と呼ばれる一方、社会問題も引き起こす存在となっている。展覧会では、写真集「必死すぎるネコ」の猫写真家・沖昌之氏の作品や、出土品・工芸品・神札・絵画などの資料、ネコ科動物のはく製・化石などを展示し、ネコの野生の側面を紹介するとともに、ネコとヒトとの共存の歴史をたどった。

【関連イベント】

■ねこ写真トークショー「ネコ写真撮影のすごすぎる話」

日時：7月20日（土）13：30～15：00

会場：生涯学習室

講師：沖昌之氏

■ねこワークショップ「羊毛フェルトでネコのワッペンをつくる」

日時：8月17日（土）①10：10～11：30、②13：30～14：40

定員：各回10名

会場：体験学習室

参加費：500円（材料費）

講師：荻原弘子氏（羊毛フェルト人形作家・morin工房）

■NNS Presents ナショジオオープンキャンパス「ココリコ田中の動物これ知ってた？」

日時：8月3日（土）14：00～15：30

会場：山梨県総合教育センター・大研修室

出演：田中直樹氏（ココリコ）

■ねこギャラリートーク

初級編：7月13日（土）、8月18日（日）

上級編：7月21日（日）、8月24日（土）

各日15：00から1時間程度



展覧会ちらし



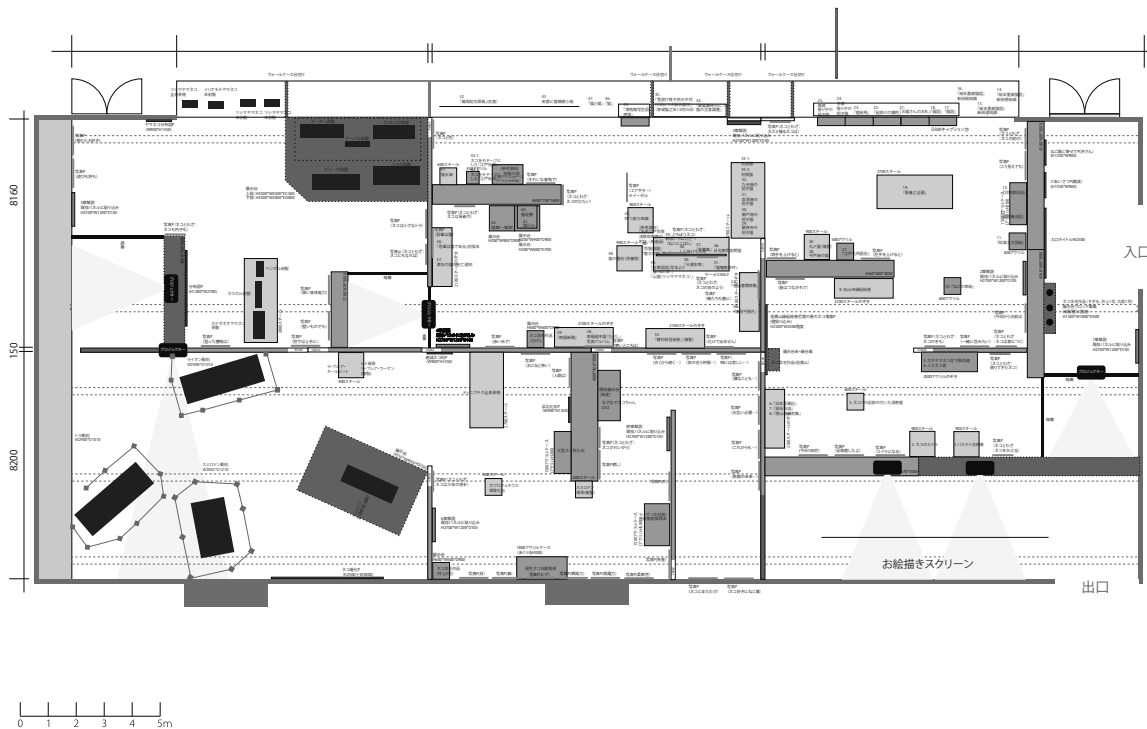
展示風景

【出品資料一覧】

| No | 資料名 | 時代 | 出土地・使用地・採集地 | 員数 | 指定 | 所蔵 |
|------------------------|------------------------------|---------------------------|-------------------------------------|----|----|-------------------|
| 第I章 ネコ、日本にやってくる | | | | | | |
| 1 | バステト女神像 | 前4世紀頃 | エジプト出土 | 1 | | 東京国立博物館 |
| 2 | ネコのミイラ | 不明 | エジプト出土か | 1 | | 国立科学博物館 |
| 3 | オオヤマネコ左下裂肉歯 | 縄文早期～前期 | 不動穴遺跡 | 1 | | 個人 |
| | (参考写真)カラカミ遺跡出土 イエネコ骨 | 弥生時代中期 | カラカミ遺跡 | 1 | | 岩崎市立一支部博物館 |
| 4 | イエネコ骨 | 鎌倉時代 | 千葉地東遺跡 | 1 | | 鎌倉市教育委員会 |
| 5 | ネコの足跡の須恵器(坏身) | 古墳時代～平安時代(6末～7初) | 見野古墳群 | 1 | | 姫路市教育委員会 |
| 6 | 『日本霊異記』 | 江戸時代後期(原本は平安時代初期) | | 1 | | 東京大学総合図書館 |
| 7 | 『源氏物語 若菜上』 | 江戸時代(原本は平安時代末期) | | 1 | | 山梨県立博物館 |
| 8 | 『想山著聞奇集』 | 江戸時代 嘉永3年(1850) | | 1 | | 東京大学総合図書館 |
| | (参考写真)『信貴山縁起絵巻 尼君の巻』 | 平安時代後期 12世紀 | | 1 | | 朝護孫子寺(奈良国立博物館寄託) |
| 9 | 『石山寺縁起絵巻』模本 | 明治時代(原本は鎌倉時代末期) | | 1 | | 東京国立博物館 |
| 10 | 『ねこの草紙』 | 江戸時代中期 | | 1 | | 西尾市岩瀬文庫 |
| 第II章 ネコ、神になる | | | | | | |
| 11 | 『和漢三才図会』 | 原本は江戸時代中期 | | 1 | | 山梨県立博物館 |
| 12 | 『蚕飼養法記』 | 昭和16年復刻版 江戸時代 元禄15年(1702) | | 1 | | 個人 |
| 13 | 『河野家日記』 | 江戸時代(天保6年(1835)) | | 1 | | 山梨県立博物館 |
| 14 | 『紙本墨画猫図』新田徳純画 | 江戸時代 | | 1 | | 太田市立新田荘歴史資料館 |
| 15 | 『紙本墨画猫図』新田道純画 | 江戸時代 | | 1 | | 太田市立新田荘歴史資料館 |
| 16 | 『紙本墨画猫図』新田俊純画 | 江戸時代 | | 1 | | 太田市立新田荘歴史資料館 |
| 17 | 『猫図』 | 明治時代 | | 1 | | 東京農工大学科学博物館 |
| 18 | 『猫図』 | 明治時代 | | 1 | | 東京農工大学科学博物館 |
| 19 | 『養蚕之全圖』歌川芳藤筆 | 明治時代 | | 9 | | 東京農工大学科学博物館 |
| 20 | 写真『養蚕農家の猫』内田宏撮影 | 昭和40年(1965) | | 1 | | 山梨県立博物館 |
| 21 | お猫さんのお札 | 昭和時代 | | 1 | | 山梨県立博物館 |
| 22 | 鼠除けの護符 | 明治時代～昭和時代 | | 1 | | 中央市立豊富郷土資料館 |
| 23 | 猫絵馬 | | | 3 | | 武蔵野美術大学民俗資料室 |
| 24 | 多摩張り子の招き猫 | 明治時代以降 | | 1 | | 個人(招き猫ミュージアム) |
| 25 | 高崎張り子の招き猫 | 明治時代以降 | | 1 | | 個人(招き猫ミュージアム) |
| 26 | 『丸メ猫』(複製) | 原資料は江戸時代か(未詳) | | 1 | | 招き猫ミュージアム |
| | (参考写真)丸メ猫 | 嘉永5年から安政6年(1852～59)頃 | 尾張藩川久保屋敷と水野家下屋敷(東京都新宿区)の共同ゴミ捨て場より出土 | 1 | | 新宿区教育委員会 |
| 27 | 『江戸名所図会』 | 天保5年～7年(1834～36) | | 1 | | 山梨県立博物館(大木家資料) |
| 28 | 今戸焼の猫 | 現代 | | 1 | | 成城大学民俗学研究所 |
| 29 | 豪徳寺の招福猫 | 昭和60年(1985) | | 1 | | 成城大学民俗学研究所 |
| 30 | 瀬戸焼の招き猫 | 明治時代以降 | | 1 | | 個人(招き猫ミュージアム) |
| 31 | 常滑焼の招き猫 | 明治時代以降 | | 1 | | 個人(招き猫ミュージアム) |
| 32 | 九谷焼の招き猫 | 明治時代以降 | | 1 | | 個人(招き猫ミュージアム) |
| 33 | 初辰猫 | 現代 | | 2 | | 成城大学民俗学研究所 |
| 第III章 ネコは、魔性 | | | | | | |
| 34 | 『御巢鷹時分につき猫の注意請書』 | 江戸時代 明暦4年(1658)5月 | | 1 | | 山梨県立博物館 |
| 35 | 『雪遊び等子供の不埒行状につき訴状戯文』 | 江戸時代 享保年間(享保猫の年-13月35日) | | 1 | | 山梨県立博物館 |
| 36 | 日光東照宮眠猫 | 不明 | | 1 | | 山梨県立博物館 |
| 37 | 『骨董集』 | 文化12年版再刻 | | 1 | | 個人 |
| | (参考資料)『名所江戸百景 浅草田圃西の町詣』(模造品) | 現代(原本は江戸時代) | | 1 | | |
| 38 | しん板けもの尽 | 明治17年2月 | | 1 | | 山梨県立博物館 |
| 39 | 新版いろはたとへ(ねこにこぼん) | 明治時代以降 | | 1 | | 山梨県立博物館 |
| 40 | 『百猫画譜』『魯文珍報』第8号 | 明治時代 | | 1 | | 山梨県立博物館 |
| 41 | 猫水滴 | 江戸時代 | | 1 | | 東京国立博物館 |
| 42 | 猫をモチーフにした玩具 | 現代 | | 2 | | 個人 |
| | (参考資料)ネコの置物 | 明治時代以降 | | 4 | | 個人 |
| 43 | 四つ皮三味線 | 昭和時代～平成 | | 1 | | 田中楽器(甲府店) |
| 44 | 博物館写真図唐猫 | 江戸時代 文政11年(1828) | | 1 | | 東京国立博物館 |
| 45 | 芙蓉に猫模様小袖 | 江戸時代後期 | | 1 | | J・フロントリテイリング史料館 |
| 46 | 『猫』辻嵐外筆 | 江戸時代後期 | | 1 | | 山梨県立博物館 |
| 47 | 『猫と蝶』辻嵐外筆 | 江戸時代後期 | | 1 | | 山梨県立博物館 |
| | (参考写真)埋葬された猫 | 江戸時代 | 汐留遺跡 | 1 | | 東京都教育庁(港区立郷土歴史館) |
| 48 | 猫の墓石(供養塔) | 江戸時代 明和3年(1766) | 伊皿子貝塚遺跡 | 1 | | 港区教育委員会(港区立郷土歴史館) |
| 49 | 『本草図説』(写本) | 明治時代(原本は江戸時代後期) | | 2 | | 西尾市岩瀬文庫 |
| 50 | 『大倭本草』貝原篤信(益軒)編 | 原本は宝永6年(1709) | | 1 | | 山梨県立博物館 |
| 51 | 『猫睡寛窄弁』梅川重高著 | 江戸時代 天保元年(1830) | | 1 | | 東京大学総合図書館 |
| 52 | 『雑魚貼交屏風』二代広重及び門下 | 江戸時代後期 | | 1 | | 山梨県立博物館 |
| 53 | 『想山著聞奇集』 | 江戸時代 嘉永3年(1850) | | 1 | | 東京大学総合図書館 |

| | | | | |
|-------------------------|----------------|--------------------|-----|-------------------|
| 54 | 『権説弓張月』滝沢馬琴作 | 昭和6年(1931) 原本は文化5年 | 1 | 個人 |
| 55 | 『蕪村妖怪絵巻』(複製) | 原本は江戸時代中期 | 1 | 東京大学文学部国語研究室 |
| 56 | 『吾輩は猫である』初版本 | 明治時代 | 3冊揃 | 新宿区立漱石山房記念館 |
| 57 | 漱石の猫の死亡通知 | 明治時代 | 1 | 新宿区立漱石山房記念館 |
| 58 | 南極越冬猫「たけし」関連写真 | 昭和時代 | 一式 | 国立極地研究所 |
| 59 | 南極新聞 | 昭和時代 | 1 | 個人 |
| 60 | 猫足のお膳 | 昭和時代 | 1 | 山梨県立博物館 |
| 61 | 猫行火 | 明治時代以降 | 1 | 山梨県立博物館 |
| 62 | ネコ(猫車) | 現代 | 1 | 山梨県立博物館 |
| 第Ⅳ章 種類豊富なネコ科動物たち | | | | |
| 63 | クロヒョウ剥製 | | 1 | 国立科学博物館筑波研究施設 |
| 64 | カラカル剥製 | | 1 | 国立科学博物館筑波研究施設 |
| 65 | カナダオオヤマネコ剥製 | | 1 | 国立科学博物館筑波研究施設 |
| 66 | ヒョウ剥製 | | 1 | 国立科学博物館筑波研究施設 |
| 67 | ピューマ剥製 | | 1 | 国立科学博物館筑波研究施設 |
| 68 | チーター剥製 | | 1 | 国立科学博物館筑波研究施設 |
| 69 | サーバル剥製 | | 1 | 国立科学博物館筑波研究施設 |
| 70 | ツシマヤマネコ剥製 | | 1 | 環境省生物多様性センター |
| 71 | ツシマヤマネコ剥製 | | 1 | 環境省生物多様性センター |
| 72 | ツシマヤマネコ全身骨格 | | 1 | 環境省生物多様性センター |
| 73 | イリオモテヤマネコ剥製 | | 1 | 環境省生物多様性センター |
| 74 | ベンガルヤマネコ剥製 | | 1 | 国立科学博物館筑波研究施設 |
| 75 | トラ動刻 | | 1 | 個人 |
| 76 | ライオン動刻 | | 1 | 個人 |
| 77 | スミロドン動刻 | | 1 | 個人 |
| 78 | スミロドン全身骨格 | | 1 | ミュージアムパーク茨城県自然博物館 |
| 79 | ヒト頭骨 | | 1 | ミュージアムパーク茨城県自然博物館 |
| 80 | スミロドン出土タールピット液 | | 1 | ミュージアムパーク茨城県自然博物館 |
| 81 | ディニクチス全身骨格 | | 1 | ミュージアムパーク茨城県自然博物館 |
| 82 | ホプロフォネウス頭骨化石 | | 1 | ミュージアムパーク茨城県自然博物館 |
| 83 | ネコ科動物化石 | | 一式 | 東京大学総合研究博物館 |
| 第Ⅴ章 ネコは、すごい | | | | |
| 84 | スミロドン頭骨 | | 1 | ミュージアムパーク茨城県自然博物館 |
| 85 | ネコ科動物頭骨 | | 一式 | 東京大学総合研究博物館 |
| 86 | ライオン前腕乾燥標本 | | 1 | 国立科学博物館筑波研究施設 |
| 87 | なでなでねこちゃんDX2 | | 3 | トレンドマスター株式会社提供 |
| | 神昌之氏撮影写真 | | 20 | 個人(神昌之氏) |
| | 羊毛フェルトネコ | | 6 | 個人(荻原弘子氏) |

【展示平面図】



iii 法然上人絵伝 ～親鸞が追い求めた師の姿～

【会 期】令和元年10月12日（土）～11月25日（月）

会期日数45日 開館日数38日（※10月12日は台風のため臨時休館）

【主 催】山梨県立博物館、山梨日日新聞社・山梨放送

【会 場】企画展示室

【入場者数】7,090人

【担 当】学芸員 近藤暁子、海老沼真治

【概 要】

当館所蔵の「法然上人絵伝」（重要文化財）は、鎌倉時代の14世紀に制作された現存する最古級の法然上人絵伝である。また、山梨で浄土真宗が勢力を拡大していくにあたり重要な拠点であった万福寺（甲州市勝沼町）に伝わった作品であることなどから、近年その資料価値に注目が集まっていた。本展では、平成27～29年度にかけての修理が完了し画像が鮮明になった本作を、その工程なども含め、修理後初公開するとともに、その主題である浄土宗の宗祖法然、また法然の弟子で浄土真宗を開いた親鸞など、浄土信仰の展開にまつわる資料を紹介した。さらに本作を所蔵していた万福寺と、それをとりまく本県の浄土真宗の展開などについても明らかにし、「法然上人絵伝」が生み出され必要とされた信仰の有り様、さらに長きにわたり守り伝えられてきた歴史的背景にも触れた。

【関連イベント】

■講演会

①「万福寺旧蔵本 法然上人絵伝の魅力」

講師：井澤英理子氏（山梨県立美術館 学芸幹・学芸課長）

日時：11月10日（日）13：30～15：00

場所：生涯学習室

②「文化財修理の世界 法然上人絵伝の修理によせて」

講師：岡岩太郎氏（株式会社岡墨光堂 代表取締役）

日時：11月17日（日）13：30～15：00

場所：生涯学習室

③「法然のあゆみと親鸞」

講師：平雅行氏（京都先端科学大学特任教授・大阪大学名誉教授）

日時：11月23日（土・祝日）13：30～15：00

場所：生涯学習室

■かいじあむ古文書講座「仏教に関する古文書を読む」

講師：海老沼真治（当館学芸員）

日時：10月26日（土）13：30～15：00

場所：生涯学習室

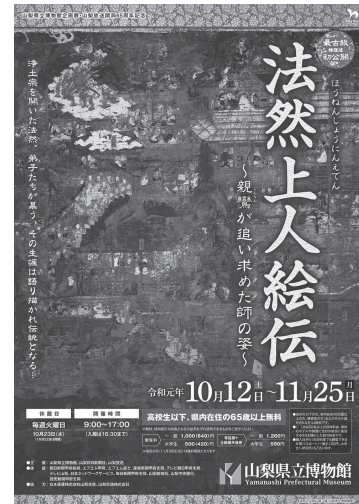
■あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば

①「法然上人をさがせ！」

日時：10月20日（日）、27日（日）、11月24日（日）

各日11：00から30分程度

場所：かいじあむ寺子屋



展覧会ちらし



展示風景

②「法然上人のプラバンを作ろう！」

日時：11月10日（日）11：00から30分程度

場所：かいじあむ寺子屋

■学芸員によるギャラリートーク

日時：10月13日（日）、20日（日）、11月3日（日・祝日）、24日（日）

各日15：00から1時間程度

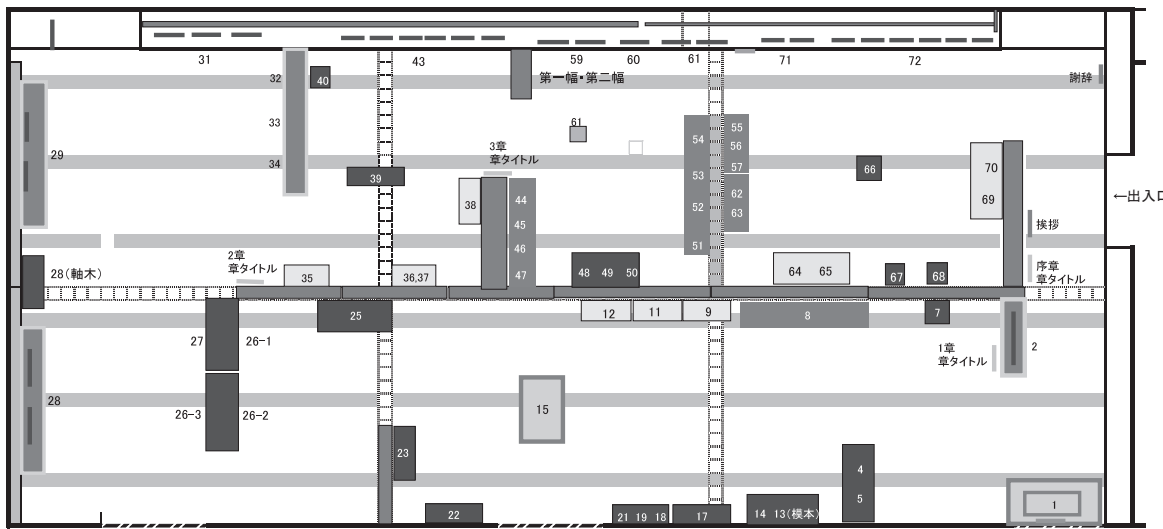
【出品資料一覧】

●国宝、◎重文、○県指定、◇市区町村指定

| 番号 | 指定 | 資料名 | 員数 | 材質・技法 | 時代 | 所蔵者 | 展示期間 (記載のないものは全期間) |
|---------------------|----|---------------------------|--------|-----------|------------------|-------------|--------------------------|
| 序章 浄土への憧れ | | | | | | | |
| 1 | ○ | 阿弥陀如来及両脇侍像 | 3 | 軀 木造漆箔玉眼 | 鎌倉時代 13世紀 | 笛吹市 九品寺 | |
| 2 | | 当麻受茶羅図 | 1 | 幅 絹本着色 | 鎌倉時代 13世紀 | 北杜市 | |
| 3 | ◎ | 法然上人像(足曳御影) | 1 | 幅 絹本着色 | 鎌倉時代 13世紀 | 京都府 二尊院 | 11/6～11/25 |
| 4 | | 法然上人像(陰信御影) | 1 | 幅 絹本着色 | 南北朝時代 14世紀 | 京都府 知恩院 | 10/12～11/4 |
| 5 | | 親鸞聖人像 | 1 | 幅 絹本着色 | 室町時代 16世紀 | 富士吉田市 福源寺 | 10/12～11/4 |
| 6 | ○ | 八高僧蓮坐像 | 1 | 幅 絹本着色 | 鎌倉～南北朝時代 14世紀 | 奈良県 瀬上寺 | 11/6～11/25 |
| 第一章 法然 その生涯と信仰 | | | | | | | |
| 7 | ◇ | 法然上人坐像 | 1 | 軀 木造黒漆塗玉眼 | 南北朝～室町時代 14～15世紀 | 甲府市 善光寺 | |
| 8 | ◇ | 法然上人行状絵図(四十八巻伝) 巻一・三 | 2 | 巻 紙本着色 | 江戸時代 19世紀 | 東京都 増上寺 | |
| 9 | | 往生要集 巻下 | 2 | 帖 紙本墨摺 | 鎌倉時代 建長5年(1253) | 京都府 龍谷大学図書館 | 10/12～11/4 |
| 10 | | 往生要集 巻下 | 2 | 帖 紙本墨摺 | 室町時代 16世紀 | 京都府 龍谷大学図書館 | 11/6～11/25 |
| 11 | | 浄土三部経 | 4 | 帖 紙本墨摺 | 室町時代 15世紀か | 京都府 龍谷大学図書館 | |
| 12 | | 観経四帖疏 巻第三・四 | 2 | 帖 紙本墨摺 | 南北朝時代 14世紀 | 京都府 龍谷大学図書館 | |
| 13 | ◎ | 浄土五祖像 同 (模本) | 1 1 | 幅 絹本着色 | 南宋時代 13世紀 | 京都府 二尊院 | 11/6～11/25 10/12～11/4 |
| 14 | ◎ | 善導大師像 | 1 | 幅 絹本着色 | 鎌倉時代 13世紀 | 京都府 知恩寺 | 10/12～11/4 |
| 15 | | 善導大師・法然上人坐像 | 2 | 軀 木造彩色玉眼 | 江戸時代 | 甲府市 善光寺 | |
| 16 | ● | 法然上人行状絵図(四十八巻伝) 巻三〇 | 1 | 巻 紙本着色 | 鎌倉時代 14世紀 | 京都府 知恩院 | 11/6～11/25 |
| 17 | ◎ | 法然上人行状絵図(四十八巻伝) 巻三〇 | 1 | 巻 紙本着色 | 室町時代 15世紀 | 奈良県 當麻寺奥院 | 10/12～11/4 |
| 18 | ◎ | 選択本願念仏集 | 1 | 帖 紙本墨書 | 鎌倉時代 元久元年(1204) | 奈良県 當麻寺奥院 | 10/12～11/4 |
| 19 | | 選択本願念仏集 | 1 | 冊 紙本墨摺 | 江戸時代 17世紀 | 京都府 龍谷大学図書館 | |
| 20 | | 選択本願念仏集延書 | 1 | 帖 紙本墨書 | 南北朝時代 14世紀 | 京都府 大谷大学博物館 | 11/6～11/25 |
| 21 | | 選択本願念仏集延書 | 2 | 冊 紙本墨書 | 南北朝時代 暦応4年(1341) | 京都府 大谷大学図書館 | |
| 22 | ◎ | 七箇条制誡 | 1 | 巻 紙本墨書 | 鎌倉時代 元久元年(1204) | 京都府 二尊院 | |
| 23 | ● | 法然上人行状絵図(四十八巻伝) 巻三七 | 1 | 巻 紙本着色 | 鎌倉時代 14世紀 | 京都府 知恩院 | 10/12～11/4 |
| 24 | ◎ | 法然上人行状絵図(四十八巻伝) 巻三七 | 1 | 巻 紙本着色 | 室町時代 15世紀 | 奈良県 當麻寺奥院 | 11/6～11/25 |
| 25 | | 法然上人伝法絵 (断簡) 塩飽の段・臨終の段 | 2 | 幅 紙本着色 | 鎌倉時代 13世紀 | 岡山県立博物館 | |
| 26 | ◎ | 法然聖人絵(弘願本) | 3 | 巻 紙本着色 | 南北朝時代 14世紀 | | 11/4までと11/6以降で展示 場面替え |
| 27 | ◎ | 法然聖人絵(弘願本) | 1 | 巻 紙本着色 | 南北朝時代 14世紀 | 京都府 知恩院 | |
| 28 | ◎ | 法然上人絵伝 | 2 | 幅 絹本着色 | 鎌倉時代 14世紀 | 山梨県立博物館 | |
| 29 | ◎ | 法然上人絵伝 | 2 | 幅 絹本着色 | 鎌倉時代 14世紀 | 三重県 西導寺 | |
| 30 | ◎ | 法然上人絵伝 | 3 | 幅 絹本着色 | 南北朝時代 14世紀 | 愛知県 妙源寺 | 10/30～11/11 |
| 31 | | 法然上人絵伝 | 3 | 幅 絹本着色 | 室町時代 15世紀 | 東京都 増上寺 | |
| 第二章 親鸞 法然を慕い、教えを継ぐ者 | | | | | | | |
| 32 | | 教行信証(丹山書写本) | 6 | 冊 紙本墨書 | 江戸時代 19世紀 | 京都府 大谷大学博物館 | |
| 33 | | 教行信証 巻六 | 1 | 帖 紙本墨書 | 南北朝時代 延文5年(1360) | 京都府 大谷大学博物館 | |
| 34 | | 選択相伝御影(模本) | 1 | 幅 | | 愛知県 妙源寺 | |
| 35 | | 西方指南抄 | 6 | 冊 紙本墨摺 | 江戸時代 万治4年(1661) | 京都府 大谷大学図書館 | |
| 36 | | 唯信鈔文意 | 1 | 帖 紙本墨書 | 南北朝時代 建武2年(1335) | 京都府 大谷大学博物館 | |
| 37 | | 唯信鈔文意 | 1 | 帖 紙本墨書 | 室町時代 16世紀 | 京都府 龍谷大学図書館 | |
| 38 | | 三帖和讃 | 1 | 帖 紙本墨書 | 戦国時代 元亀3年(1572) | 山梨市 万福寺 | |

| | | | | | | | |
|-------------------------------|---|--------------------------------------|-----|--------|----------------------------------|-------------|---|
| 39 | ◎ | 本願寺聖人親鸞伝絵 巻下 | 1 巻 | 紙本着色 | 南北朝時代 14世紀 | 大阪府 天満定専坊 | 10/12~11/4 |
| 40 | | 拾遺古徳伝(断簡) | 1 幅 | 紙本着色 | 南北朝時代 14世紀 | 岡山県立博物館 | |
| 41 | ○ | 法然上人絵伝 | 3 幅 | 絹本着色 | 南北朝時代 建武5年(1338) | 広島県 光照寺 | 11/6~11/25 |
| 42 | ○ | 親鸞聖人絵伝 | 1 幅 | 絹本着色 | 南北朝時代 建武5年(1338) | 広島県 光照寺 | 11/6~11/25 |
| 43 | ○ | 法然上人絵伝 | 6 幅 | 絹本着色 | 室町時代 15世紀 | 愛知県 満性寺 | 10/12~11/4 |
| 第三章 等力山万福寺 展開する真宗の信仰世界 | | | | | | | |
| 44 | | 親鸞聖人遺徳法輪集 | 2 冊 | 紙本墨摺 | 江戸時代 宝永8年(1711) | 京都府 大谷大学図書館 | |
| 45 | | 甲斐国志 巻之七十五 | 1 冊 | 紙本墨書 | 江戸時代 文化11年(1814) | 山梨県立博物館 | |
| 46 | ◇ | 親鸞聖人惣御門弟等交名 | 1 帖 | 紙本墨書 | 南北朝時代 14世紀 | 滋賀県 光照寺 | |
| 47 | | 親鸞聖人惣御門弟等交名 | 1 巻 | 紙本墨書 | 南北朝時代 14世紀 | 滋賀県 明照寺 | |
| 48 | | 和朝太子先徳連坐像 | 1 幅 | 絹本着色 | 室町時代 15世紀 | 忍野村 安養軒 | |
| 49 | | 和朝太子先徳連坐像 | 1 幅 | 絹本着色 | 江戸時代 | 富士吉田市 大正寺 | |
| 50 | | 源誓上人像 | 1 幅 | 紙本着色 | 江戸時代 18世紀 | 富士吉田市 如来寺 | |
| 51 | | 御伝鈔 | 1 冊 | 紙本墨書 | 室町時代 15世紀 | 甲州市 慶専寺 | |
| 52 | | 法然上人伝断簡 | 1 枚 | 紙本墨書 | 室町時代か | 甲州市 慶専寺 | |
| 53 | | 徳川四奉行連署証文 | 1 通 | 紙本墨書 | 江戸時代 慶長8年(1603) | 山梨市 万福寺 | |
| 54 | | 源誓受給文書ほか7通写し | 1 巻 | 紙本墨書 | 江戸時代 17世紀か | 山梨市 万福寺 | |
| 55 | | 「宝物目録」版木 | 1 枚 | 木製 | 江戸時代 | 甲州市 万福寺 | |
| 56 | | 馬蹄石銘 | 1 巻 | 紙本墨書 | 江戸時代 元禄5年(1692) | 甲州市 万福寺 | |
| 57 | | 甲州等力山万福教寺善杉記 | 1 巻 | 紙本墨書 | 江戸時代 享保9年(1724) | 甲州市 万福寺 | |
| 58 | | 太子御影 | 1 幅 | 紙本墨摺 | 江戸時代 18世紀 | 富士吉田市 如来寺 | |
| 59 | ◎ | 親鸞聖人絵伝 第一幅・第二幅 第三幅・第四幅 第五幅・第六幅 | 6 幅 | 絹本着色 | 南北朝時代 14世紀 | 京都府 西本願寺 | 10/12~10/28 10/30~11/11 11/13~11/25 |
| 60 | | 源誓上人絵伝(観音堂縁起絵) | 1 幅 | 絹本着色 | 南北朝時代 14世紀 | 東京藝術大学 | |
| 61 | | 聖徳太子絵伝 | 2 幅 | 絹本着色 | 鎌倉時代 14世紀 | 大阪府 四天王寺 | |
| 62 | | 万福寺祐順差配状 | 1 通 | 紙本墨書 | 戦国~江戸時代 16~17世紀 | 富士吉田市 正福寺 | |
| 63 | | 万福寺差配状・万福寺祐順寺号下附状 | 1 幅 | 紙本墨書 | 戦国時代 天正11年(1583)・ 天正13年(1585) | 富士吉田市 如来寺 | |
| 64 | | 八字名号 | 1 幅 | 絹本着色 | 室町時代 15~16世紀 | 富士吉田市 福源寺 | |
| 65 | | 阿弥陀如来立像(方便法身像) | 1 幅 | 絹本着色 | 室町時代 15世紀 | 富士吉田市 大正寺 | |
| 66 | | 阿弥陀如来立像 | 1 軀 | 木造漆箔玉眼 | 鎌倉時代 14世紀 | 富士吉田市 大正寺 | |
| 67 | | 和朝太子先徳連座像 | 1 幅 | 絹本着色 | 室町時代 15世紀 | 富士吉田市 福源寺 | |
| 68 | | 和朝太子先徳連座像 | 1 幅 | 絹本着色 | 室町時代 15世紀 | 富士吉田市 大正寺 | |
| 69 | | 聖徳太子教養像・七高僧像 | 2 幅 | 絹本着色 | 江戸時代 寛文8年(1668) | 富士吉田市 大正寺 | |
| 70 | | 聖徳太子絵伝 | 2 幅 | 絹本着色 | 江戸時代 19世紀 | 富士吉田市 正福寺 | |
| 71 | | 親鸞聖人絵伝 | 6 幅 | 紙本着色 | 江戸時代 17世紀 | 甲州市 三光寺 | |

【展示平面図】



※平面図 (10/12~10/28)

②シンボル展

i 大善寺不動明王像 一県下最大級の画像 修理後初公開—

【会 期】令和元年5月25日(土)～6月24日(月)

会期日数31日間、展示日数27日間

【主 催】山梨県立博物館

【会 場】企画展示室

【入場者数】4,150人

【担 当】学芸員 近藤暁子、海老沼真治

【概 要】

甲州市勝沼町の大善寺に伝わる不動明王像は、江戸時代 文化4年(1807)に横田汝圭によって描かれた、県内有数の大きさの絵画である。このほど本作は修理され、平成30年秋、薬師堂でお披露目がなされた。本展では、本作を寺外で初めて公開するとともに修理の過程についても触れ、文化財保存の大切さについても紹介した。

【関連イベント】

■ギャラリートーク

日時：5月26日(日)、6月1日(土)、6月9日(日)

各日15:00から30分程度

会場：企画展示室

■あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば「不動明王のぬり絵をしてみよう」

日時：6月23日(日)11:00から30分程度

会場：かいじあむ寺子屋



展示会ちらし

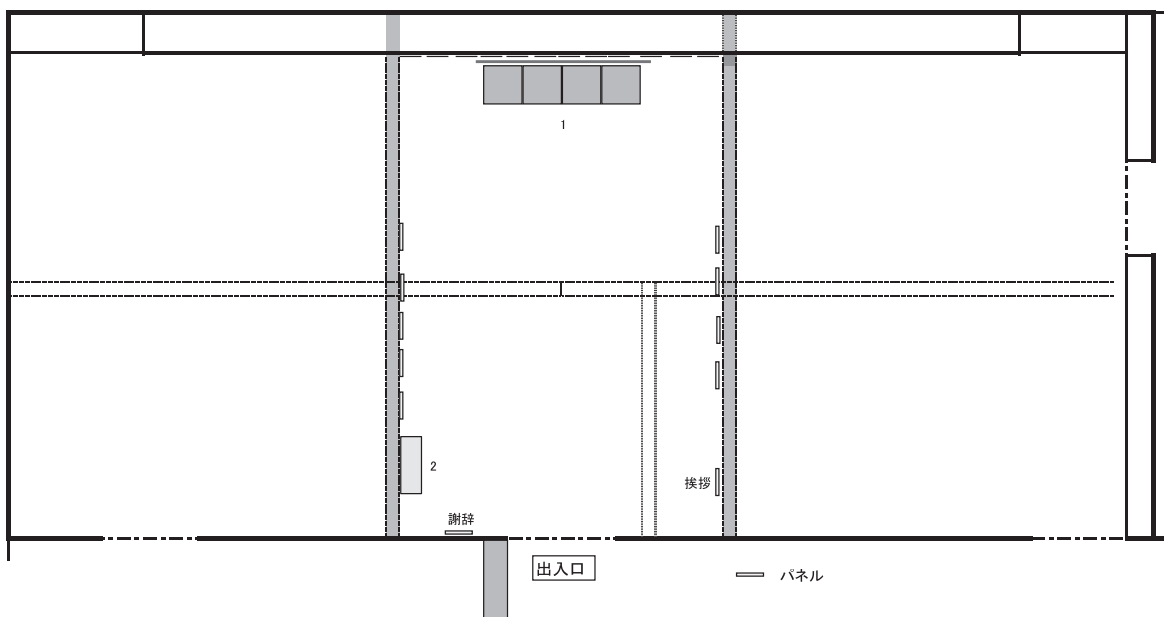


展示風景

【出品資料一覧】

| 番号 | 指定 | 資料名 | 員数 | 材質・技法 | 法量(cm) | 時代 | 所蔵 |
|----|-----|-------------------|-----|-------|---------------|------------|-----|
| 1 | 県指定 | 不動明王像 | 1 幅 | 紙本着色 | 縦453.0 横328.5 | 文化4年(1807) | 大善寺 |
| 2 | | 修理後の部材(旧裏打紙など)の一部 | 1 式 | | | | 大善寺 |

【展示平面図】



ii 甲州屋忠右衛門の冒険—ミナト・横浜を目指した商人たち—

【会 期】令和元年12月21日（土）～令和2年2月24日（月・振休）

会期日数66日、展示日数51日

【主 催】山梨県立博物館

【協 力】笛吹市教育委員会

【会 場】企画展示室

【入場者数】4,405人

【担 当】学芸員 小畑茂雄、山本倫弘

【概 要】

安政6年（1859）6月の横浜開港から160周年を迎えるにあたり、いち早く横浜に進出した「甲州商人」の代表的存在である甲州屋（篠原）忠右衛門を通じて、「甲州商人」の活動や激動する幕末・明治の社会のようすを紹介する展示として構成した。

【関連イベント】

■講演会「甲州屋忠右衛門とその系譜」

日時：2月1日（土）13：30～15：00

会場：生涯学習室

講師：齋藤康彦氏（山梨大学名誉教授）

■県民参画事業（わいわいミュージアム）「忠右衛門ゆかりの地を歩く」

日時：1月26日（日）9：30～12：30

会場：笛吹市石和町東油川・井戸地区（篠原家、妙油寺、井戸地区富士塚など）

講師：つなぐNPO

■古文書講座「甲州商人に関する古文書を読む」

日時：2月22日（土）13：30～15：00予定

（新型コロナウイルス感染防止のため中止）

会場：生涯学習室

■かいじあむ子ども工房「真綿をつくろう」

日時：2月8日（土）10：30～15：00

会場：エントランスロビー

■ギャラリートーク

日時：12月21日（土）、1月12日（日）、26日（日）、2月11日（火・祝日）

※2月24日（月・振休）も開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

各日15：00から1時間程度

会場：シンボル展示室

■あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「糸とり工女のおはなし」

日時：2月9日（日）11：00から30分程度

会場：かいじあむ寺子屋



展示会ちらし



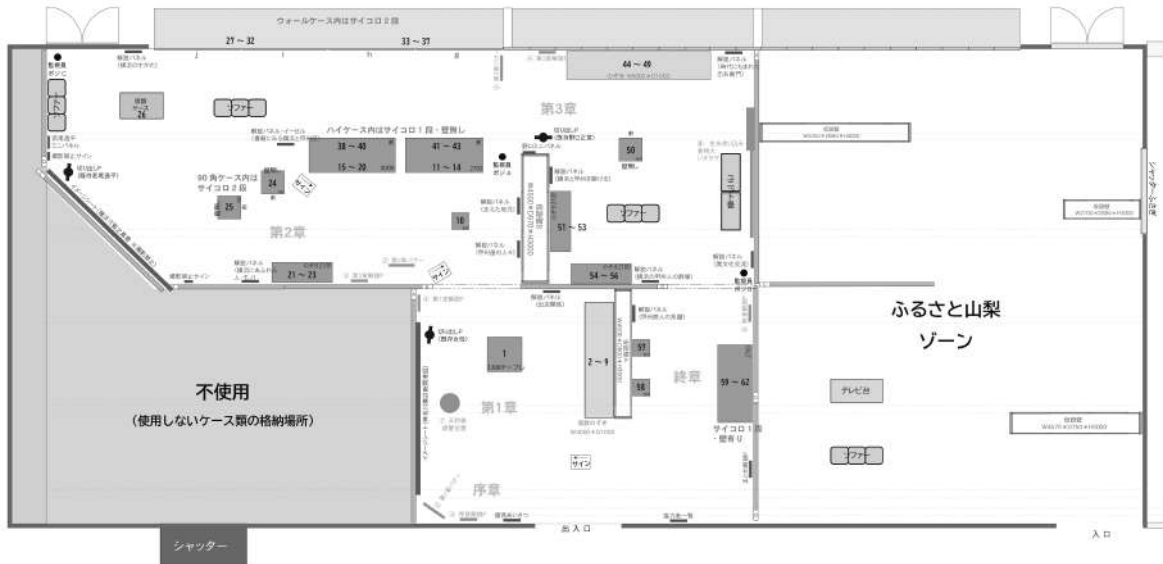
展示風景

【出品資料一覧】

| 番号 | 資料名 | 員数 | 文書群名 | 製作時期 | 所蔵者 |
|------------------------|--------------------------------------|----|----------|-----------------------|----------|
| 序章 横浜開港に立ちあがる「知命」の男 | | | | | |
| 第一章 冒険のはじまり～甲州屋の誕生～ | | | | | |
| いざ、横浜へ | | | | | |
| 1 | 神名川横浜新開港図 | 1 | - | 万延元年(1860) | 山梨県立博物館 |
| 2 | 懐往事談 | 1 | - | 明治28年(1895)11月25日 | 個人蔵 |
| 3 | 東八代郡志 | 1 | 甲州文庫 | 大正3年(1914)1月25日 | 山梨県立博物館 |
| 4 | 甲府御用御触書控 | 1 | 林貞夫氏旧蔵資料 | 安政5年(1858)11月 | 山梨県立博物館 |
| 5 | 横浜御開港に付外国人江甲州産物交易方願書控 | 1 | 篠原家文書 | 安政6年(1859)3月11日 | 山梨県立博物館 |
| 6 | 甲州屋建設の資金調達に関する書簡 | 3 | 篠原家文書 | 安政6年(1859)3月ごろ | 山梨県立博物館 |
| 7 | 忠右衛門・五郎右衛門の横浜拝借地家作振合図 | 1 | 篠原家文書 | 安政6年(1859)3月 | 山梨県立博物館 |
| 8 | 甲州産物会所普請下組帳 | 1 | 篠原家文書 | 安政6年(1859)4月3日 | 山梨県立博物館 |
| 9 | 神奈川出張起立記 | 1 | 篠原家文書 | 安政6年(1859)3月 | 山梨県立博物館 |
| 外国人との取引開始 | | | | | |
| 10 | 甲州屋印鑑 | 1 | 甲州文庫 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 |
| 11 | 甲州産物書上帳 | 1 | 篠原家文書 | 安政6年(1859)3月11日 | 山梨県立博物館 |
| 12 | 甲州生糸南京波松買請度に付伺上書 | 1 | 篠原家文書 | 安政6年(1859)6月8日 | 山梨県立博物館 |
| 13 | 甲州生糸トール買請度に付伺上書 | 4 | 篠原家文書 | 安政6年(1859)10月13日 | 山梨県立博物館 |
| 14 | 英人バルベルとの絹生糸商破談に付見本糸返上出入取願書 | 1 | 篠原家文書 | 安政6年(1859)9月19日 | 山梨県立博物館 |
| 甲州屋を支えた地域 | | | | | |
| 15 | 横浜芝屋清五郎へ掛かる生糸代金出入願書 | 1 | 甲州文庫 | 安政7年(1860)2月 | 山梨県立博物館 |
| 16 | 東八代郡富士見村略図 | 1 | 頼生文庫 | 明治14年(1881) | 山梨県立博物館 |
| 17 | 東八代郡町取調書 1 | 1 | 若尾資料 | 大正5年(1916)10月 | 山梨県立博物館 |
| 18 | 萬日記・農業日記 | 1 | 篠原家文書 | 安政7年(1860)～明治5年(1872) | 山梨県立博物館 |
| 19 | 横浜篠原忠右衛門より東油川村正次郎宛書簡(身上にも関わる後悔) | 1 | 篠原家文書 | 文久元年(1861)12月5日 | 山梨県立博物館 |
| 20 | 横浜篠原忠右衛門より東油川村正次郎宛書簡(「甲州種」の記載禁止) | 1 | 篠原家文書 | 慶応3年(1867)5月13日 | 山梨県立博物館 |
| 第二章 忠右衛門がみた幕末・維新期のヨコハマ | | | | | |
| 横浜にあふれる人とモノ | | | | | |
| 21 | 生糸売捌方規定連印之事 | 1 | 篠原家文書 | 安政6年(1859) | 山梨県立博物館 |
| 22 | 売込物並引取物相場表 | 1 | 篠原家文書 | 江戸～明治時代 | 山梨県立博物館 |
| 23 | 横浜町拝借地所御願濟世名前合写 | 1 | 篠原家文書 | 安政6年～文久2年(1859～1862) | 山梨県立博物館 |
| 24 | 生糸見本 | 1 | 篠原家文書 | 現代 | 山梨県立博物館 |
| 25 | 岩代国蚕種 | 1 | 篠原家文書 | 明治時代 | 山梨県立博物館 |
| 横浜のすがた | | | | | |
| 26 | 神奈川港御貿易場御開地御役屋敷並町々寺院社地ニ至る迄の大絵図 | 1 | 篠原家文書 | 安政6年(1859) | 山梨県立博物館 |
| 27 | 横浜明細全図 | 1 | 大木家文書 | 慶応4年(1868)春 | 山梨県立博物館 |
| 28 | 御貿易場 | 1 | - | 安政6年(1859)3月 | 横浜みなと博物館 |
| 29 | 新版横浜売込寿語録 | 1 | - | 明治3年(1870) | 横浜開港資料館 |
| 30 | 横浜市中に於て外国人生糸を見分る図 | 1 | - | 明治時代初期 | 横浜開港資料館 |
| 31 | 横浜開港見聞誌(復刻版) | 1 | - | 文久2年(1862) | 個人蔵 |
| 32 | 横浜新報もしほ草 | 16 | 甲州文庫 | 慶応4年(1868)～ | 山梨県立博物館 |
| 甲州屋の書簡からみる横浜 | | | | | |
| 33 | 横浜篠原直太郎より油川村庄次郎宛書簡(三千両もの費用の祭礼と招待) | 1 | 篠原家文書 | 万延元年(1860)5月11日 | 山梨県立博物館 |
| 34 | 横浜篠原忠右衛門より東油川村庄次郎宛書簡(横浜でのええじゃないか) | 1 | 篠原家文書 | 慶応3年(1867)11月20日 | 山梨県立博物館 |
| 35 | 横浜篠原忠右衛門より東油川村正次郎宛書簡(横浜は日本一安全の場所) | 1 | 篠原家文書 | 慶応4年(1868)1月18日 | 山梨県立博物館 |
| 36 | 横浜篠原忠右衛門より東油川村正次郎宛書簡(戊辰戦争戦況・横浜は「宝場」) | 1 | 篠原家文書 | 慶応4年(1868)1月23日 | 山梨県立博物館 |
| 37 | 横浜篠原忠右衛門より鶴瀬清右衛門ほか宛書簡(新政府軍横浜進駐) | 1 | 篠原家文書 | 慶応4年(1868)3月8日 | 山梨県立博物館 |
| 書簡にみる甲州屋－繁栄と情報力－ | | | | | |
| 38 | 横浜篠原忠右衛門より東油川村正次郎宛書簡(乗合取引で6000両) | 1 | 篠原家文書 | 文久3年(1863)10月26日 | 山梨県立博物館 |
| 39 | 横浜篠原忠右衛門より東油川村正次郎宛書簡(3万両の取引) | 1 | 篠原家文書 | 元治元年(1864)9月23日 | 山梨県立博物館 |
| 40 | 横浜篠原忠右衛門より東油川村正次郎宛書簡(謀りことは密なるをもって…) | 1 | 篠原家文書 | 慶応元年(1865)4月17日 | 山梨県立博物館 |
| したたかな「方便」 | | | | | |
| 41 | 生麦事件疵所調書 | 1 | 高室家資料 | 文久2年(1862)8月 | 山梨県立博物館 |

| | | | | | |
|---------------------|---------------------------------------|---|-----------|----------------------|----------|
| 42 | 篠原忠右衛門書簡(生麦事件で生糸売り指令) | 1 | 篠原家文書 | 文久2年(1862)8月22日 | 山梨県立博物館 |
| 43 | 横浜篠原忠右衛門より伊兵衛・安右衛門・松次郎宛書簡(生麦事件は方便) | 1 | 篠原家文書 | 文久2年(1862)8月22日 | 山梨県立博物館 |
| 第三章 時代を切り拓く、甲州商人の系譜 | | | | | |
| 時代の波にもまれた忠右衛門 | | | | | |
| 44 | 横浜篠原忠右衛門より東油川村正次郎宛書簡(蚕種下落で転機を迎えた忠右衛門) | 2 | 篠原家文書 | 明治3年(1870)・同6年(1873) | 山梨県立博物館 |
| 45 | 横浜篠原忠右衛門より東油川村正次郎宛書簡(両替屋) | 1 | 篠原家文書 | 明治元年(1868)8月11日 | 山梨県立博物館 |
| 46 | 横浜篠原忠右衛門より東油川村正次郎宛書簡(宿) | 1 | 篠原家文書 | 明治2年(1869)8月19日 | 山梨県立博物館 |
| 47 | 横浜篠原忠右衛門より東油川村正次郎宛書簡(鉄道乗車・天子到着) | 1 | 篠原家文書 | 明治5年(1872)9月11日 | 山梨県立博物館 |
| 48 | 横浜篠原直太郎より東油川村正次郎宛書簡(洋服屋) | 1 | 篠原家文書 | 明治5年(1872)11月6日 | 山梨県立博物館 |
| 49 | 陸中国岩手県菅下新鉱山開業願書 | 1 | 篠原家文書 | 明治7年(1874)1月13日 | 山梨県立博物館 |
| 50 | 横浜御免 生糸損金鏡 | 1 | 上野晴朗氏収集資料 | 明治時代 | 山梨県立博物館 |
| 栄光と蹉跎の舞台・横浜 | | | | | |
| 51 | 明治元年道中諸入用控帳 | 1 | 篠原家文書 | 明治元年(1868)11月14日 | 山梨県立博物館 |
| 52 | 横浜篠原忠右衛門より東油川村武左衛門・息正次郎宛書簡(くず糸は若尾逸平) | 1 | 篠原家文書 | 慶応元年(1865)2月9日 | 山梨県立博物館 |
| 53 | 若尾逸平 | 1 | - | 大正3年(1914)9月7日 | 山梨県立博物館 |
| 54 | 糸仕切書(若尾幾造作風間伊七宛) | 1 | 甲州文庫 | 明治9年(1876)11月9日 | 山梨県立博物館 |
| 55 | 風間伊七証文(芝屋清五郎作) | 1 | 甲州文庫 | 明治6年(1873)5月10日 | 山梨県立博物館 |
| 56 | 葡萄培養法摘要 | 1 | 頼生文庫 | 明治10年(1877)9月 | 山梨県立博物館 |
| 第三章 時代を切り拓く、甲州商人の系譜 | | | | | |
| 新たな冒険者たち | | | | | |
| 57 | 横浜貿易商十傑肖像 | 1 | | 明治25年(1892)10月4日 | 横浜市中心図書館 |
| 58 | 横浜山梨県人会報 第3号 | 1 | 甲州文庫 | 昭和5年(1930)1月 | 山梨県立博物館 |
| 59 | 横浜市全図 | 1 | 頼生文庫 | 大正15年(1926)4月5日 | 山梨県立博物館 |
| 60 | 京浜山梨県人ニュース 昭和9年6月号 | 1 | 甲州文庫 | 昭和9年(1934)6月1日 | 山梨県立博物館 |
| 61 | 山梨県人新聞 第1号 | 1 | 甲州文庫 | 昭和12年(1937)11月10日 | 山梨県立博物館 |
| 62 | 在浜山梨県人名録 | 1 | 若尾資料 | 大正14年(1925)4月 | 山梨県立博物館 |

【展示平面図】



(3) 展覧会関係刊行物

| | 名 称 | 発 刊 日 | 体 裁 |
|---|---|------------|---------------|
| 1 | 企画展「すごすぎる！ねこ展～ヒトとネコの出会いと共存の歴史～」 展示図録 | 令和1年7月13日 | A4変形版 163頁 |
| 2 | 企画展「法然上人絵伝～親鸞が追い求めた師の姿～」 展示図録 | 令和1年10月12日 | A4版 142頁 |
| 3 | シンボル展「大善寺不動明王像 一県下最大級の画像 修理後寺外初公開～」 リーフレット | 令和1年5月25日 | A4版 4頁 |
| 4 | シンボル展「甲州屋忠右衛門の冒険ーミナト・横浜を目指した商人たちー」 リーフレット | 令和1年12月21日 | A4版 4頁 |



1



2



3



4

第5章 企画交流事業

(1) 生涯学習サービス事業

① 講演会・講座・シンポジウム等

■講演会

| 開催年月日 | 講演者 | タイトル | 開催場所 | 参加者(人) |
|------------|------------------------------|--------------------------|-----------|--------|
| 令和1年7月20日 | 沖 昌之氏(猫写真家) | 「ねこ写真撮影のすごすぎる話」 | 県立博物館 | 91人 |
| 令和1年8月3日 | 田中 直樹氏(ココリコ) | 「ココリコ田中の動物これ知ってた?」 | 県総合教育センター | 340人 |
| 令和1年11月10日 | 井澤 英理子氏(県立美術館 学芸幹・学芸課長) | 「万福寺旧蔵本 法然上人絵伝の魅力」 | 県立博物館 | 76人 |
| 令和1年11月17日 | 岡 岩太郎氏(株式会社岡墨光堂 代表取締役) | 「文化財修理の世界 法然上人絵伝の修理によせて」 | 県立博物館 | 35人 |
| 令和1年11月23日 | 平 雅行氏(京都先端科学大学特任教授・大阪大学名誉教授) | 「法然のあゆみと親鸞」 | 県立博物館 | 185人 |
| 令和2年2月1日 | 齋藤 康彦氏(山梨大学名誉教授) | 「甲州屋忠右衛門とその系譜」 | 県立博物館 | 72人 |

■講座

| 開催年月日 | 講演者 | タイトル | 開催場所 | 参加者(人) |
|------------|---------------|------------------|-------|--------|
| 平成31年4月21日 | 守屋 正彦(当館館長) | 「甲斐源氏と密教文化2」 | 県立博物館 | 46人 |
| 令和1年6月16日 | 守屋 正彦(当館館長) | 「甲斐武田氏の美術1」 | 県立博物館 | 41人 |
| 令和1年8月18日 | 守屋 正彦(当館館長) | 「甲斐武田氏の美術2」 | 県立博物館 | 37人 |
| 令和1年12月15日 | 守屋 正彦(当館館長) | 「甲斐武田氏の美術3」 | 県立博物館 | 57人 |
| 令和2年1月19日 | 守屋 正彦(当館館長) | 「柳澤文化1」 | 県立博物館 | 53人 |
| 令和2年2月16日 | 守屋 正彦(当館館長) | 「柳澤文化2」 | 県立博物館 | 51人 |
| 平成31年4月27日 | 中野 賢治(当館学芸員) | 「古文書に親しむ①甲府編」 | 県立博物館 | 53人 |
| 令和1年5月25日 | 海老沼真治(当館学芸員) | 「古文書に親しむ①武田氏編」 | 県立博物館 | 58人 |
| 令和1年6月22日 | 山本 倫弘(当館学芸員) | 「富士山に関する古文書を読む」 | 県立博物館 | 58人 |
| 令和1年7月27日 | 小林 可奈(当館嘱託職員) | 「動物に関する古文書を読む」 | 県立博物館 | 47人 |
| 令和1年8月24日 | 小畑 茂雄(当館学芸員) | 「災害に関する古文書を読む」 | 県立博物館 | 58人 |
| 令和1年9月28日 | 山本 倫弘(当館学芸員) | 「山に関する古文書を読む」 | 県立博物館 | 46人 |
| 令和1年10月26日 | 海老沼真治(当館学芸員) | 「仏教に関する古文書を読む」 | 県立博物館 | 53人 |
| 令和1年11月30日 | 中野 賢治(当館学芸員) | 「食文化に関する古文書を読む」 | 県立博物館 | 45人 |
| 令和2年1月25日 | 小林 可奈(当館嘱託職員) | 「子年に関する古文書を読む」 | 県立博物館 | 48人 |
| 令和2年2月22日 | 小畑 茂雄(当館学芸員) | 「甲州商人に関する古文書を読む」 | 県立博物館 | 中止 |
| 令和1年5月12日 | — | 「古文書相談日 1」 | 県立博物館 | 4人 |
| 令和1年7月14日 | — | 「古文書相談日 2」 | 県立博物館 | 6人 |
| 令和1年9月8日 | — | 「古文書相談日 3」 | 県立博物館 | 4人 |
| 令和1年11月10日 | — | 「古文書相談日 4」 | 県立博物館 | 8人 |
| 令和2年1月12日 | — | 「古文書相談日 5」 | 県立博物館 | 4人 |

■かいじあむ講座

| 開催年月日 | 講演者 | タイトル | 開催場所 | 参加者(人) |
|---------------|---------------|---------------|-------|--------|
| 平成31年4月14日 | 中野 賢治 (当館学芸員) | 「甲府城下町に生きた人々」 | 県立博物館 | 38人 |
| 令和1年5月11日 | 小畑 茂雄 (当館学芸員) | 「古写真にみる近代甲府」 | 県立博物館 | 23人 |
| 講演会・講座等参加者数合計 | | | | 1,637人 |

②体験プログラム

| 日時 | 内容 | 開催場所 | 参加者(人) |
|------------|-------------------------------------|--------|--------|
| 平成31年4月20日 | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 4人 |
| 令和1年5月18日 | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 9人 |
| 令和1年6月15日 | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 0人 |
| 令和1年7月20日 | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 6人 |
| 令和1年8月17日 | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 0人 |
| 令和1年9月21日 | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 5人 |
| 令和1年10月19日 | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 16人 |
| 令和1年11月16日 | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 5人 |
| 令和1年12月21日 | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 7人 |
| 令和2年1月18日 | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 6人 |
| 令和2年2月15日 | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 10人 |
| 平成31年4月7日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「蓮の花を作ろう」 | 県立博物館 | 5人 |
| 平成31年4月14日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「武田信玄」 | 県立博物館 | 36人 |
| 平成31年4月21日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「県都甲府の500年のめんこを作ろう」 | 県立博物館 | 10人 |
| 平成31年4月28日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「紙コップでけん玉を作ろう」 | 県立博物館 | 9人 |
| 令和1年5月12日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「切り紙のかぶとを作ろう」 | 県立博物館 | 6人 |
| 令和1年5月19日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「第1回常設展クイズ」 | 県立博物館 | 3人 |
| 令和1年5月26日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「けん玉名人に挑戦しよう」 | 県立博物館 | 11人 |
| 令和1年6月2日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「あやとりで遊ぼう」 | 県立博物館 | 4人 |
| 令和1年6月9日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「折り紙で果物を作ろう」 | 県立博物館 | 12人 |
| 令和1年6月16日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 紙芝居「まぐろがまぐろになったわけ」 | 県立博物館 | 8人 |
| 令和1年6月23日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「不動明王像のぬり絵をしてみよう」 | 県立博物館 | 10人 |
| 令和1年6月30日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「夏を感じるちぎり絵ハガキを作ろう」 | 県立博物館 | 16人 |

| 日 時 | 内 容 | 開催場所 | 参加者(人) |
|------------|---|-------|--------|
| 令和1年7月7日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「笛吹市の七夕人形を作ろう」 | 県立博物館 | 10人 |
| 令和1年7月14日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「からくりおもちゃ『板返し』を作ろう」 | 県立博物館 | 35人 |
| 令和1年7月21日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「折りたたみうちわを作ろう」 | 県立博物館 | 31人 |
| 令和1年7月28日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「ねこのモチーフのモビールを作ろう」 | 県立博物館 | 22人 |
| 令和1年8月4日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「つまみ細工で髪飾りを作ろう」 | 県立博物館 | 15人 |
| 令和1年8月11日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「紙とんぼを作ろう」 | 県立博物館 | 20人 |
| 令和1年8月18日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 紙芝居「絵からとびだしたネコ」 | 県立博物館 | 54人 |
| 令和1年8月25日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「折り紙でねこ耳カチューシャを作ろう」 | 県立博物館 | 10人 |
| 令和1年9月1日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「紙飛行機をとばして山梨を知ろう」 | 県立博物館 | 20人 |
| 令和1年9月8日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「折り紙で菊を折ろう」 | 県立博物館 | 4人 |
| 令和1年9月15日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「動物の足形帖を作ろう」 | 県立博物館 | 6人 |
| 令和1年9月22日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 紙芝居「おはぎべたべた」 | 県立博物館 | 15人 |
| 令和1年9月29日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「折り紙で動物を折ろう」 | 県立博物館 | 8人 |
| 令和1年10月6日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「コスモスのとびだすカードを作ろう」 | 県立博物館 | 9人 |
| 令和1年10月13日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「はり絵で秋を感じよう」 | 県立博物館 | 13人 |
| 令和1年10月20日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「法然上人をさがせ！第1回」 | 県立博物館 | 7人 |
| 令和1年10月27日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「法然上人をさがせ！第2回」 | 県立博物館 | 9人 |
| 令和1年11月3日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「武田信玄～風の如く火の如く～」 | 県立博物館 | 46人 |
| 令和1年11月10日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「法然上人のプラバンを作ろう」 | 県立博物館 | 8人 |
| 令和1年11月17日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「からくりおもちゃ『板返し』を作ろう」 | 県立博物館 | 4人 |
| 令和1年11月24日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「法然上人をさがせ！第3回」 | 県立博物館 | 9人 |
| 令和1年12月1日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「紙皿ヨーヨーを作ろう」 | 県立博物館 | 3人 |
| 令和1年12月8日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「雪だるまを作ろう」 | 県立博物館 | 10人 |
| 令和1年12月15日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 紙芝居「もちもちの木」 | 県立博物館 | 9人 |
| 令和1年12月22日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「ネズミを学ぼう」 | 県立博物館 | 7人 |
| 令和2年1月5日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「子年の絵馬を作ろう」 | 県立博物館 | 7人 |
| 令和2年1月12日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「おこんぶくろを作ろう」 | 県立博物館 | 2人 |
| 令和2年1月19日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「甲州弁かるたで遊ぼう」 | 県立博物館 | 1人 |
| 令和2年1月26日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「紙コップでけん玉を作ろう」 | 県立博物館 | 13人 |

| 日 時 | 内 容 | 開催場所 | 参加者(人) |
|--------------|--------------------------------|-------|--------|
| 令和2年2月2日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「節分の豆入れを作ろう」 | 県立博物館 | 8人 |
| 令和2年2月9日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「糸とり工女のおはなし」 | 県立博物館 | 21人 |
| 令和2年2月16日 | あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば「飛び出すカードを作ろう」 | 県立博物館 | 11人 |
| 平成31年4月13日 | かいじあむ子ども工房「貴石画をつくろう」 | 県立博物館 | 18人 |
| 令和1年5月11日 | かいじあむ子ども工房「時の鐘のペーパークラフトをつくろう」 | 県立博物館 | 25人 |
| 令和1年6月8日 | かいじあむ子ども工房「蛇籠のペーパークラフトをつくろう」 | 県立博物館 | 19人 |
| 令和1年7月13日 | かいじあむ子ども工房「蘭玉クラフトでネコの指人形をつくろう」 | 県立博物館 | 132人 |
| 令和1年8月10日 | かいじあむ子ども工房「ウッドバーニングを体験しよう」 | 県立博物館 | 92人 |
| 令和1年8月17日 | ねこワークショップ | 県立博物館 | 20人 |
| 令和1年9月14日 | かいじあむ子ども工房「草木染めをしよう」 | 県立博物館 | 17人 |
| 令和1年11月9日 | かいじあむ子ども工房「ころ柿をつくろう」 | 県立博物館 | 36人 |
| 令和1年12月22日 | 「体験 綿から糸へ」 | 県立博物館 | 20人 |
| 令和2年1月11日 | かいじあむ子ども工房「小正月のまゆ玉団子をつくろう」 | 県立博物館 | 39人 |
| 令和2年2月8日 | かいじあむ子ども工房「真綿ををつくろう」 | 県立博物館 | 59人 |
| 令和1年5月4・5日 | かいじあむ子どもまつり | 県立博物館 | 1,011人 |
| 令和1年8月11日 | 小江戸甲府の夏まつり | 舞鶴城公園 | 103人 |
| 令和1年8月14・15日 | かいじあむの夏まつり | 県立博物館 | 1,344人 |
| 令和1年12月1日 | 歴史ウォーク | 県立博物館 | 14人 |
| 令和1年11月20日 | かいじあむの秋祭り | 県立博物館 | 647人 |
| 令和2年1月2・3日 | かいじあむのお正月 | 県立博物館 | 1,236人 |

体験プログラム参加者数合計

5,477人

③その他

展示交流員が常設展示の見どころを案内する「常設展スルーガイド」を毎週土曜日に実施した。

(2) 博学連携

①かいじあむティーチャーズクラブ

i 会員の状況

学校の先生方にティーチャーズクラブを知っていただくために、研究会や研修会の際に趣旨の説明と加入依頼を行った。また、学校見学における引率者については、ティーチャーズクラブ加入を勧める対応を行った。

ii 会員数（令和2年3月31日現在）

| 校種 | 会員数（人） |
|-------------|--------|
| 小学校 | 1,148 |
| 中学校 | 537 |
| 高等学校・特別支援学校 | 924 |
| 教育庁 | 59 |
| 総合教育センター | 35 |
| 教育事務所等 | 5 |
| 総計 | 2,708 |

iii 活動実績

- ・令和元年6月6日（木）第1回研究会 新学習指導要領と常設展示の関わり等
- ・令和元年8月7日（水）夏季研修会「博物館を活用した授業づくり研修会」
（教育センター・博物館の共催研修）
- ・令和2年2月3日（月）第2回研究会 実践発表等

iv 教員視察人数（ティーチャーズクラブ以外の視察も含む）

令和元年度 教員視察人数

（令和2年3月31日現在）

1 ティーチャーズクラブ視察人数

| 月別 | 常設展 | 企画展 | 月計 | 企画展等 |
|-----|-----|-----|-----|-----------------------------|
| 4月 | 19 | 11 | 30 | 県都甲府の500年展 |
| 5月 | 40 | 24 | 64 | 県都甲府の500年展、シンボル展（大善寺 不動明王像） |
| 6月 | 27 | 0 | 27 | 県都甲府の500年展、シンボル展（大善寺 不動明王像） |
| 7月 | 26 | 53 | 79 | ねこ展 |
| 8月 | 43 | 97 | 140 | ねこ展 |
| 9月 | 4 | 7 | 11 | ねこ展 |
| 10月 | 25 | 15 | 40 | 法然上人絵伝展 |
| 11月 | 7 | 19 | 26 | 法然上人絵伝展 |
| 12月 | 4 | 0 | 4 | シンボル展（甲州屋忠右衛門の冒険） |
| 1月 | 13 | 0 | 13 | シンボル展（甲州屋忠右衛門の冒険） |
| 2月 | 7 | 0 | 7 | シンボル展（甲州屋忠右衛門の冒険） |
| 3月 | 0 | 0 | 0 | 北斎漫画展 |
| 合計 | 215 | 226 | 441 | ① |

※5・6・1・2月の常設展人数は、シンボル展入場者も含む

2 教育センター視察人数

| 月別 | 常設展 | 企画展 | 月計 | 企画展等 |
|-----|-----|-----|-----|-----------------------------|
| 4月 | 23 | 13 | 36 | 県都甲府の500年展 |
| 5月 | 6 | 1 | 7 | 県都甲府の500年展、シンボル展（大善寺 不動明王像） |
| 6月 | 8 | 0 | 8 | 県都甲府の500年展、シンボル展（大善寺 不動明王像） |
| 7月 | 10 | 88 | 98 | ねこ展 |
| 8月 | 37 | 137 | 174 | ねこ展 |
| 9月 | 0 | 2 | 2 | ねこ展 |
| 10月 | 2 | 7 | 9 | 法然上人絵伝展 |
| 11月 | 0 | 3 | 3 | 法然上人絵伝展 |
| 12月 | 1 | 0 | 1 | シンボル展（甲州屋忠右衛門の冒険） |
| 1月 | 8 | 0 | 8 | シンボル展（甲州屋忠右衛門の冒険） |
| 2月 | 9 | 0 | 9 | シンボル展（甲州屋忠右衛門の冒険） |
| 3月 | 0 | 0 | 0 | 北斎漫画展 |
| 合計 | 104 | 251 | 355 | ② |

※5・6・1・2月の常設展人数は、シンボル展入場者も含む

3 校外学習の下見人数

| 月別 | 常設展 | 企画展 | 月計 | 企画展等 |
|-----|-----|-----|-----|-----------------------------|
| 4月 | 17 | 3 | 20 | 県都甲府の500年展 |
| 5月 | 4 | 0 | 4 | 県都甲府の500年展、シンボル展（大善寺 不動明王像） |
| 6月 | 21 | 0 | 21 | 県都甲府の500年展、シンボル展（大善寺 不動明王像） |
| 7月 | 40 | 33 | 73 | ねこ展 |
| 8月 | 49 | 38 | 87 | ねこ展 |
| 9月 | 1 | 0 | 1 | ねこ展 |
| 10月 | 0 | 0 | 0 | 法然上人絵伝展 |
| 11月 | 2 | 0 | 2 | 法然上人絵伝展 |
| 12月 | 2 | 0 | 2 | シンボル展（甲州屋忠右衛門の冒険） |
| 1月 | 0 | 0 | 0 | シンボル展（甲州屋忠右衛門の冒険） |
| 2月 | 1 | 0 | 1 | シンボル展（甲州屋忠右衛門の冒険） |
| 3月 | 0 | 0 | 0 | 北斎漫画展 |
| 合計 | 137 | 74 | 211 | ③ |

※5・6・1・2月の常設展人数は、シンボル展入場者も含む

4 教員の研修

| 名 称 | 常設 | 企画 | 計 |
|------------------|----|----|----|
| 第1回ティーチャーズクラブ研究会 | 10 | 0 | 10 |
| 博物館を活用した授業づくり研修会 | 11 | 11 | 22 |
| 初任者研修 | 55 | 0 | 55 |
| 第2回ティーチャーズクラブ研究会 | 8 | 0 | 8 |
| 合 計 | 84 | 11 | 95 |

④

5 その他の視察

| 内 訳 | 常設 | 企画 | 計 |
|-------------------|----|----|----|
| 南都留郡学校運営研究会 | 17 | 17 | 34 |
| 大月市学校運営委員会 | 7 | 7 | 14 |
| インターンシップの観察 | 4 | 1 | 5 |
| 山梨県教育会一宮支部【10/21】 | 0 | 9 | 9 |
| 合 計 | 28 | 34 | 62 |

⑤

| | | | |
|-----------|--|--|-------|
| ①+②+③+④+⑤ | | | 1,164 |
|-----------|--|--|-------|

②授業の一環としての博物館利用

| | 来館日時 | 学 校 名 | 人数(人) | | | 来館日時 | 学 校 名 | 人数(人) | | |
|----|---------------|-----------|-------|----|--|------|--------------|--------------------|-----|----|
| | | | 児童・生徒 | 引率 | | | | 児童・生徒 | 引率 | |
| 1 | 平成31年4月10日(水) | 山梨県立大学 | 115 | 17 | | 41 | 令和1年6月19日(水) | 目黒第七中学校 | 45 | 7 |
| 2 | 平成31年4月11日(木) | 早川中学校 | 5 | 4 | | 42 | 令和1年6月21日(金) | 増徳南小学校 | 21 | 9 |
| 3 | 平成31年4月22日(月) | 松商学園高校 | 34 | 2 | | 43 | 令和1年6月22日(土) | 目黒第九中学校 | 58 | 7 |
| 4 | 平成31年4月24日(水) | 南部中学校 | 59 | 6 | | 44 | 令和1年6月29日(土) | 健康科学大学 | 38 | 2 |
| 5 | 平成31年4月24日(水) | 丹波中学校 | 8 | 5 | | 45 | 令和1年6月29日(土) | 目黒第十一中学校 | 68 | 11 |
| 6 | 平成31年4月26日(金) | 芦花高校 | 273 | 13 | | 46 | 令和1年7月4日(木) | 目黒大島中学校 | 136 | 15 |
| 7 | 令和1年5月8日(水) | 韮崎東中学校 | 5 | 0 | | 47 | 令和1年7月5日(金) | 須玉小学校 | 40 | 3 |
| 8 | 令和1年5月9日(木) | 敷島中学校 | 10 | 1 | | 48 | 令和1年7月10日(水) | 山梨大学教育学部附属中学校 | 30 | 1 |
| 9 | 令和1年5月9日(木) | 谷村第一小学校 | 67 | 4 | | 49 | 令和1年7月21日(日) | 山梨学院大学 | 36 | 0 |
| 10 | 令和1年5月10日(金) | 甲斐清和高等学校 | 131 | 4 | | 50 | 令和1年7月21日(日) | 誠心幼稚園 | 17 | 7 |
| 11 | 令和1年5月10日(金) | 宝小学校 | 22 | 2 | | 51 | 令和1年7月22日(月) | 中国の中学校 | 36 | 6 |
| 12 | 令和1年5月10日(金) | 富士豊茂小学校 | 32 | 2 | | 52 | 令和1年7月25日(木) | 松里児童クラブ | 21 | 5 |
| 13 | 令和1年5月10日(金) | 勝山小学校 | 1 | 2 | | 53 | 令和1年7月25日(木) | 山梨学院小学校 | 25 | 2 |
| 14 | 令和1年5月10日(金) | 秋山中学校 | 13 | 4 | | 54 | 令和1年7月26日(金) | 山梨学院小学校 | 28 | 2 |
| 15 | 令和1年5月10日(金) | 竜王北中学校 | 4 | 0 | | 55 | 令和1年7月26日(金) | 神金児童クラブ | 10 | 4 |
| 16 | 令和1年5月10日(金) | 白根御勤使中学校 | 6 | 0 | | 56 | 令和1年7月27日(土) | 中国の中学生 | 31 | 5 |
| 17 | 令和1年5月10日(金) | 増徳中学校 | 3 | 0 | | 57 | 令和1年7月31日(水) | 山梨YMCA学童保育プラットフォーム | 17 | 2 |
| 18 | 令和1年5月11日(土) | 山中湖中学校 | 4 | 0 | | 58 | 令和1年8月1日(木) | 大藤児童クラブ | 18 | 4 |
| 19 | 令和1年5月16日(木) | 櫛形中学校 | 9 | 1 | | 59 | 令和1年8月1日(木) | 山梨YMCA学童保育プラットフォーム | 16 | 2 |
| 20 | 令和1年5月16日(木) | 若草中学校 | 4 | 0 | | 60 | 令和1年8月2日(金) | 山梨YMCA学童保育プラットフォーム | 12 | 3 |
| 21 | 令和1年5月16日(木) | 双葉中学校 | 31 | 2 | | 61 | 令和1年8月3日(土) | 中国の中学生 | 31 | 4 |
| 22 | 令和1年5月16日(木) | 白根巨摩中学校 | 4 | 0 | | 62 | 令和1年8月5日(月) | 塩山南児童クラブ | 49 | 8 |
| 23 | 令和1年5月16日(木) | 押原中学校 | 5 | 1 | | 63 | 令和1年8月12日(月) | 國學院大學 | 34 | 2 |
| 24 | 令和1年5月17日(金) | 田富中学校 | 25 | 1 | | 64 | 令和1年8月14日(水) | 愛宕保育園学童保育 | 9 | 2 |
| 25 | 令和1年5月17日(金) | 上野原西中学校 | 78 | 6 | | 65 | 令和1年8月14日(水) | 聖愛幼稚園 | 19 | 3 |
| 26 | 令和1年5月17日(金) | 竜王中学校 | 20 | 1 | | 66 | 令和1年8月15日(木) | 塩山北児童クラブ | 13 | 4 |
| 27 | 令和1年5月22日(水) | 東桂中学校 | 66 | 6 | | 67 | 令和1年8月19日(月) | 塩山西児童クラブ | 40 | 9 |
| 28 | 令和1年5月22日(水) | 下山小学校 | 16 | 2 | | 68 | 令和1年8月21日(水) | 玉宮児童クラブ | 7 | 3 |
| 29 | 令和1年5月23日(木) | 中央高等学校通信制 | 34 | 24 | | 69 | 令和1年8月30日(金) | 吉田西小学校 | 45 | 4 |
| 30 | 令和1年5月24日(金) | 小立小学校 | 42 | 3 | | 70 | 令和1年8月30日(金) | 中央児童相談所 | 9 | 6 |
| 31 | 令和1年5月24日(金) | 甲府城西高校 | 36 | 2 | | 71 | 令和1年8月31日(土) | 目黒区立駒場小学校 | 73 | 6 |
| 32 | 令和1年5月24日(金) | 鳥沢小学校 | 1 | 1 | | 72 | 令和1年9月4日(水) | 羽黒小学校 | 57 | 4 |
| 33 | 令和1年5月24日(金) | 須玉中学校 | 3 | 1 | | 73 | 令和1年9月4日(水) | 相川小学校 | 68 | 5 |
| 34 | 令和1年5月31日(金) | 笛吹高校 | 264 | 12 | | 74 | 令和1年9月5日(木) | 貢川小学校 | 55 | 5 |
| 35 | 令和1年6月1日(土) | 成城大学 | 11 | 0 | | 75 | 令和1年9月5日(木) | 伊勢小学校 | 45 | 4 |
| 36 | 令和1年6月5日(水) | 富河小学校 | 12 | 2 | | 76 | 令和1年9月6日(金) | ふじざくら支援学校 | 15 | 14 |
| 37 | 令和1年6月7日(金) | 第三日暮里小学校 | 60 | 5 | | 77 | 令和1年9月20日(金) | 丹波小学校 | 5 | 4 |
| 38 | 令和1年6月12日(水) | 目黒中央中学校 | 158 | 23 | | | | | | |
| 39 | 令和1年6月12日(水) | 富士河口湖高等学校 | 178 | 11 | | | | | | |
| 40 | 令和1年6月12日(水) | 吉田高等学校 | 6 | 1 | | | | | | |

| | 来館日時 | 学 校 名 | 人数(人) | | | 来館日時 | 学 校 名 | 人数(人) | |
|----|---------------|----------|-------|----|-----|---------------|----------|-------|-----|
| | | | 児童・生徒 | 引率 | | | | 児童・生徒 | 引率 |
| 78 | 令和1年9月20日(金) | 西浜小学校 | 10 | 3 | 98 | 令和1年10月18日(金) | 豊富小学校 | 60 | 5 |
| 79 | 令和1年9月22日(日) | 都留文科大学 | 7 | 1 | 99 | 令和1年10月24日(木) | 駿台甲府中学校 | 6 | 0 |
| 80 | 令和1年10月2日(水) | 吉田小学校 | 103 | 7 | 100 | 令和1年10月25日(金) | 竜王西小学校 | 63 | 4 |
| 81 | 令和1年10月3日(木) | 甲府東小学校 | 53 | 4 | 101 | 令和1年10月25日(金) | 韮崎北東小学校 | 76 | 5 |
| 82 | 令和1年10月4日(金) | 岩手小学校 | 10 | 4 | 102 | 令和1年10月30日(水) | 大里小学校 | 81 | 5 |
| 83 | 令和1年10月4日(金) | 中道北小学校 | 24 | 2 | 103 | 令和1年10月31日(木) | 大國小学校 | 87 | 6 |
| 84 | 令和1年10月9日(水) | 富士小学校 | 16 | 3 | 104 | 令和1年10月31日(木) | 白州中学校 | 15 | 3 |
| 85 | 令和1年10月10日(木) | 八代小学校 | 68 | 5 | 105 | 令和1年10月31日(木) | 猿橋中学校 | 56 | 7 |
| 86 | 令和1年10月10日(木) | 里垣小学校 | 50 | 5 | 106 | 令和1年11月6日(水) | 駿台甲府小学校 | 64 | 4 |
| 87 | 令和1年10月10日(木) | 神金・玉宮小学校 | 20 | 7 | 107 | 令和1年11月13日(水) | 日川高等学校 | 42 | 2 |
| 88 | 令和1年10月10日(木) | 千塚小学校 | 65 | 5 | 108 | 令和1年11月14日(木) | 甲斐清和高等学校 | 36 | 2 |
| 89 | 令和1年10月10日(木) | 日下部小学校 | 70 | 4 | 109 | 令和1年11月30日(土) | 都留文科大学 | 36 | 1 |
| 90 | 令和1年10月11日(金) | 舞鶴小学校 | 46 | 4 | 110 | 令和2年1月9日(木) | 帝京学園短期大学 | 9 | 1 |
| 91 | 令和1年10月11日(金) | 朝日小学校 | 21 | 3 | 111 | 令和2年1月22日(水) | 身延小学校 | 36 | 4 |
| 92 | 令和1年10月11日(金) | 善誘館小学校 | 26 | 2 | 112 | 令和2年1月30日(木) | 双葉東小学校 | 111 | 8 |
| 93 | 令和1年10月11日(金) | 玉諸小学校 | 126 | 8 | 113 | 令和2年1月31日(金) | 御坂西小学校 | 88 | 6 |
| 94 | 令和1年10月16日(水) | 増穂小学校 | 84 | 6 | 114 | 令和2年2月21日(金) | わかば保育園 | 16 | 3 |
| 95 | 令和1年10月17日(木) | 竜王東小学校 | 51 | 3 | | | | | |
| 96 | 令和1年10月17日(木) | 春日居小学校 | 79 | 4 | | 小 計 | | 4,989 | 504 |
| 97 | 令和1年10月18日(金) | 田富北小学校 | 46 | 3 | | 総 計 | | 5,493 | |

③出前授業

■出前授業実施一覧

| | 実施日 | 主 催 | 会 場 | 内 容 | 担当職員 | 人数 |
|----|---------------|-----------------|----------------|---------------------|-----------|-----|
| 1 | 平成31年4月11日(木) | 笛吹市立石和西小学校 | 笛吹市立石和西小学校 | 修学旅行事前学習(鎌倉) | 村田裕紀・山本倫弘 | 57 |
| 2 | 平成31年4月18日(木) | 笛吹市立石和東小学校 | 笛吹市立石和東小学校 | 修学旅行事前学習(鎌倉) | 村田裕紀・山本倫弘 | 28 |
| 3 | 平成31年4月24日(水) | 山梨県立富士河口湖高等学校 | 山梨県立富士河口湖高等学校 | 山梨の自然と人の関わり | 森原明廣・村田裕紀 | 180 |
| 4 | 平成31年4月26日(金) | 上野原市立上野原西小学校 | 上野原市立上野原西小学校 | 修学旅行事前学習(鎌倉) | 村田裕紀・山本倫弘 | 65 |
| 5 | 令和1年5月13日(月) | 富士吉田市立下吉田第一小学校 | 富士吉田市立下吉田第一小学校 | 修学旅行事前学習(鎌倉) | 村田裕紀 | 10 |
| 6 | 令和1年5月17日(金) | 甲府市立東小学校 | 甲府市立東小学校 | 修学旅行事前学習(鎌倉) | 村田裕紀 | 67 |
| 7 | 令和1年5月17日(金) | 山梨県立甲府城西高等学校 | 山梨県立甲府城西高等学校 | 県立博物館へ行く | 森原明廣 | 30 |
| 8 | 令和1年5月22日(水) | 山梨県立大学 | 山梨県立大学 | 文化財と観光振興 | 森原明廣 | 40 |
| 9 | 令和1年5月24日(金) | 山梨県立笛吹高等学校 | 山梨県立笛吹高等学校 | 博物館オリエンテーション | 村田裕紀 | 272 |
| 10 | 令和1年6月12日(水) | 山梨県立上野原高等学校 | 山梨県立上野原高等学校 | 博物館のしごと | 森原明廣 | 120 |
| 11 | 令和1年6月13日(木) | 甲斐市立竜王西小学校 | 甲斐市立竜王西小学校 | 明治40年の大水害 | 村田裕紀・小畑茂雄 | 128 |
| 12 | 令和1年6月13日(木) | 南部町立万沢小学校・富河小学校 | 南部町立万沢小学校 | 修学旅行事前学習(鎌倉) | 姫野泰彦 | 17 |
| 13 | 令和1年6月20日(木) | 山梨学院短期大学 | 山梨学院短期大学 | 甲府開府500年 山梨甲府の歴史を学ぶ | 中野賢治 | 230 |
| 14 | 令和1年6月21日(金) | 富士川町立鯉沢中学校 | 富士川町立鯉沢中学校 | 甲府空襲について知ろう | 村田裕紀 | 67 |
| 15 | 令和1年7月1日(月) | 富士川町立増穂小学校 | 富士川町立増穂小学校 | 富士川舟運をさぐる | 姫野泰彦・村田裕紀 | 91 |
| 16 | 令和1年7月5日(金) | 甲斐清和高等学校 | 甲斐清和高等学校 | 甲府からみた山梨の歴史 | 村田裕紀・山本倫弘 | 50 |
| 17 | 令和1年7月18日(木) | 身延町立下山小学校 | 身延町立下山小学校 | 修学旅行事前学習(鎌倉) | 村田裕紀 | 16 |
| 18 | 令和1年8月19日(月) | 峡南教育研究協議会 | かじかざわ児童センター | 古文書を読んでみよう | 山本倫弘 | 45 |
| 19 | 令和1年10月2日(水) | 山梨県立笛吹高等学校 | 山梨県立笛吹高等学校 | 山梨にも戦争があった | 村田裕紀・小畑茂雄 | 263 |
| 20 | 令和1年10月7日(月) | 山梨県立日川高等学校 | 山梨県立日川高等学校 | 職業人と語る(富士山分野) | 森原明廣・村田裕紀 | 25 |

| | 実施日 | 主催 | 会場 | 内容 | 担当職員 | 人数 |
|----|---------------|-------------|-------------|---------------------|----------------|-----|
| 21 | 令和1年10月16日(水) | 甲斐市立竜王西小学校 | 甲斐市立竜王西小学校 | 昔から今へと続くまちづくり(信玄堤) | 村田裕紀・中野賢治 | 64 |
| 22 | 令和1年10月23日(水) | 山梨県立韮崎高等学校 | 山梨県立韮崎高等学校 | 自己を見つめ未来を拓く体験学習サポート | 森原明廣・姫野泰彦 | 20 |
| 23 | 令和1年11月6日(水) | 甲斐市立竜王西小学校 | 甲斐市立竜王西小学校 | 富士川舟運 | 中野賢治・村田裕紀 | 64 |
| 24 | 令和1年11月8日(金) | 笛吹市立春日居小学校 | 笛吹市立春日居小学校 | 昔の道具とくらし | 姫野泰彦・村田裕紀・丸尾依子 | 63 |
| 25 | 令和1年11月15日(金) | 笛吹市立石和北小学校 | 笛吹市立石和北小学校 | 昔の道具とくらし | 姫野泰彦・村田裕紀 | 30 |
| 26 | 令和1年11月27日(水) | 甲府市立相川小学校 | 甲府市立相川小学校 | 昔の道具とくらし | 姫野泰彦・村田裕紀・丸尾依子 | 69 |
| 27 | 令和1年11月29日(金) | 甲州市立井尻小学校 | 甲州市立井尻小学校 | 昔の道具とくらし | 姫野泰彦・村田裕紀 | 17 |
| 28 | 令和1年12月4日(水) | 甲府市立羽黒小学校 | 甲府市立羽黒小学校 | 昔の道具とくらし | 姫野泰彦・村田裕紀・丸尾依子 | 56 |
| 29 | 令和1年12月5日(木) | 甲府市立大里小学校 | 甲府市立大里小学校 | 昔の道具とくらし | 姫野泰彦・村田裕紀・丸尾依子 | 81 |
| 30 | 令和1年12月5日(木) | 笛吹市立富士見小学校 | 笛吹市立富士見小学校 | 昔の道具とくらし | 姫野泰彦・村田裕紀 | 57 |
| 31 | 令和1年12月6日(金) | 甲府市立国母小学校 | 甲府市立国母小学校 | 昔の道具とくらし | 姫野泰彦・村田裕紀・丸尾依子 | 69 |
| 32 | 令和1年12月9日(月) | 笛吹市立石和南小学校 | 笛吹市立石和南小学校 | 昔の道具とくらし | 姫野泰彦・村田裕紀・丸尾依子 | 47 |
| 33 | 令和1年12月11日(水) | 甲州市立勝沼小学校 | 甲州市立勝沼小学校 | 昔の道具とくらし | 姫野泰彦・村田裕紀・丸尾依子 | 26 |
| 34 | 令和1年12月12日(木) | 中央市立玉穂中学校 | 中央市立玉穂中学校 | 県内巡りの見所 | 村田裕紀 | 125 |
| 35 | 令和2年1月16日(木) | 甲府市立東小学校 | 甲府市立東小学校 | 昔の道具とくらし | 姫野泰彦・村田裕紀 | 56 |
| 36 | 令和2年1月22日(水) | 山梨県立市川高等学校 | 山梨県立市川高等学校 | 開国と明治維新 | 村田裕紀・小畑茂雄 | 134 |
| 37 | 令和2年1月24日(金) | 山梨学院幼稚園 | 山梨学院幼稚園 | ぼくたちわたしたちの住む日本 | 姫野泰彦・村田裕紀 | 94 |
| 38 | 令和2年1月24日(金) | 笛吹市立御坂東小学校 | 笛吹市立御坂東小学校 | 昔の道具とくらし | 姫野泰彦・村田裕紀 | 15 |
| 39 | 令和2年1月27日(月) | 上野原市立秋山小学校 | 上野原市立秋山小学校 | 昔の道具とくらし | 村田裕紀 | 10 |
| 40 | 令和2年1月31日(金) | 山梨市立加納岩小学校 | 山梨市立加納岩小学校 | 昔の道具とくらし | 姫野泰彦・村田裕紀 | 61 |
| 41 | 令和2年2月10日(月) | 都留市立谷村第二小学校 | 都留市立谷村第二小学校 | 昔の道具とくらし | 姫野泰彦・村田裕紀 | 18 |
| 42 | 令和2年2月13日(木) | 笛吹市立境川小学校 | 笛吹市立境川小学校 | 修学旅行事前学習(鎌倉) | 姫野泰彦・村田裕紀 | 26 |
| 43 | 令和2年2月13日(木) | 笛吹市立石和東小学校 | 笛吹市立石和東小学校 | 修学旅行事前学習(鎌倉) | 姫野泰彦・村田裕紀 | 33 |
| 44 | 令和2年2月14日(金) | 韮崎市立韮崎小学校 | 韮崎市立韮崎小学校 | 修学旅行事前学習(鎌倉) | 姫野泰彦・村田裕紀 | 69 |
| 45 | 令和2年2月14日(金) | 甲斐市立竜王北小学校 | 甲斐市立竜王北小学校 | 修学旅行事前学習(鎌倉) | 姫野泰彦・村田裕紀 | 75 |
| 46 | 令和2年2月17日(月) | 甲府市立相川小学校 | 甲府市立相川小学校 | 修学旅行事前学習(鎌倉) | 村田裕紀 | 67 |
| 47 | 令和2年2月17日(月) | 山梨県立日川高等学校 | 山梨県立日川高等学校 | 職業人と語る(富士山分野) | 姫野泰彦 | 25 |
| 48 | 令和2年2月20日(木) | 笛吹市立石和東小学校 | 笛吹市立石和東小学校 | 昔の道具とくらし | 姫野泰彦・村田裕紀 | 19 |
| 49 | 令和2年2月27日(木) | 笛吹市立八代小学校 | 笛吹市立八代小学校 | 修学旅行事前学習(鎌倉) | 村田裕紀 | 74 |
| 50 | 令和2年3月2日(月) | 甲州市立井尻小学校 | 甲州市立井尻小学校 | 昔から今へと続くまちづくり(信玄堤) | 姫野泰彦・村田裕紀 | 22 |
| 51 | 令和2年3月7日(土) | 山梨県立笛吹高等学校 | 山梨県立笛吹高等学校 | 郷土研究 | 姫野泰彦 | 4 |

出前授業利用人数 3,391人

④教育センター・その他の団体との連携

■実施一覧

| | 実施日 | 主 催 | 会 場 | 内 容 | 担当職員 | 人数 |
|----|---------------|---------------------|---------|------------------------------|----------------|----|
| 1 | 平成31年4月4日(木) | 横浜市歴史博物館もりあげ隊 | 山梨県立博物館 | 常設展・企画展「県都甲府の500年」 | 姫野泰彦・村田裕紀 | 49 |
| 2 | 平成31年4月25日(木) | 山梨県教育会笛吹支部 | 山梨県立博物館 | 企画展「県都甲府の500年」 | 中野賢治 | 30 |
| 3 | 令和1年5月10日(金) | ことぶき勸学院(峡東教室) | 山梨県立博物館 | 企画展「県都甲府の500年」 | 姫野泰彦・中野賢治 | 15 |
| 4 | 令和1年5月10日(金) | 山梨近代人物館 | 山梨県立博物館 | 学芸員・教育主事からの講話、学校対応見学、受付接客体験等 | 姫野泰彦・小畑茂雄・山本倫弘 | 2 |
| 5 | 令和1年6月4日(火) | 山梨近代人物館 | 山梨県立博物館 | 学芸員・教育主事からの講話、学校対応見学、受付接客体験等 | 姫野泰彦・小畑茂雄・山本倫弘 | 2 |
| 6 | 令和1年6月6日(木) | ティーチャーズクラブ | 山梨県立博物館 | 第1回ティーチャーズクラブ研究会 | 姫野泰彦・村田裕紀・丸尾依子 | 10 |
| 7 | 令和1年6月11日(火) | ことぶき勸学院(峡南教室) | 山梨県立博物館 | 山梨の歴史 | 森原明廣 | 30 |
| 8 | 令和1年6月14日(金) | ことぶき勸学院(中北教室) | 山梨県立博物館 | シンボル展「大善寺 不動明王像」 | 姫野泰彦・近藤暁子 | 26 |
| 9 | 令和1年7月26日(金) | ことぶき勸学院(甲府教室) | 山梨県立博物館 | 企画展「ねこ展」 | 姫野泰彦・丸尾依子 | 44 |
| 10 | 令和1年8月7日(水) | 山梨県総合教育センター・山梨県立博物館 | 山梨県立博物館 | 博物館を活用した授業づくり研修会 | 山本倫弘・山田英祐 | 10 |
| 11 | 令和1年8月8日(木) | 南都留郡学校運営研究会 | 山梨県立博物館 | 常設展・企画展・バックヤード視察 | 姫野泰彦 | 34 |
| 12 | 令和1年8月8日(木) | 大月市学校運営研究会 | 山梨県立博物館 | 常設展・企画展視察 | 姫野泰彦 | 7 |
| 13 | 令和1年9月4日(水) | 丹波山小菅地区教室協議会 | 丹波山中学校 | 丹波・小菅の歴史 | 森原明廣 | 15 |
| 14 | 令和1年9月24日(火) | ことぶき勸学院(東山梨教室) | 東山梨合同庁舎 | 山梨の歴史 | 森原明廣 | 15 |
| 15 | 令和1年9月26日(木) | 府中市立府中第十中学校文化委員 | 山梨県立博物館 | 常設展視察 | 姫野泰彦 | 41 |
| 16 | 令和1年10月15日(火) | ことぶき勸学院(峡中教室) | 北巨摩合同庁舎 | 山梨の歴史 | 森原明廣 | 32 |
| 17 | 令和1年10月18日(金) | 山梨県総合教育センター | 山梨県立博物館 | 初任者研修 博学連携研修会 | 姫野泰彦・村田裕紀 | 55 |
| 18 | 令和1年10月21日(月) | 山梨県教育会一宮支部 | 山梨県立博物館 | 企画展「法然上人絵伝」 | 近藤暁子 | 10 |
| 19 | 令和1年11月1日(金) | ことぶき勸学院(峡南教室) | 山梨県立博物館 | 企画展「法然上人絵伝」 | 姫野泰彦・近藤暁子 | 24 |
| 20 | 令和1年11月22日(金) | ことぶき勸学院(南北都留教室) | 山梨県立博物館 | 企画展「法然上人絵伝」 | 姫野泰彦・近藤暁子 | 12 |
| 21 | 令和2年2月3日(月) | ティーチャーズクラブ | 山梨県立博物館 | 第2回ティーチャーズクラブ研究会 | 姫野泰彦・村田裕紀・丸尾依子 | 8 |

471人

⑤職場体験

■職場体験実施一覧

| 実 施 日 | 学 校 名 | 学 年 | 人数(人) |
|-------------------------|---------|-----|-------|
| 令和1年5月9日(木)～5月10日(金) | 小菅中学校 | 2 | 1 |
| 令和1年7月28日(日)～7月29日(月) | 塩山高等学校 | 2 | 5 |
| 令和1年7月28日(日)～7月29日(月) | 山梨高等学校 | 2 | 6 |
| 令和1年7月28日(日)～7月29日(月) | 峡南高等学校 | 2 | 1 |
| 令和1年7月31日(水)～8月2日(金) | 御坂中学校 | 2 | 8 |
| 令和1年8月5日(月)・8日(木)・9日(金) | 石和中学校 | 2 | 3 |
| 令和1年8月5日(月)・8日(木) | 浅川中学校 | 2 | 1 |
| 令和1年8月5日(月)・8日(木) | 城南中学校 | 2 | 1 |
| 令和1年8月21日(水)～22日(木) | 山梨南中学校 | 2 | 3 |
| 令和1年8月22日(木)～8月23日(金) | 一宮中学校 | 2 | 3 |
| 令和1年11月13日(水)～11月14日(木) | 笛吹高等学校 | 1 | 5 |
| 小 | 計(中学校) | | 7校 |
| 小 | 計(高等学校) | | 4校 |
| 小 | 計(大学) | | 0校 |
| 総 | 計 | | 11校 |

⑥「山梨の未来を描こう」募集

| | 応募学校数(校) | 応募人数(人) |
|-----|----------|---------|
| 小学校 | 32 | 171 |
| 中学校 | 2 | 18 |
| 合計 | 34 | 189 |

⑦子ども学芸員事業

| 番号 | 実施日 | 学校名 | 学年 | 人数 | 常設展 | 企画展 | 備考 |
|-----|---------------|-----------|----|-------|-----|-----|------|
| 1 | 平成31年4月18日(木) | 石和東小学校 | 6 | 28 | | | 出前授業 |
| 2 | 平成31年4月24日(水) | 富士河口湖高等学校 | 1 | 180 | | | 出前授業 |
| 3 | 令和1年5月10日(金) | 宝小学校 | 3 | 23 | ○ | ○ | |
| 4 | 令和1年5月13日(月) | 下吉田第一小学校 | 6 | 10 | | | 出前授業 |
| 5 | 令和1年9月5日(木) | 貢川小学校 | 6 | 57 | ○ | | |
| 6 | 令和1年10月11日(金) | 朝日小学校 | 3 | 21 | ○ | | |
| 7 | 令和1年10月25日(金) | 蕪崎北東小学校 | 6 | 78 | ○ | | |
| 8 | 令和1年11月6日(水) | 駿台甲府小学校 | 4 | 68 | ○ | | |
| 9 | 令和1年11月15日(金) | 石和北小学校 | 3 | 30 | | | 出前授業 |
| 10 | 令和1年12月5日(木) | 富士見小学校 | 3 | 55 | | | 出前授業 |
| 11 | 令和1年12月5日(木) | 大里小学校 | 3 | 81 | | | 出前授業 |
| 12 | 令和1年12月6日(金) | 国母小学校 | 3 | 69 | | | 出前授業 |
| 13 | 令和1年12月9日(月) | 石和南小学校 | 3 | 47 | | | 出前授業 |
| 14 | 令和2年1月16日(木) | 甲府東小学校 | 3 | 56 | | | 出前授業 |
| 15 | 令和2年1月22日(水) | 身延小学校 | 4 | 36 | ○ | | 出前授業 |
| 16 | 令和2年1月30日(木) | 双葉東小学校 | 3 | 113 | ○ | | |
| 17 | 令和2年2月10日(月) | 谷村第二小学校 | 3 | 18 | | | 出前授業 |
| 18 | 令和2年2月13日(木) | 境川小学校 | 5 | 26 | | | 出前授業 |
| 19 | 令和2年2月20日(木) | 石和東小学校 | 3 | 19 | | | 出前授業 |
| 認定数 | | | | 1,015 | | | |

⑧貸出教材（ミュージアム・キット）

| | 借用期間 | 学校名等 | キット名 | 備考 |
|-----------------|-------------------|------------------|--------------------------------------|-----------------------------|
| 1 | 令和1年5月29日～6月2日 | 山梨大学教育学部附属小学校 | 木簡セット | 6学年：社会科 |
| 2 | 令和1年6月19日～6月29日 | 山梨大学教育学部附属特別支援学校 | 戦国時代キット | 高等部1、2学年：生活単元学習 校外宿泊事前学習 |
| 3 | 令和1年6月22日～6月29日 | 玉宮小学校 | 戦国時代キット 江戸時代キット | 6学年：社会科 |
| 4 | 令和1年9月2日～9月17日 | 富士見支援学校 | 戦国時代キット 江戸時代キット 旅姿キット 木簡セット | 6学年：社会科 |
| 5 | 令和1年9月1日～9月14日 | わかば支援学校ふじかわ分校 | 戦国時代キット オリジナル歴史紙芝居 | 中学2、3学年：生活単元学習 社会 |
| 6 | 令和1年9月7日～9月22日 | 櫛形中学校 | 木簡セット かいじあむ歴史紙芝居 | 1学年：社会 |
| 7 | 令和1年9月15日～9月29日 | 小菅中学校 | 戦国時代太刀 戦国時代火縄銃 江戸時代刀(大・小) | 2学年：社会科 |
| 8 | 令和1年9月18日～9月22日 | 上条中学校 | 木簡セット | 1学年：社会科 |
| 9 | 令和1年9月7日～9月24日 | 身延中学校 | かいじあむ歴史紙芝居 木簡セット | 1学年：社会科 |
| 10 | 令和1年11月1日～11月6日 | 埋蔵文化センター | 江戸時代キット | 歴史体験イベント |
| 11 | 令和1年11月2日～11月17日 | 甲府支援学校 | 昔の暮らしDVD | 3、5学年：社会科 |
| 12 | 令和1年11月17日～11月23日 | 甲府支援学校 | 石臼 | 3、5学年：社会科 |
| 13 | 令和2年2月7日～2月14日 | 笛川中学校 | 戦国時代キット | 1学年：社会科 |
| 14 | 令和2年2月11日～3月15日 | 身延中学校 | 戦国時代キット | 1学年：社会科 |
| 小計(小・中学校) | | | | 8 |
| 小計(高等学校・特別支援学校) | | | | 5 |
| 小計(その他) | | | | 1 |
| 総計(件) | | | | 14 |

⑨大学教育との連携

i 学芸員実習

【期 間】 令和元年8月9日（金）から同年8月16日（金）まで（計8日間、休館日を除く）

【受け入れ人数】 11人（男2人、女9人）

【実習生所属大学】

- ・静岡大学 ・茨城大学 ・山梨大学 ・武蔵大学 ・都留文科大学 ・信州大学 ・明星大学
- ・日本大学

【主な実習内容】

- ・県立博物館の概要と役割などについての概説と施設見学
- ・学芸員が行う調査・研究、展示、資料保存など各業務についての分野別講義及び実習
- ・企画交流事業について講義及び実習
- ・展示実務実習
- ・県立博物館職員との意見交換

ii 大学非常勤講師の受託

| 担当職員 | 大学名（科目名） | 期 間 |
|-------|--------------------------|---------------------------|
| 近藤 暁子 | 中央大学（博物館実習） | 平成31年3月1日（金）～令和1年9月19日（木） |
| 丸尾 依子 | 成城大学（博物館実習〈民俗〉） | 平成31年4月1日（月）～令和2年3月31日（火） |
| 中野 賢治 | 山梨県立大学（日本の歴史Ⅰ） | 平成31年4月1日（月）～令和1年8月31日（土） |
| 小畑 茂雄 | 山梨大学（博物館展示論） | 令和1年10月1日（火）～令和2年3月31日（火） |
| 海老沼真治 | 身延山大学（博物館情報メディア論、博物館経営論） | 令和1年10月1日（火）～令和2年3月31日（火） |
| 中野 賢治 | 都留文科大学（博物館資料論） | 令和1年10月1日（火）～令和2年3月31日（火） |

(3) 博物館同士のネットワーク

①ミュージアム甲斐・ネットワーク

■博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト

【合同プレゼンテーション】

日 時：令和元年7月15日（月・祝日）

場 所：アイメッセ山梨

参加者数：905名

参加館数：25館

【ミニブック配布】

参加館数：42館

■令和元年度第1回

日 時：令和元年6月28日（金）

場 所：生涯学習室

内 容：総会（夏休み自由研究プロジェクトの実施について他）

■令和元年度第2回

日 時：令和2年1月17日（金）

場 所：生涯学習室

内 容：講習会（外国人観光客サービスについて他）

講 師：山梨県観光部国際観光交流課

②縄文王国山梨

■Jomon FES ～やまなし縄文まつり～

日 時：令和元年10月27日（日）

場 所：甲府駅北口よっちゃばれ広場

参加者数：3,880名

内 容：つくる！あそぶ！体感する！土偶作りや火おこしなどの体験やトークショー、ライブなどを通して縄文の魅力を発信した。

(4) 広報

年3回の「かいじあむ通信 Kai（交い）」の発行や、企画展・シンボル展のチラシ・ポスター、県政だより「ふれあい」、県政テレビ放送、県政ラジオ放送、SNS等の各種媒体を用いて広報に努めてきた。

■かいじあむ通信 Kai（交い）一覧

| 誌 名 | 発行年月日 |
|-----------------------|-----------|
| かいじあむ通信 Kai（交い）夏休み特別号 | 令和1年6月15日 |
| かいじあむ通信 Kai（交い）第50号 | 令和1年8月23日 |
| かいじあむ通信 Kai（交い）第51号 | 令和2年1月31日 |

第6章 施設の整備・管理

(1) 安全快適な施設づくり

県立博物館では、山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、安全かつ快適な施設・整備の管理に努めている。

■防災訓練等非常時における対応訓練の実施

県立博物館では、来館者の安全を守るための避難誘導や初期消火等を円滑に進めることを目的に、職員を対象に訓練を実施している。

・防災訓練

| 回数 | 開催日 | 内容 |
|-----|--------------|---|
| 第1回 | 令和1年9月13日(金) | <ul style="list-style-type: none"> ・火災を想定した常設展示室からの総合防災訓練 ・避難経路・消防設備等の確認 ・消火器による消火訓練 ・救命救急訓練(AED取扱) |

(2) 施設開放

県立博物館は開かれた博物館を目指し、施設の一部を一般に開放している。その利用状況は次のとおりである。

| 年月 | 生涯学習室 | | 交流室 | |
|---------|--------|---------|--------|--------|
| | 利用人数 人 | 利用金額 円 | 利用人数 人 | 利用金額 円 |
| 平成31年4月 | 114 | 32,300 | 25 | 2,200 |
| 令和1年5月 | 160 | 18,760 | 28 | 4,180 |
| 6月 | 126 | 22,560 | 19 | 440 |
| 7月 | 447 | 23,360 | 29 | 2,860 |
| 8月 | 353 | 39,280 | 20 | 440 |
| 9月 | 14 | 24,370 | 18 | 1,800 |
| 10月 | 89 | 27,720 | 24 | 2,160 |
| 11月 | 420 | 11,010 | 31 | 1,800 |
| 12月 | 198 | 23,290 | 14 | 480 |
| 令和2年1月 | 151 | 13,690 | 29 | 4,080 |
| 2月 | 89 | 1,880 | 26 | 600 |
| 3月 | 29 | 3,300 | 24 | 0 |
| 計 | 2,190 | 241,520 | 287 | 21,040 |

※利用人数は「利用月」、利用金額は「収入手続を行った月」で集計している。

第7章 情報の発信と公開

(1) 資料閲覧室の利用状況

資料閲覧室は、博物館展示をとおして利用者が持った歴史等に対する探求心や日常の学習意欲に応えるための資料・情報を提供するとともに、研究者、学芸員等の調査研究に必要な文献を的確に収集・整備し、その研究活動を支援する役割を担う。

■利用時間

午前9時から午後5時まで

(書庫内資料の請求、複写申込は午後4時30分まで)

(即日閲覧資料の請求は、午後3時まで)

入室は無料

■資料検索

資料閲覧室内の利用者端末(2台)により収蔵資料、図書・雑誌等の書誌情報の検索が可能となっている。フリーワード検索では、資料名、作者名、発行者名などの一部からも検索ができる。

ホームページの収蔵資料案内からも同様に検索が行える。

■資料閲覧

- ・図書、雑誌は来館者が自由に閲覧できる。室内には各分野の辞典類、主な歴史分野の図書、逐次刊行物、『山梨県史』や県内市町村史誌類など郷土研究に関する資料等、約3,000冊が配架されている。書庫内の図書資料も職員に請求することにより、閲覧が可能である。
- ・収蔵資料のうち、県立図書館から移管した古文書・古記録等の一部は即日閲覧可能である。
- ・「甲州文庫」の画像データや古文書のマイクロフィルムは資料閲覧室内の端末で即日閲覧できる。
- ・即日閲覧対象外の原資料については、「歴史資料等閲覧申請書」により事前に申し込み、職員の立会いのもと所定の日時・場所で閲覧できる。

■資料撮影

原資料についての撮影は、「歴史資料等撮影申請書」により事前に申し込み、許可された場合は、「歴史資料等撮影決定通知書」に従い、職員の立会いのもと所定の日時・場所で行う。

■レファレンスサービス

質問や調査事項に応じて、参考資料や文献を紹介し、利用者の調査・研究活動の援助を行っている。専門的な質問については、必要に応じて学芸員が調査・研究の成果に基づき回答している。

■コピーサービス(有料)

著作権法に基づき、博物館所蔵の図書・雑誌等の活字資料、「甲州文庫」等のデジタル化・マイクロ化資料の複写サービスを行っている。

■展示関連図書紹介

当館で開催する企画展・シンボル展への関心や理解を更に深めてもらうために、期間中資料閲覧室内に関連図書の紹介コーナーを設けている。

■キッズライブラリー

山梨発見エリア内のキッズライブラリーには、小・中学生向けの歴史関係や自然観察の図書、幼児のための絵本などを揃えている。

■ビデオライブラリー

山梨発見エリア内のビデオブース(3台)では、歴史・文化財に関するビデオ・DVDなどを視聴することができる。

■令和元年度資料閲覧室利用状況

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 累計 |
|-------------|-----------|------|------|------|--------|--------|------|------|------|------|------|------|--------|
| 入室者 | 331人 | 272人 | 245人 | 476人 | 981人 | 205人 | 146人 | 252人 | 72人 | 145人 | 191人 | 0人 | 3,316人 |
| ビデオ利用 | 43件 | 42件 | 32件 | 90件 | 145件 | 26件 | 9件 | 33件 | 6件 | 37件 | 17件 | 0件 | 480件 |
| レファレンス | レファレンス | 16件 | 21件 | 14件 | 18件 | 43件 | 10件 | 4件 | 20件 | 5件 | 12件 | 11件 | 175件 |
| | 利用相談 | 33件 | 25件 | 23件 | 19件 | 45件 | 19件 | 15件 | 28件 | 7件 | 25件 | 17件 | 256件 |
| | 小計 | 49件 | 46件 | 37件 | 37件 | 88件 | 29件 | 19件 | 48件 | 12件 | 37件 | 28件 | 431件 |
| 複写 | 件数 | 22件 | 30件 | 26件 | 18件 | 61件 | 25件 | 9件 | 24件 | 16件 | 23件 | 28件 | 283件 |
| | 電子式 | 240枚 | 256枚 | 322枚 | 289枚 | 766枚 | 416枚 | 84枚 | 290枚 | 141枚 | 286枚 | 224枚 | 3,314枚 |
| | マイクロ、デジタル | 12枚 | 74枚 | 185枚 | 98枚 | 449枚 | 263枚 | 16枚 | 114枚 | 445枚 | 134枚 | 604枚 | 2,431枚 |
| | 小計 | 252枚 | 330枚 | 507枚 | 387枚 | 1,215枚 | 679枚 | 100枚 | 404枚 | 586枚 | 420枚 | 828枚 | 5,745枚 |
| キッズライブラリー利用 | 455人 | 406人 | 282人 | 937人 | 1,973人 | 353人 | 207人 | 288人 | 69人 | 217人 | 184人 | 0人 | 5,371人 |



関連図書紹介 「法然上人絵伝」
期間：令和元年10月12日～11月25日

(2) 博物館総合情報システム

山梨県立博物館は、山梨の歴史や文化・産業など広範な分野にわたる膨大な資料情報を一元的に管理し、効率的な博物館運営を行うため、博物館総合情報システムを導入している。このシステムの活用によって広く館内外に情報発信を行い、県民の山梨の歴史に関する興味を喚起し、多くの人に親しまれる「開かれた博物館」が実現することを目的としている。平成29年度にシステムの入替を行い、平成30年3月1日に本稼働させた。このシステムは、以下の3つのシステムから構成される。

■データベースシステム

博物館資料の管理システムとして、収蔵資料・図書資料等に関する各種情報を一元的に管理、検索、閲覧するためのシステムである。資料の目録情報、受入情報、付随する画像情報、レファレンス情報、地域情報、また閲覧・撮影・展示業務の情報管理も行っている。

■利用者公開システム

データベースシステムで管理されている情報を、利用者の必要に応じて加工し、館内外に情報発信を行うシステムである。館内では、資料閲覧室における収蔵資料・図書情報の検索端末の設置、地域インデックスにおける地域情報端末での各種県内情報の発信をしている。館外では、博物館ホームページにおける収蔵資料・図書情報・レファレンス情報などの提供を行っている。

■ネットワークシステム

情報処理室には各種サーバが設置され、そこを拠点に館内にはLANが張り巡らされている。インターネットへは情報処理室から隣接する総合教育センターを経由して接続されている。館内各システムをネッ

トワークで相互に接続し、情報の連携を図っている。

(3) 博物館ホームページ

平成17年10月1日より、ホームページの公開を開始し、展示案内・イベント案内等各種情報を公開し、随時更新している。

■ホームページの主な更新履歴

令和元年7月10日 累計アクセス数120万件を突破。

■「収蔵資料案内」ページの更新

収蔵資料・図書・レファレンスの検索を行うことができるページを、随時更新している。

■検索可能件数（令和2年3月31日現在）

- ・歴史資料等 85,193件
- ・図書類 50,775件
- ・レファレンス事例 509件

PC向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

携帯電話向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/mb>

公式ツイッター：[kaiseum_ypm](#)



■アクセス件数（アクセスカウンタによる数値）

| 年 月 | 件数/月 | 1日平均 | 昨年度件数 |
|---------|---------|------|---------|
| 平成31年4月 | 9,121 | 313 | 8,410 |
| 令和1年5月 | 8,712 | 291 | 9,263 |
| 6月 | 8,118 | 275 | 8,852 |
| 7月 | 13,774 | 459 | 12,841 |
| 8月 | 18,217 | 600 | 15,008 |
| 9月 | 8,208 | 283 | 7,741 |
| 10月 | 7,856 | 254 | 6,672 |
| 11月 | 7,751 | 258 | 6,398 |
| 12月 | 3,878 | 171 | 4,100 |
| 令和2年1月 | 7,748 | 211 | 7,704 |
| 2月 | 8,791 | 315 | 6,352 |
| 3月 | 8,729 | 295 | 8,329 |
| 合 計 | 110,903 | 310 | 101,670 |

| | |
|-----------------------------|-------|
| ツイッターフォロワー数 (令和2年3月末日現在) | 2,515 |
|-----------------------------|-------|

第8章 県民参画

(1) NPOとの連携

令和元年度、県立博物館では前年度に引き続き、NPO法人との協働による県民参画事業として、「かいじあむ検定」及び「通信簿ツアー」を実施した。

「かいじあむ検定」は、企画展・シンボル展の開催に合わせて実施し、第1部を展示資料や展覧会テーマゆかりの地を歩くツアー、第2部をギャラリートークとして、展示のテーマを題材に地域と博物館を結びつけることを目指した事業が定着している。令和元年度は、秋の企画展「法然上人絵伝」展及び冬のシンボル展「甲州屋忠右衛門の冒険」展について、地域を訪ねるツアーと展示室でのギャラリートークを実施した。

また、開催中の企画展や常設展の魅力を広く紹介し、博物館に足を運んでいただくきっかけづくりとするため、山梨県立図書館の会場を使用して、展示内容をパネルで紹介するミニ展示を実施した。

なお、「通信簿ツアー」の詳細は第Ⅰ編第2章を参照されたい。

① かいじあむ検定

| 実施日 | 事業名 | 開催場所 | 参加者数(人) |
|---------------------------------|--------------------------------|------------------|---------|
| 令和1年10月17日(木)から 同年同月31日(木)まで | 常設展ジオラマ紹介・「法然上人絵伝」 展紹介ミニ展示 | 山梨県立図書館 | 392人 |
| 令和1年11月3日(日・祝日) | 「法然上人絵伝」展ゆかりの地ツアー | 県立博物館 甲州市勝沼町内 | 25人 |
| 令和2年1月10日(金)から 同年同月23日(木)まで | 常設展ジオラマ紹介・「甲州屋忠右衛門」 展紹介ミニ展示 | 山梨県立図書館 | 366人 |
| 令和2年1月26日(日) | 「甲州屋忠右衛門」展ゆかりの地ツアー | 企画展示室 笛吹市石和町内 | 32人 |
| 参加者数合計 | | | 815人 |

② 通信簿ツアー

| 実施日 | 事業名 | 開催場所 | 参加者数(人) |
|------------------------|--------|-------|---------|
| 令和1年8月10日(土) | 通信簿ツアー | 県立博物館 | 171人 |
| 令和1年11月20日 (水・県民の日) | 通信簿ツアー | 県立博物館 | 125人 |
| 参加者数合計 | | | 296人 |

※委託先のNPOについては、令和1年7月29日(月)に県民参画(NPO委託)事業審査会を開催し、その結果、両事業ともNPO法人「つなぐ」に委託することとなった。



令和元年10月17日（木）から31日（木）にかけて、山梨県立図書館で常設展「城下町の賑わい」のジオラマを紹介するパネルによるミニ展示を行った。あわせて、子ども向けのぬりえを用意したり、ジオラマの人形を象った立体模型の展示を行ったりして、常設展に興味を持っていただくきっかけづくりに努めた。



令和2年1月26日（日）に展覧会で紹介した篠原忠右衛門ゆかりの地である笛吹市石和町東油川地区や井戸地区を歩き、忠右衛門の生家や地域の寺社・富士塚などを見学した。参加者には、展覧会の見どころやゆかりの地を記載したミニブックを配布した。

(2) 博物館協力会（ボランティア）との連携

当館におけるボランティア活動は、原則として山梨県立博物館会の協力員によるものである。会員数は若干の変動はあるが60名ほどであり、館の主催する様々な活動を支援してきた。

県立博物館協力会の主たる活動は次の通りである。

- ・ミュージアムショップの運営
- ・館が行うイベントなどの補助や畠など野外施設の管理
- ・広報物発送の補助
- ・来館者への展示ガイド
- ・館蔵の資料の整理

■令和元年度の協力会の主な活動

令和元年5月17日（金）第1回 運営委員会

6月16日（日）協力会総会（平成30年度事業・決算の報告、令和元年度事業・予算の決定）

7月24日（水）第2回 運営委員会

10月1日（火）研修旅行（長野方面：長野県立歴史館・上田市立博物館）

12月1日（日）歴史ウォーキング（国衙付近）

12月2日（月）第3回 運営委員会

その他、常時実施したのは次の活動である。

- ・ショップ運営…ミュージアムショップ当番
- ・イベント補助…年4回のお祭りイベント、月1回の子ども工房、その他不定期イベントの補助
※イベント等に向けた学習会も含む
- ・資料整理補助…歴史資料の資料専用封筒詰め、ナンバリング等の作業
- ・畠作業…野菜の栽培・草取り・石拾い等の作業
- ・お庭ガイド講師…毎月第3土曜日開催「ボランティアによるお庭の見どころガイド」の講師



長野方面への研修旅行「長野県立歴史館」にて（令和元年10月）



国衙付近を巡る歴史ウォーキング（令和元年12月）

第9章 組織・人員

(1) 職員の資質向上

①職員参加研修一覧

| 氏名 | 研修名 | 主催 | 場所 | 期間 | 研修内容 |
|-------|---|-------------------------|-----------|---------------------|----------------------------------|
| 西願 麻以 | 国宝・重要文化財（美術工芸品） 防災・防犯対策研修会 | 文化庁 | 文部科学省第2講堂 | 令和1年6月21日（金） | 地域における防災・防犯への取組事例・講話・支援 |
| 中野 賢治 | 第11回指定文化財（美術工芸品） 企画・展示セミナー | 文化庁 | 東京国立博物館 | 令和1年6月23日（日）～28日（金） | 文化財の公開に関わる専門的知識と技能の研修（2カ年のうち2年目） |
| 西願 麻以 | 第1回保存環境調査・管理に関する講習会—北川式検知管による空気環境調査と評価— | 独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター | 東京国立博物館 | 令和1年7月31日（水） | 北川式検知管による空気環境調査と評価 |
| 西願 麻以 | 第2回保存環境調査・管理に関する講習会—資料保存用資材としての中性紙— | 独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター | 東京国立博物館 | 令和1年12月12日（木） | 資料保存用資材としての中性紙 |
| 丸尾 依子 | 第14回無形民俗文化財研究協議会 | 独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 | 東京文化財研究所 | 令和1年12月20日（金） | 無形文化遺産の活用方法についての事例報告と討議 |

②展示交流員研修一覧

| 日時 | 内容 |
|--------------|---------------------|
| 令和1年8月1日（木） | 新任展示交流員に対する博物館業務の研修 |
| 令和1年9月13日（金） | 自衛防災訓練に関する研修・ガイド研修 |

(2) 第三者委員会

①山梨県立博物館運営委員会

i 委員名簿（50音順、敬称略）

| 氏名 | 勤務先・役職等 |
|-------|---|
| 小澤 龍一 | （財）やまなし文化学習協会山梨県生涯学習推進センター元所長 みんなでつくる博物館協議会委員長 |
| 清雲 俊元 | 山梨郷土研究会理事長 |
| 笹本 正治 | 長野県立歴史館館長 |
| 末木 健 | 山梨県考古学協会会長 |
| 中山 誠二 | 帝京大学客員教授 |
| 早川 源 | 公益財団法人山梨総合研究所元副理事長 |

ii 運営委員会の検討状況

■第43回運営委員会

日時：令和元年6月17日（月）

検討内容：令和2年度の企画・シンボル展について

令和2年度の研究計画について

博物館の今後のあり方について

■第44回運営委員会

日時：令和元年11月11日（月）

検討内容：令和2年度の企画展・シンボル展（開館15周年）及び令和3年度の企画展・シンボル展計画

について

令和2年度の調査研究計画について

令和2年度新規事業について

■第45回運営委員会

日 時：令和2年2月21日（金）

検討内容：令和2年度の企画展・シンボル展（開館15周年）及び令和3年度の企画展・シンボル展計画について

博物館における多様なニーズへの対応方針について

②山梨県立博物館資料・情報委員会

第II編第3章で詳述。

③みんなで作る博物館協議会

i みんなつく委員名簿（50音順、敬称略）

| 氏 名 | 勤務先・役職等 |
|-------|-----------------------------|
| 浅川 初美 | 元山梨放送アナウンサー |
| 足達 郁也 | 山梨県農業協同中央会専務理事 |
| 小澤 龍一 | 勸山梨文化学習協会生涯学習推進センター元所長 |
| 末木 健 | 中央市豊富郷土資料館元館長 |
| 丹沢 良二 | ㈱タンザワ会長 |
| 辻 茂 | 甲府市立甲府南中学校元校長 |
| 出澤 忠利 | (株)印傳屋上原勇七総務部長 |
| 戸田 達昭 | シナプテック㈱代表 |
| 長沢 宏昌 | 石和温泉活性化研究会副理事長 |
| 畑 大介 | 山梨郷土研究会事務局長 |
| 初鹿 紀子 | 身延町立下山小学校元教頭 |
| 八田 知子 | ホテル八田代表 |
| 古屋 久昭 | 山梨県詩人の会会長、やまなし県民文化祭文学部門専門委員 |
| 渡辺 昭夫 | 前富士河口湖旅館組合組合長・現相談役 |

ii みんなつく検討状況

■令和元年度第1回みんなつく協議会 第1回分科会

日 時：令和元年7月29日（月）

検討内容：博物館評価について

■令和元年度みんなつく協議会 第2回分科会

日 時：令和元年9月27日（金）

検討内容：博物館評価について

■令和元年度みんなつく協議会 第1回全体会議

日 時：令和元年11月11日（月）

検討内容：博物館評価について

令和2年度の博物館事業について

■令和元年度みんなつく協議会 第2回全体会議

日 時：令和2年2月21日（金）

検討内容：博物館評価についての確認

令和元年度県民参画事業について（報告）

県立博物館の解決すべき課題について

第10章 外部支援と連携

(1) 外部支援

■外部資金を得た調査・研究

第II編第2章(1)で詳述

■委員等の受託

| 担当職員 | 役 職 | 主 管 | 委嘱期間 |
|--|----------------------|----------------|--------------------------|
| 森原 明廣 近藤 暁子 丸尾 依子 海老沼真治 中野 賢治 松田美沙子 | 山梨県富士山総合学術調査研究委員会調査員 | 山梨県富士山世界遺産センター | 平成30年4月1日 ～令和2年3月31日 |
| 丸尾 依子 | 甲府市文化財審議員 | 甲府市教育委員会 | 平成29年4月1日 ～令和1年3月31日 |
| 丸尾 依子 | 南アルプス市文化財審議員 | 南アルプス市教育委員会 | 平成29年4月1日 ～令和2年3月31日 |
| 近藤 暁子 | 甲州市文化財審議会委員 | 甲州市教育委員会 | 平成31年3月18日 ～令和2年3月31日 |

(2) 外部との連携

平成24年度に有形無形の文化財資源の保存と活用に努めるという共通の目的を持ち、博物館の相互の交流と連携を図ることを実践の貫徹を目指すため、「全国歴史民俗系博物館協議会」が設立された。

今年度は、令和元年7月11日(木)～12日(金)に第8回年次集会在北海道博物館で「歴史・文化の継承」をテーマに開催された。

■全国歴史民俗系博物館協議会への参加

| 開催年月日 | 参加職員 | 場 所 | 内 容 |
|---------------------|-------------|-------------------|---|
| 令和1年7月11日(木)～12日(金) | 森原 明廣(学芸課長) | 北海道博物館 北海道開拓の村 | 全国歴史民俗系博物館協議会 設立集会(第8回年次集会) ○幹事館会 ○総会 ○研究集会 ○見学会 |

(3) 山梨近代人物館・世界遺産センターの展示等への協力

平成27年度に開館した山梨近代人物館及び平成28年度に開館した富士山世界遺産センターの展示等に当たっては、資料貸出や当館学芸員による展示作業、講座等で全面的に協力している。

■山梨近代人物館での展示事業

- ・第9回展示「近代甲府を彩った人々―県都甲府五〇〇年―」
平成31年4月1日(月)～令和元年9月27日(金)
- ・第10回展示「近代文学に足跡を残した人々―県立文学館30周年―」
令和元年10月1日(火)～令和2年3月27日(金)

■富士山世界遺産センターへの資料貸出

- ・展覧会「富士山大鳥居―吉田口登山道の起点―」
令和元年7月24日(水)～9月23日(月)
貸出資料：葛飾北斎「富嶽三十六景」複製のうち
「甲州犬目峠」「甲州三坂水面」「諸人登山」の計3点

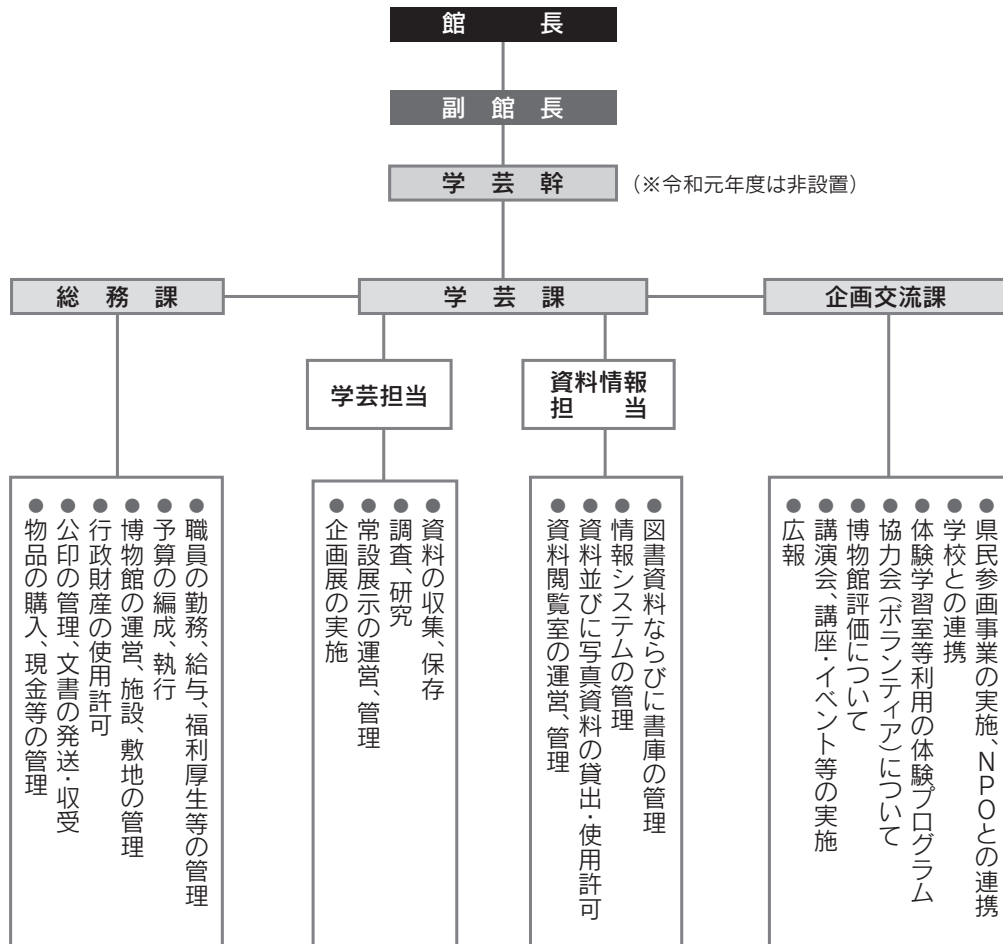


山梨近代人物館第10回展示の導入展示室

第Ⅲ編 各種資料

1 組織・職員等名簿

■組織図



■関係委員会

・運営委員会

- 博物館運営全般の専門的指導
- 企画展テーマ等に関する協議
- 共同調査、研究テーマ等に関する協議

・資料・情報委員会

- 資料収集の適否の審議
- 資料・情報の収集方針の検討
- 資料・情報の活用計画検討

・みんなでつくる博物館協議会

- 利用者の立場からの博物館運営の検討
- 博物館評価制度の検討

■関係委員及び職員名簿

●山梨県立博物館運営委員会委員

第Ⅱ編第9章(2)参照

●山梨県立博物館資料・情報委員会委員

第Ⅱ編第3章(1)参照

●みんなでつくる博物館協議会委員

第Ⅱ編第9章(2)参照

●博物館職員(令和2年3月31日現在)

| | |
|-------|--------|
| 館長 | 守屋 正彦 |
| 副館長 | 内田不二夫 |
| 総務課 | |
| 課長 | 河野 彰 |
| 副主査 | 横井 利幸 |
| 主事 | 窪田 恵太 |
| 非常勤嘱託 | 白倉 政富 |
| 非常勤嘱託 | 横小路恵李依 |
| 非常勤嘱託 | 小幡 理美 |
| 非常勤嘱託 | 古屋恵里佳 |
| 非常勤嘱託 | 松野 美波 |
| 非常勤嘱託 | 今福 一仁 |
| 非常勤嘱託 | 今宮 美香 |
| 非常勤嘱託 | 岩間しのぶ |
| 非常勤嘱託 | 田口 美加 |
| 非常勤嘱託 | 長田 光香 |
| 非常勤嘱託 | 加賀爪杏子 |
| 非常勤嘱託 | 元谷 留美 |
| 非常勤嘱託 | 橋本 一騎 |
| 非常勤嘱託 | 内田 淳 |
| 非常勤嘱託 | 樋口 昌弘 |
| 非常勤嘱託 | 小川 昇三 |
| 非常勤嘱託 | 宇佐美玲子 |
| 非常勤嘱託 | 田中千奈美 |

学芸課

| | | |
|------|-------|-----|
| 課長 | 森原 明廣 | 考古学 |
| 学芸担当 | | |
| 学芸員 | 近藤 暁子 | 美術 |
| 学芸員 | 小畑 茂雄 | 歴史 |
| 学芸員 | 海老沼真治 | 歴史 |
| 学芸員 | 中野 賢治 | 歴史 |
| 学芸員 | 山田 英佑 | 古環境 |

資料情報担当

| | | |
|-------|-------|------|
| 副主幹 | 水上百合子 | |
| 学芸員 | 西願 麻以 | 保存科学 |
| 非常勤嘱託 | 石原 宝 | |
| 非常勤嘱託 | 小林 可奈 | |
| 非常勤嘱託 | 郷田 敦子 | |
| 非常勤嘱託 | 早川 美保 | |

企画交流課

| | | |
|---------|-------|----|
| 課長 | 田口 明子 | |
| 主幹・教育主事 | 姫野 泰彦 | |
| 主任・教育主事 | 村田 裕紀 | |
| 学芸員 | 丸尾 依子 | 民俗 |
| 学芸員 | 山本 倫弘 | 歴史 |
| 非常勤嘱託 | 村松 良子 | |

2 令和元年度予算額

単位：千円

| 事業名 | 予算額 | 事業内容 |
|----------|-----------|------------------------------|
| 博物館事業費 | 64,890千円 | 企画展運営、調査・研究事業、運営委員会・みんつく運営経費 |
| 歴史資料等収集費 | 13,417千円 | 歴史資料等の収集・保存・管理・修復、図書資料の整備 |
| 博物館運営費 | 226,217千円 | 施設管理、常設展示機器管理、非常勤職員人件費 |
| 合計 | 304,524千円 | |

※ 職員給与費を除く。

3 年間日誌

■主な出来事（新聞記事から抄）

- 平成31年4月12日（金） 北斎3作品 特別公開
～きょうから県立博物館 新札図案を記念～
（令和元年5月12日付「山梨日日新聞」）
- 令和元年5月25日（土） 巨大「不動明王像」鮮明に
～県立博物館 大善寺の掛け軸 修理紹介～
（令和元年5月25日付「山梨日日新聞」）
- 令和元年6月9日（日） 北斎 自然光で展示の謎
～「富嶽三十六景」県立博物館で30日まで～
（令和元年6月9日付「朝日新聞」）
- 令和元年7月14日（日） ねこ展開幕 にぎわう ～県立博物館 迫力のロボットも～
（令和元年7月14日付「山梨日日新聞」）
- 令和元年8月24日（土） 「ねこ展」入館3万人
～県立博物館 南アの親子に記念品～
（令和元年8月24日付「山梨日日新聞」）
- 令和元年10月12日（土） 法然と親鸞 足跡触れる～県立博物館 きょうから企画展～
（令和元年9月1日付「山梨日日新聞」）
- 令和元年11月13日（水） 「風景、人 細かく描写」
～県立博物館 法然絵伝の魅力解説～
（令和元年11月13日付「山梨日日新聞」）
- 令和元年11月15日（金） 4コマ漫画で魅力発信～1000話突破「楽しさ伝えたい」～
（令和元年11月15日付「山梨新報」）
- 令和元年12月21日（土） 甲州商人の先駆 海外に目
～県立博物館で篠原忠右衛門展示～
（令和元年12月21日付「山梨日日新聞」）
- 令和2年1月30日（木） 甲州商人の先駆者 軌跡たどる
～県立博物館で甲州屋忠右衛門の企画展～
（令和2年1月30日付「朝日新聞」）
- 令和2年3月21日（土） 子どもの遊び場 多彩に
～おうちで『北斎漫画』展～
（令和2年3月21日付「山梨日日新聞」）



令和元年8月23日、「すごすぎる！ねこ展 ～ヒトとネコの出会いと共存の歴史～」の入館3万人目の観覧者となったお客様へ、内田不二夫副館長から記念品を贈呈。

令和元年度 山梨県立博物館年報

発行日 2021年3月25日
編集・発行 山梨県立博物館
〒406-0801
山梨県笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055 (261) 2631
印刷 株式会社 少国民社
